夕刊
滿洲日報
六月一日

明年度豫算編成は今月初旬から着手
海軍の問題は財部海相に一任
鎌倉にて濱口首相語る

【鎌倉一日發電】海軍問題で疲れた濱口首相は三十一日午後二時自動車で單身官邸を出發同四時鎌倉の別邸に入り兩三日靜養の上三日夕刻又は三日朝歸京するが別邸にて左の如く語つた

政府對軍令部の關係は要するに差して六ケしい問題でなく二十九日の軍事參議官會議も海軍部内の

内輪話に 過ぎぬから財部海相がその内容を正式に閣議に報告すべき筋合でもなく軍令部と政府とは海軍大臣を通じて連繫を保たれるものだから政府對軍令部の問題は總て海相と軍令部との關係に歸着するので一切を財部海相が話して居られる事と思ふ、樞府御諮詢奏請は六月十八日若槻全權の歸朝後詳細な說明を聞いた上の事にするがその時期はまだ定つてゐない、六年度豫算編成上なるべく早く御諮詢を終りたい、今後國防問題につき今回の如き問題の起らぬやう根本的

法則を立 てる事は各方面から考へられてゐるがそれは一利一害のある事と思ふ、町田大將の防務會議設置の話については自分はさうした積極的な考へは起こして居らぬしまだ何れともそれについて考へを立てゝゐない、六年度豫算編成は六月初めから着手するが大體從來の方針で一貫する積りで尙ほ緊縮方針は緩める事は出來ない、實際上歲入減等より依然緊縮方針を執らざるを得まい、今後政府の身を入れねばならぬ減稅は專ら軍縮の剩餘金に依る筈である、樞府は條約の兵力量に修正は加へまいから條約に依る剩餘金高には關係を及ぼさない、ロンドン條約に基く今後の

國防充實 については海軍でも亦研究の運びに至らぬ爲めまだ話がないが要求があればそれ相當これを認めねばなるまい兎に角六年度豫算編成は樂ではない

任臨時產業合理局顧問被仰付（各通）　井坂　孝
牧田　環
商工書記官侯爵　木戶　幸一
任臨時產業合理局事務官（一）第一部長を命ず、第二部長兼務を命ず
商務局長　川久保修吉
鑛山局長　中松　眞鄕
貿易局長　立石　信郎
兼任臨時產業合理局事務官（二）同第一部、第二部勤務を命ず（各通）
工務局長　吉野　信次
兼任同事務官（二）同第二部長を命ず、同第一部兼務を命ず

動力會議代表

【奉天特電三十一日發】萬國動力會議出席の肝付男一行六名は本日十三時安奉線で着奉、直ちに北陵を見物し十五時四十八分井上子、斯波男等と合し北行した

西山、改組兩派 別個に宣言發表
黨務會議漸く妥協

【北平特電三十一日發】黨務會議は依然改組派と西山派との間に意見の扞格あり、但し北軍優勢の現在、軍政府組織が出來ては、といふ懸念から出來得るだけ速かに黨議を纏める必要上、山西派の趙丕廉氏が中心となつて協調妥協を說き、兎に角三十日の會議に迄漕ぎつけた、當日廣東第二期派と、上海第二期派とは打合せを行ひ抵觸せない範圍内において、別々に宣言を發表することに內定を見た、改めて共同宣言を發表し、尙各派選出の擴大會議委員の內譯は左の如し

▲廣東第二期十三名　汪精衛、陳公博、顧孟余、白文蔚、王法勤、白雲梯、朱霽青、陳樹人、郭春濤、陳嘉祐、陳璧君、李宗仁、黃紹雄、右十三名は廣東第二中央執監委員及び同候補委員である

▲上海第二期八名　許崇智、張知本、覃振、樊鍾秀、鄒魯、謝持、茅祖權、傅汝霖右は廣東第一期中央執監委員及同候補委員であり、廣東第二期において排除されて所謂上海第二期と名稱を打たれたる人々である

▲實力派十名（閻錫山派）閻錫山、商震、趙戴文、趙丕廉（馮玉祥派）馮玉祥、鹿鍾麟、薛篤弼、その他三名

實力派は南京第三期の人々の他といつたものである。日の河北省政府會議廳で擴大會議の常務委員としては、陳公博（廣東第二期）覃振（上海第二期）趙丕廉（實力派）等を擧げた

軍司令官の後任
渡邊、長谷川兩中將中から

【東京一日發電】關東軍司令官の後任については宇垣陸相、阿部次官、古莊人事局長の間で銓衡中であるがその任務の重大性に鑑み取り急ぎ選任の運びとなる筈であるが、下馬評に上つてゐる顏ぶれは臺灣軍司令官菱刈隆大將、朝鮮軍司令官南次郎大將の兩氏を始め東京警備司令官長谷川直敏中將、陸軍航空本部長渡邊錠太郎中將、第三師團長小泉六一中將の三氏である、右の中選任なるは南大將なるも南大將の轉補となれば軍司令官級に相當の異動を見る事となるので結局渡邊、長谷川兩中將の中から選任さるゝ形勢である

商工人事異動

【東京一日發電】商工省臨時產業合理局設置に伴ふ人事異動は左の如く決定二日官報を以て發表さるゝこととなつた

子爵　大河內正敏
男爵　中島久萬吉
男爵　松岡　均平

高松宮
ネープルス御着

【ネープルス三十一日發電】高松宮同妃兩殿下の御乘船鹿島丸は三十一日午前八時半入港駐伊大使館員その他伊太利側の高官等が御歡迎申し上げ兩殿下は自動車にて各所を御巡覽された

露支交涉愈よ開始
一日兩國專門委員會を組織し 各種重要案を討議

【ハルビン特電一日發】モスクワにおける露支正式會議は一日東鐵、通商、關稅、航行權、居住等各種重要懸案に亙り兩國專門委員會を組織し交涉の第一步に入つたと支那側が傳へてゐる

周村附近で交戰
濟南青島間交通杜絕

【天津特電一日發】渡河擁護の爲め周村を目的に進みつゝある李生達軍は山東北部各地を攻略し既に周村を距る二十支里の地點で韓復榘軍と交戰中これがため濟南青島間の交通は杜絕した

今は亡き
畑大將の追憶の數々
八面玲瓏、融通無碍 惜しい未來の陸相

◆…【東京一日發電】故畑關東軍司令官は福島縣若松出身で今年五十九歲、づば拔けた秀才振は早くから鄕黨の注目の的となつてゐたが貧乏士族の倅なので力行苦學、從つて士官學校入學も同僚より三四年遲れた、だが愈々光榮ある陸軍將校となつてからは獨特の才能と持前の圓滿なる人格とに、士官學校、陸軍大學校で[illegible]する好成績で猛烈なスピードのハイジヤムプと三段跳の連續

◆…與へられた椅子も陸軍省で一番重要な軍事課々員、軍事課長、軍務局長、陸軍次官と云ふ金ピカばかりだつた、此の人程永く連續的に中央部の激職に居つた人は後にも先にも一人もなからう、軍務局長としてだけでも田中、山梨、田中、宇垣の四大臣に仕へてゐる

◆…此の間にした仕事と言へば世間的なものだけを拾つてみても、二個師團增設問題、軍部大臣文官制、山梨大臣時代の五個師團分縮小の軍備整理、宇垣陸相前任時代の四個師團廢止の軍制改革などの大問題があるが、凡て近來行はれた大陸軍の軍政問題は例外なしに全部此の人の手で片付けられたと言つてよからう、今回の死は酒の爲めだと云ふが事實かも知れないが併し酒に對する抵抗力を失くした原因は、是等の激務だつたといふことも考へなければならない、今回の破格の光榮も大御心を茲に垂れさせ給ふた結果と拜察される

◆…「畑はニコポンでいかん」とか「あれは長閥の細鱗ぢや」とかの非難もあるにはあつたが、それは同時に如何に圓滿無碍、融通の利く人だつたかを測るバロメーターとして受け入れる方が確だらう兎に角宇垣大將唯一の後繼者だつた、少くとも陸相候補のナムバーワンだつた

◆…趣味としては一にも酒、二にも酒、久留米絣のよれよれを着て「これは相當飲める酒だよ」と盛んに浴びもし他人にも奬めた、そして酒で死んだ、何か唄はなければならない破目に押しつけられると「なべやーきうどーん」と「とーがらしくく」をやるだけだつた、ところが之が大したもので、「流石に經驗者は違ふ」と御大宇垣陸相を驚嘆させたものだつた

◆…何時か會津藩の舊家老山川健次郎男と奇妙にも相前後して歸省した事があつた、樞密顧問官と未來の陸軍大臣が同時に歸鄕したといふ譯で、土地の有志が歡迎會を開き席上で揮毫を求めた、山川男は素より腕に覺へのある君子人忽ちにして謹嚴な一句をものしたが大將には何もない「おらあだめだよ」と言つてもきかない「よしそれなら書くよ」と書いたのが雄大な一曲線と曲線の中央から發する勇壯なる日本の直線だつた、題して「日本男子の屁」

◆…四個師團廢止の結果廿聯隊の軍旗が還されたが之を迎へた軍務局長淚をぼろぼろ流し乍ら「俺は軍備擴張が出來る迄煙草はやめた」と誓つた、それ以來斷然禁煙した、これも軍務局長時代のことある宴會で宇垣陸相と畑軍務局長とが一緒になつた際に畑軍務局長が中將になると云ふ噂が客の間に傳播した、これを聞いた畑少將早速大臣の處へ押しかけて「僕を中將にして吳ますか」と直接談判をしたものである「おゝよしよし」と宇垣陸相の返答

◆…主計官なら中佐位で大概家を持つ、本科でも少將になれば八、九割方自分の家を構へるがもう大將にもならうと云ふのに未だ家をなさなかつた、しかも長男英一氏は野砲兵一聯隊の貧乏少尉、唯一の弟俊六氏は陸大を一番で出た秀才で現に陸軍少將、參謀本部第一部長だが、兄貴以上の貧乏人、思へば餘りに錢を愛さな過ぎた

重要會議に御列席の伏見大將宮

統帥權問題に對する海軍最高意思の決定をなすべき元帥軍事參議官會議は二十九日海軍大臣官邸に開催された【寫眞は會議を終らせられて官邸を御退出あらせらるゝ伏見大將宮殿下】

北軍遂に歸德奪還
平漢線方面も激戰開始

【南京三十一日發電】支那側の確報に依れば中央軍は山西軍の追擊急なるを見て戰略的に退却し山西軍は既に歸德を奪還したと平漢線方面では中央軍五師は西北軍と激戰中で蔣介石氏は飛行機で駐馬店に到着督勵中であるとも傳へらるゝ

劉珍年軍愈よ行動を開始

【天津特電一日發】劉珍年軍は山西軍に呼應して博山から泰安へ進出すべく行動を起した因に平津兩地の警備司令も自ら陣頭に立つたので天津は袁慶曾、北平は楚溪春それぞれ留守中の治安維持に任じてゐる

五月下旬概況

【東京三十一日發電】五月下旬における對外貿易は（單位千圓）

輸出　三八、七七四餘
輸入　五四、六三一
計　九三、四〇五
入超　一五、八五七

で昨年同期に比し

輸出　二六、二五五
輸入　一四、七二七

を減少し入超は昨年の四百萬圓に對し非常なる惡化を示した、その主なる原因は生糸の輸出不振によるものである、なほ一月以降の累計は

輸出　六三一、三五六
輸入　八二〇、六七八
計　一、四五二、〇三四
入超　一八九、三二二

で昨年の二億五千六百七十七萬六千圓に比し六千七百四十五萬四千圓の減少を示してゐる

日曜閑話
豫言者は容れられぬ
英雄神化の時代は去つた

豫言者でさへ故鄕に容れられぬとある。まして全てが科學時代理論討究の時代とあつては、神人的な英雄豪傑などの躍出しやう道理がない。世の中は平々凡々、たゞ經濟的に複雜化するだけであるから、レーニンや孫文のやうなものはロシヤか支那のやうな多分に半文化要素を包含してゐる特殊なところにしか生れぬ。

×

人間の智力を超越したる事象はすべて不可思議とされた。この不可思議の事象、それは悉く人間業以上のこと、神の支配の下にあることゝされた。山河草木、萬有は悉皆これ神、人間の智力の及ばざるところに神が存在するとされたすこぶる原始的ではあるけれども簡單直截に萬有神なるものが創造されたのである。

×

ところが、人間の智力なるものは千差萬別、すなはち一般普通のものは、概して一律に平凡、ただ中に平凡人よりすれば一頭地を拔くものがあるとする。その人物は平凡人に比較して神に近いといふことになり、時には神に似た不可思議の行蹟をも揃有するとすればよし故鄕に容れられぬが如きことあらんも、聖者となり、英雄となり、豪傑となること必ずしも難きにあらずである。

×

山も河も木も牛も、生殖器さへ神化される時代にあつては、少し特異な人物が、神に近いものとなることは決してあり得べからざる事柄ではない。たゞ支那民族の如きは、早くから中央アジアの方面から移動し來り、統制を嚴格にして既に天を祭り、孔子の如きものを生むに至つたのであるから、インドやアラビヤ方面におけるやうな宗教的の神を創造することは出來なかつた。

×

十六七世紀から反動して來た文藝復興の精神、それが科學的探究の時代に入り、すべての問題を二に加ふる二が四、試驗管の中にて分析せずんば已まぬのであるから英雄豪傑などの躍出せぬのも當然とせねばならぬ。世界に不可思議といふことがなくなつたといふのではないが、不可思議は不可思議として置き、それを敢て神化しやうとせぬ。ただ今日の科學を以て分析し得ぬとしてゐるに過ぎぬのである。

×

併し、社會がいはゆる資本主義的經濟組織として發達した今日にありては、貧民階級の英雄、勞働大衆の代表者といつたものが躍出すべきであるが、そこには唯物史觀といふやうな思想が擡頭し、すべての問題を物質的に、科學的に解釋せんとするから、そこからは英雄といふやうなものは容易に神化され、創造されて來ぬのである、しかも理論鬪爭の時代とあつて、勞働大衆を代辯するものを或る個人に要求することは出來ぬ。

×

こんな時代にあつては、英雄豪傑を創造し得ぬばかりか、折角積み上げられた功績までも、これを打ち壞さんとするの傾向さへあるのであるから、ロンドン會議において、日、英、米の三國全權らが、如何に世界の平和、國民負擔の輕減に努力したりとて、それを以て直ちに滿足なりと受け容れられぬのは當然である。殊に豫言者は故鄕に容れられぬのである。英雄たるまた難いかなである。

東北當局は依然 北滿防穀未解除
南京政府の命令無視

【ハルビン特電三十一日發】支那側稅關監督は去月廿七日附をもつて昨年七月禁止布告した米を除く一切の特產品穀類の輸出を解禁する旨を公示したが、右は南京政府の命令範圍のもので東北四省としては地方的稅務局の立場上全然關知しない問題であつたので、稅捐局では該告示を初めて知り東北政務委員會に報告しその指令を仰いでゐる、然し奉天政權は假令露支紛爭は解決したといふものゝ滿洲里からシベリヤに全般的穀類（小麥）輸出を許可すれば北滿は品薄を告げ勢ひ市價を暴騰せしめることになり對露關係からも俄に許可することはできぬとの意見で西部線積出は一時中止せしめる內命を稅捐局に發して來た、斯くの如く對外的關係を有する問題についても命令系統が二樣に分れてゐるのだから一般商人はその歸趨に迷ひ困つてゐる

米國北滿に投資
五百萬元の銀行設立

【奉天特電三十一日發】數年來滿蒙を中心に投資を行つてゐる米國資本家は最近又復黑龍江省方面に中米合辦の銀行を設立すべく計畫中で本店を奉天に置き哈爾賓、齊々哈爾、吉林等の各地に支店を設置する準備をも進めてゐると猶資本金は五百萬元であると

水產會問題で 太田長官に陳情
評議員、漁業組合幹事ら

旅大水產會支部評議員及び漁業組合幹事安藤、入江、岩本、加藤氏等は三十一日午前十時關東廳を訪問約一時間に亙り太田長官と會見して水產會に專務理事設置方並に議事機關の改善に關する意見を開陳しその實現方を陳情したが、右は現在水產會は關東廳內務局長、殖產課長が正副會長となつて總ての計劃、統制の衝に當つてゐるがこれでは本官の關係等があつて充分に親切なることが出來ぬのでそのために專門家を置いて更に充分なる研究基礎に基き本州水產業の向上を期せんとすること、第二の議事機關は從來水產當業者の代表たる總代なるものは定員二十七名のうち會長、支部長以下理事者側七名に當業者日、支人各十名とあるも、支那人十名は理事者の意嚮如何に依り何時にても左右さるゝので結局多數決の場合は常に理事者案ばかりが通過し邦人當業者の意見は絕對に通らぬといふ狀態である、右に關しては豫て關東廳當局に於ても考慮中のことであるので研究の上追つて何等かの形式で具體化さるゝであらうと

朝鮮人參の 輸出增加
杉原博士語る

朝鮮專賣局より人參蒐集の爲め派遣された京城帝大教授兼專賣局囑託杉原德行博士は一日入港の濟通丸にて來連した、氏は語る

主に上海に居て人參約五、六百種を買ひ集めましたが歸つて整理してからでなくては何も分りません、朝鮮人參は目下每年約六萬斤出てゐますが年々五分宛增加するやうにしてゐます、偽物が多いですが今、滿、鮮人參の何れともつかぬ偽物があつて未だ何處から作り出されてゐるかも判らないのです、人參の支那における需要は非常に多く殆ど上海で消費されます

輸出附加稅
七月一日實施

輸出附加稅五割の徵收は昨夕既報の如く六月十五日より實施を傳へられてゐたが、三十一日午後五時上海總稅務司より大連海關あて來る七月一日から實施に決定した旨の電命があつた、なほ豆粕、豆油の外國向輸出に對しては附加稅を免除されることとなつた

滿洲工業規格調查委員決まる

關東廳では三十一日附けを以つて遞信技師入江武男ほか官吏十八名並に民間より佐藤信一ほか五十八名をそれぞれ滿洲工業規格調查委員に任命及び囑託した

關東廳辭令（卅一日附）

關東廳遞信局書記　坂東　一象
奉天郵便局長心得兼務を免ず
同　西堀　長作
大連無線電信局長心得兼務を命ず
關東廳屬　村上　德助
依願免本官
任關東廳醫院醫員　津田　武人
任關東廳遞信技手
關東廳農事試驗場技手　村井初三郎
任關東廳技手　島倉　久吉
任關東廳翻譯生　志村　多雄
兼任關東廳遞信書記　佃　省吾
兼任關東廳遞信技手　谷口榮五郎
關東廳土木技手に任ず
關東廳技手　谷口榮五郎
依願免本官（各通）
關東廳遞信技手　村井初三郎

うらる丸

二日午前七時五十分大連港外着豫定

人事

▲石傑氏（南京軍官學校教官）一日午前十一時出帆の大連丸にて赴任の途に就いた
▲武田南陽氏　一日午前十一時半入港の濟通丸にて天津より歸連
▲セミヨノフ夫人　同上來連

天氣

二日（北西の風）曇後晴
滿潮　午前一時十分　午後一時五十五分
干潮　午前七時十分　午後八時四十五分
▲暴風警報　午後零時三十分より南滿洲一帶を警戒す

風薫る滿洲野原頭 勇者の壯烈な跳躍

觀衆早朝からスタンドを埋む 市民運動會の盛況

六月一日、明くれば空は曇れど微風そよぎ暑さ烈しからず絶好の運動日和、前日の手入れにすつかり準備を終つた大連運動場のトラックにはクッキリと白線が浮き立ち

意氣に燃ゆる大連市民の活躍を大手を擴げて迎へてゐる、運動場の四隅を飾る無數の彩旗が盛んに打揚げられる花火と共に、來會者の足どりを一層に輕くする本部前檣頭高く揚げられた日章旗が初夏の薫風にはためき緊張した嚴肅さをグラウンド一杯に漲してゐる、大會開始前すでに一般小學生を始めとして子供連れの家族團が、電車の止まる毎に長い帶を曳いて續々と運動場に詰めかけて來る、かくて定刻八時、三發の花火を合圖に永井副會長(市長內地出張中)貝瀨審判長その他役員參集副會長はマイクロホンを通じて開會の辭を述べ、大連市主催本社後援の第四回大連市民運動會は開始された

嵐のやうな拍手と、可愛い子供の聲援裡に競技は尋五女の六十米突競走から開始され、プログラム通りにスラ〱と進行、小學生の六十米突、百米突競走もすみ學生、一般の百米突の中ごろから陽光麗かに雲間を破り一層の活氣を添えた、四百米突、圓盤投、砲丸投も無事に終了呼物の一つの提灯競走は滿場の哄笑と聲援裡に行はれたかくて十一時十分早苗小學校の勇ましい騎馬合戰が始まつた、赤白の兩軍は遼陽城頭の軍歌も勇ましくフイールド內に進軍、東西に分れ、號砲と共に喊聲勇ましく突擊、肉體相搏ち滿場の聲援の裡に奮戰赤奮戰、一回戰に敗れた赤軍二回目には包圍攻擊を試みたが再び敗北、萬歲の聲に白軍に擧る、次の五千米突では

學生組は大商の岩佐、一般組では志水が夫々優勝、例の五十六の笠松老人が滿場の拍手を浴びながら終始ラスト乍らにも元氣に全コースを走破した、終つて昨年五千米突の勝者中島君、一般四百リレー(大連工場)一般千六百リレー(國際運輸)學生千米突メドレー(工專)の各優勝チームは本部前に整列莊重な優勝盃の返還式あつて無事午前の部を終つた、時十二時四十分

けふの寫眞

(上)市民運動會早苗小學生の騎馬合戰(下)會場展望

トラック 競技成績

六十米競走(尋五女) ▲一着黑瀨嘉子(九秒二)二着秋山和子、三着相葉滿壽▲一着石川喜美(一〇秒二)二着照井恭、三着尾關トシ▲一着永田かの(一〇秒二)二着野澤光子、三着沖見久代

同(尋六女) 一着平原正子(九秒八)二着合田綠、三着佐藤初枝▲一着伊藤鎭江(九秒六)二着入江直、三着畑幸子▲一着鈴木嘉代子(九秒四)二着松本富士子、三着月城幸子

同(高一女) 一着三浦貞子(九秒八)二着本澤芳枝、三着有田琴子

同(高二女) 一着西村滿壽子

百米競走(尋五女) ▲一着能浦十代子(九秒四)二着谷口ハルミ、三着谷利子(一五秒九)二着山本惠美子、三着樋野敏子▲一着宮地通子(一六秒)二着西森秋子、三着山崎利子▲一着加藤英子(一六秒五)二着村上月子、三着大神絹子▲一着吉田潔子(一六秒二)二着久保淑子、三着古賀節子▲一着加藤佐和子(一五秒八)二着竹原富子、三着秋山溫子▲一着原マツ(一五秒九)二着中島卓子三着三田茂子

同(尋六女) ▲一着牧山ユリ子(一五秒六)二着內田節子、三着武末ミツ子▲一着日塔滿子(一五秒六)二着榎森深惠子三着

同(高一女) 一着……山本七子▲一着吉野……秒八)二着下澤富……宅雪枝▲一着入本……秒七)二着谷川恭子……玉子▲一着山本マツ……一)二着伊藤幾久子……ミ子▲一着長谷川……秒)二着大井重子、……キ

同(高二女) 一着……一五秒七)二着佐野……佐藤さと系

同(高二女) 一着……一五秒二)二着永井……里トキ

同(尋五男) 一着……五秒五)二着佐々木……池田實▲一着林俊……二着篠塀正、三着……高橋邦雄(一五秒……彥、三着山內一雄▲……一(一五秒四)二着村……着柿田吉郎▲一着……宮田牧人、三着內藤……

同(尋六男) 一着……(一五秒)二着吉田……濱浦信雄▲一着矢……秒三)二着安齋信……俊平▲一着森壽夫……竹川昌平、三着中村……田虎松(一五秒)二着……三着岡村博一▲一着……一五秒五)二着宮田……川正也▲一着新井安……二着內海利雄、三着……

同(尋高二男) ……

同(尋高一男) ……(一三秒八)二着鈴木……崎茂

……(一一秒)二着中原一太郎、三着……野直鄉▲一着山崎長三郎(一……秒六)二着永坂芳夫、三着遠……昌俊▲一着緒方俊雄(一二秒……)二着飯田醒一、三着森巖▲……着鈴木龍雄(一二秒七)二着永……武義▲一着加藤鎭平(一一秒……)二着吉屋昌雄、三着白石克……▲一着井上是一(一一秒六)酒……政則、三着近藤正元

同(工專) ▲一着赤城明(一一秒七)二着坂田恒夫、三着廣瀨信夫

百米(一般十七歲以下) ▲一着永森資(一二秒九)二着宮出雄造、三着楠本正吾▲一着針間晃(一三秒五)二着深川勘藏、三着安……

同(一般二十六歲以上三十五歲) ▲一着江頭猛(一二秒二)二着高橋愛二▲一着佐藤愼一郞(一二秒二)二着渡邊太郎、三着境濱松▲一着本田繁喜(一二秒……

……三着小林滿洲吉▲一着竹園正續(一分二〇秒三)二着奥井正三、三着山口正一

同(工專) 一着川口與四郎(二分一九秒二)二着笠原七郎、……

哀し畑大將の靈柩 けさ官邸に入る

遺族や文武大官に護られて

畑大將薨去の報傳はるや一日午前八時太田長官夫妻、厚東要塞司令官、西山財務部長、神田大連民政署長、二宮憲兵隊長、渡邊重砲兵大隊長、大塚在鄉軍人分會長を始め小林秘書官、日下文書課長その他いづれも靈柩を安置せる將校病棟に參向拜禮、午前九時十分に至るや三宅參謀長以下各幕僚に護られ柩車には英一、賢二の兩令息同乘、數臺の自動車にて官邸に向つたが滿鐵旅順衞戍病院長以下一同は衞門北側に整列見送つた、靈柩は午前九時三十分新市街日進町の官邸に到着、すい子夫人をはじめ家族並びに仙石滿鐵總裁以下多數弔問の人々出迎へ裡に柩車は邸內階下大廣間に安置され此處にて再び家族一同並びに太田長官、仙石滿鐵總裁、厚東要塞司令官以下弔問の文武諸星のしめやかな禮拜が行はれ本年十二歲の末子岩雄君や十三歲の芳子さんの玉串禮拜などーしほに弔問客の涙を䟦つた

葬儀は來る四日 舊市街偕行社にて

葬儀は陸軍葬喪令により厚東要塞司令官管理の下に嚴かに執行される筈であるが、日時は四日正午より官邸において出棺祭、同一時出棺、靈柩は舊市街偕行社に移されて同二時半より大連出雲大社の祭司にて神式により本葬祭を執行、終つて四時より五時まで一般の告別式を營まるゝ事となつたが、遺骸は旅順火葬場に於て荼毘に附せられる筈である

今曉關東に強震

居住民戶外に飛出す 水戶地方に相當被害

【東京一日發電】今曉三時頃東京地方に强震あり就眠中の市民を驚かし何れも戶外に飛び出した、震源地は茨城縣涸沼川上流地域で水戶地方に相當被害あり

弔問弔電

朝來引き切らず

一日朝の故畑大將の官邸には濱口首相以下各國務大臣、陸海軍諸將等より弔電續々寄せられ、長官、滿鐵總裁以下在滿知名士の弔問引きも切らず、官邸內はしめやかなる中にも大多忙を極めてゐたが、午前中の主なる弔問者は左の如くである

太田長官夫妻、仙石滿鐵總裁、厚東要塞司令官夫妻、神田大連民政署長夫妻、藤井工大學長代理、西山旅順民政署長、櫻井遞信局長代理光岡大谷光瑞代理、久保田駐在武官、田中大連市長、中村旅團長、森本地方法院長

遺米婦人歸朝

【東京卅一日發電】時事新報派遣の遺米答禮使一行は卅一日早朝龍田丸で歸朝十一時入京した

フイールド 競技成績

同(一般三十六歲以上) 一等田村稻美(九米六八)二等島田行正(九米五一)三等竹本清(八米七八)

同(一般二十六歲以上三十五歲) 一等野々村剛(一一米六二)二等上田敏郞(一〇米八一)三等常岡寅多(一〇米三六)

……(一〇米四五)▲二等石丸晃(一一米三七)二等中村正夫(一一米三二)三等鷲見勉(一〇米六九)

同(一般三十六歲以上) 一等佐々木養次郎(三米九七)二等本川竹延(三米七三)

走巾跳(學生) ▲一等湊川捨三(五米九八)二等近藤正元(五米九七)三等井上是一(五米七三)▲一等松尾軒人(五米五八)二等濱田要(五米一八)三等古田島忠敬(四米七六)

同(工專) 一等久恒木聽(六米一七)二等大崎安二(五米六八、五)三等西田良知(五米五三)

同(一般十七歲以下) 一等永……(五米一八)二等石井進(四……五)三等出口茂雄(四米六……)

同(一般十八歲以上二十五歲) 一等籾田積(五米八五)二等堀……(五米四二)三等櫻井外海……(米四〇)▲一等入江猛(五……)二等加藤竹次郎(五米……)三等大塚則雄(五米五九)……二等太田猛夫(五米六八)二等高司(五米三六)三等中島弘……

同(一般二十六歲以上卅五歲) ……上野五郎(五米一九)二等上……郎(五米一二)三等石川章……(〇五)

大連郵便局の電線切替

大山通の新廳舍に移轉した大連郵便局では早速電信線の切替を行つた、何しろ滿蒙通信網の中心、約六十回線の電信線を持つのみならず大連無線電信局も併置されてゐるといふのだから此の切替には特に細心な注意を拂つただけあつてけさの零時から僅に二分間で切替を終り、二十分後には全線とも見事な成績で通信を開始した

各國選手けふ歸國

【東京一日發電】オリンピック參加の比島選手百六名は橫濱よりコレスエロ號にて一日午後神戶着、中華選手百二名は一日午前六時半日光へ向ひ印度選手は三十一日夜急行にて日本選手と共に大阪に向ひそれ〲國への土產として下駄傘、扇子、子供の自動車、電車等を買ひ込んで歸國の途に就いた

幌內炭礦大火

【札幌一日發電】三十一日午後二時二十分頃石狩國幌內炭坑市街地より發火(火元不明)忽ち大火となり水利不便のため幌內劇場小學校等約百七十戶を燒失同四時鎭火した原因取り調べ中

Z伯號消息

【レークハースト三十一日發電】ツエツペリン伯號は三十一日朝七時二十五分當地に到着した

……米競走(一般三十六才以上) ……一等外山包男、二等岡松三郎……金井文男▲一等首藤角馬、……橫山早人、三等諸麥敬二▲……中島國雄、二等今泉忠次、……坂井貞三

……米競走(學生) ▲一着……勇(一八分一六秒三)二着……智一、二等藤井嘉平次、三……野儀一▲一等伊藤豐政、二……富直一▲三等西川國一……和、三着高須四郎、四着今……郎、五着永井卓三、六着浮……、七着國承寬、八着松源……九着片岡芳雄、十者深堀……

五千米一般競走 一着志……市(一七分二二秒五)二着山……次郎、三着大塚久雄、四着……正一、五着並川友吉、六着……庄作、七着村野保、八着曾……九着水野梅雄、十着島本……

同(工專) 一着宮原義克(一……六秒五)二着小鴻忠勇

……始先頭を切りラストへビー……二着を約三百米離して勝つ……山崎、大塚は各々二百米の……次ゴールに入る(以下朝刊)

陸軍大將從三位勳一等功五級 畑英太郎

儀病氣の處養生不相叶五月三十一日午後十一時廿五分薨去候間此段謹告仕候
追而來六月四日午後四時より五時に至る間旅順偕行社に於て神式により告別式相營可申尙乍勝手本廣告を以て御通知に代へ申候
昭和五年六月一日

嗣子 畑英
親戚總代 畑俊六
岩崎又一
宇垣一成
友人總代 鈴木莊六
太田正弘
仙石貢
林久治郎

關東軍司令官陸軍大將從三位勳一等功五級畑英太郎閣下御病氣の處養生不相叶五月三十一日午後十時二十五分薨去遊候間此段謹告仕候
追而來六月四日午後四時より五時に至る間旅順偕行社に於て神式により告別式御執行相成候
昭和五年六月一日

關東軍司令部
高等官一同

艶色生膽秘譚（129）

伊藤松雄作　河原塚龜太郎畫

迷へる羊（一）

妖婆お力の家を出た五三郎、懐には護符を、手には御神水を、辻駕籠とばして、根岸の寮へ戻つて來た。

遠州の爺さんが辻斬に逢つて以來、晝の間も、おうかたは雨戸を閉してある。

裏木戸からこつそり入ると、

「五三郎かい？」

「へい、只今戻りました」

「おお、よい處へ……」

お仙は色紙型に切つた畫箋紙を部屋一杯にとり散らした中に座つて、紅筆染めて左近の繪姿を描きつづけてゐる。

「御精が出ます事！」

「やつと九十九枚、これが描きあがれば百枚、念願が叶はうと叶ふまいとあとは出雲の神様任せ、とにかく粂平内様への申譯はたたうと云ふものさ」

さう云ひ乍らも紅筆管ては丹念に似顔の眉を引いてゐる。

「姐御出雲の神様よりやアこの五三郎、必ず左近様にお逢はせいたしますよ」

「え？それぢやアお前目黒の…」

「へい、お力婆さん、近頃江戸で隨一と云はれてる口寄せの巫女、そこをたづねてまいりやした」

「で――」

「まア、その一枚を描きあげておしまひなさいまし」

「ぢらすぢやないか、もうこれでおしまひだよ」

畫龍點睛を、ポツツリいれると左近の似顔繪生々と躍動して來たをこれ見よと五三郎の前へ差出した。

「姐御これで百枚ですかい？」

「ああ！」

「ぢやアこれを粂平内様へ……」

「さうさ！」

「ま、お待ちなせえまし、明日の晩にやア必ず左近様がこの寮へたづねて下さらうてえことになつたんで」

「え？」

「粂平内様は申すにおよばず出雲の神様よりやア何つてつたつてこの五三郎様々でさア」

「ぢやアいよ〱御住居でもわかつたと云ふのかい？」

「いえね、かうなんでさア、ま、この御神水を頂いた上、護符をしつかりと肌身につけて下さいましよ」

そこで五三郎が巧に話しだしたは右近龝川三人鼎座の上相談した計企であつた。

「口寄つてもなア恐ろしいもんでげすよ、何しろから、あつしが左近様とぢかに逢つてお話ししたやうなもんで……」

「別段あの方に否やはないと仰有るんだね」

さすがにお仙ほんのり顔を赧めたものである。

「否も應もあるもんですか、先方様も、それ〱大川の夜以來、姐御を滿更でなく思ひつめてゐたて譯なんで、へい」

「おからかひはよしておくれそんなことはないよ」

お仙は尼僧姿にはげちよろけた白粉の跡、生々しい唇紅そのいやらしい面影をさぞやさげすまれてゐたらうと未だに恥入つてゐるのだつたが、五三郎そこまでは知らないから大眞面目である。

「まづ五重塔で出逢ひ、それから此處へ御案内するてえ寸法に決めましたが、その百枚の繪姿、久米平内様よりや當の御本人に姐御の實意をそのまゝお見せした方がと思ひやしてな」

「それもさうだねえ」

お仙はまつたくおちつきを失つてゐた。

「時に姐御今夜ひとつあつしにお暇を下さいませんか！」

「そりやお前これだけのお働きを見せておくれのあとだから何だけれど、遠州もあんなことになつたあとだし」

「まアさ、お淋しいなア判つてゐますが、是非そこんとこを……」

五三郎何を思つてか切りに一夜の暇を望んでゐる。

「まさか性悪な游蕩にでも出かけるんぢやアなからうねえ」

「どういたしまして明日の晩のこと、いはゞ確めてくるんで」

「うまく云つてるよ！」

お仙は五三郎の前へ小判を並べた。

「軍用金がいるんだらう。近頃物騒だから氣をつけておくれよ」

「えつへゝゝ」

◇◇麗人◇◇（全十八卷）帝國館上映、松竹蒲田作品、佐藤紅綠原作、島津保次郎監督、栗島すみ子主演、オールスターキャスト、島津保次郎氏の「レビューの姉妹」に次ぐ作品で、原作は東京日日、大阪毎日紙上に半歳餘連載されたもの、尚本篇には原作者の令弟サトウハチロウ作詞の歌が挿入されてゐる

本社主催の支那劇を始め　盛況をきはめた　さくやの各演藝館

昨三十一日の夜は最近まれに見る演藝界の當り日で、協和會館に於ては本社主催の下に章遏雲一行の支那劇大會があり、ヤマトホテルに於ては淸元延榮龍師の名披露目演奏會、歌舞伎座に於て長唄杵屋正春師の同じく名披露目演奏會があり、同好者をして其選擇に迷はしめたが、結果いづれも皆大入滿員にてすばらしき好成績を納めたが、協和會館に於ては滿場の日支觀客いづれも章遏雲の妙技によひ、ホテルの淸元會に於ては延榮龍師立てを勤める所の「保名」延まさ代さん特別助演の「十六夜」等最も好評を博し、又歌舞伎座の長唄會に於ては榮一郎師の「岸の柳」紫竹會社中の「望月」それに「賤機帶」等が最も好評でいづれもさい先よき名披露目會であつた。

演藝會を控へて　惱む「響社」　不可解なは大劇の態度

響社が二十五周年記念として大連檢番、逢廓組合、西檢番合同の演藝會を催すべく過般來準備を進め來る十四、十五の兩日大連劇場に於て開催する事に決定し劇場側とも期日其他一切の契約を正式に取交はし出演者に對してもそれ〲其の旨を通じて着々と準備を進めてゐたが、昨三十日に至り俄然大連劇場主柴崎時藏氏が前記契約を取消すと響社に申出て來た、とにかく響社としては既に期日をも確定し、之れを目標として各方面に宣傳を開始し出演者も其の豫定に向つてそれ〲準備中である際であるから此の劇場側の破約には文字通り狼狽して再三柴崎氏に對し交渉を行へるも同氏は强硬に之を拒絶し何等其の理由をも明言せず唯「都合により」の一點張りで、いつかな聞き入れず結局響社は出演者との間に入つて拔き差ならぬ羽目となつて居る

長年興行界に籍を置く大劇の柴崎氏が「ひびき」社との契約を踏みつけた事は興行界に在るもののゝ取るべき態度でないと評判が

演藝日記

▲五月三十日　車馬の交通遮斷を食つた常盤座、其の後興行成績に大いに影響ありと極力其の筋にタンガンした結果、やつと常盤座兩側の交通だけゆるされる事になつた。昨夜は「金」の試寫が十卷、今夜は「麗人」十八卷、明夜は「學生三代記」十九卷の試寫、映畫雀此の處ダアー

題い▲演藝館の英澄氏、何か目新らしい所目新らしい所と、いつもねらつて居るが、今度は大衆作家大會と稱して、三上於菟吉、今東光、國枝完二と此の三人の原作映畫を並べるとの事▲松竹映畫に關する餘譜綱々、いまだに二三の人が館の新築にからんで色々な策動をつづけて居るとの事、▲昨夜ホテルへ淸元を聽きに行つて先づあきれたのが聽衆のだらしなさ、椅子をがたつかせる、子供をなかす先づ聽衆教練が必要

當る卅一日、一日二日の三日間　於協和會館
章遏雲一行支那劇
讀者優待割引券
本券持參者に限り割引
一般一圓五十錢、讀者一圓
主催　滿洲日報社

當る卅一日、一日二日の三日間　於協和會館
章遏雲一行支那劇
讀者優待割引券
本券持參者に限り割引
一般一圓五十錢、讀者一圓
主催　滿洲日報社

試寫を見る　學生三代記

◇マキノ映畫、監督に阪田重則、松田定次、三上良三、マキノ正博並木鏡太郎、久保爲義のめん〲をそろへ俳優はオールスターカストといふ陣容で製作された三部作である。春の大作としてマキノが誇るもの

天保時代

◇これは松本建二郎氏の原作脚色で、根岸、登六、新見、荒木、淺間の活躍する時代もの、寺小屋の娘を中心にナンセンスを見せたものである、タイトルはマキノ獨特といはんばかりに饒舌に語り「動物園」のやうだ「卒業」したぞとか「娘がおかるなら父親は與市兵衛だ」など思ひ切つたところを見せてゐるのは「浪人街」に我々を笑はせたところのマキノ・ナンセンスと相通じるものがある、根岸と登六の彌次喜多ぶりが見もので ある。

明治時代

◇これはまた映畫として本格的な――これだけでも三部作から離し得られる作品である。書生道華やかなりし頃の四人の法律書生と法律學校長の娘の純眞な戀、弊衣破帽、鐵拳制裁、ランプ、人力車、矢場、女義太夫、銘酒屋、ピンヘツトやサンライスを賣る煙草屋の娘――といふやうな明治的な材料をそろへて、これはホロリとする物語りである。

◇原作のよさもある、法律書生のスポークン・タイトルのごとき、なか〱にしやれたものである。しかし監督としての正博氏はこゝにまたよき腕を見せてゐる。智子が娘靜子――啊の唐牛、中根の原東郷の國島――この三人書生の大柄なのがうれしい限りであり、中根のユウモラスた味もまたさらに特筆すべきものがある。河村といふ同じ法學生で美貌のため靜子との間を疑はれ、破門され自棄に陷いる役は國太郎である、ラストの無頼漢との果し合ひもおもしろい大林の銘酒屋の女はうまくなつたものである。カメラもよかつた。

昭和時代

◇これはスピードとナンセンスとの短篇ものを、モダン學生風俗レビユウと稱して八つまとめたもの「バレシアのうた」「花束」「下宿」「工場」「メダル」「ストツプ・ウオツチ」「野球」「自動車」――そのうちで「野球」のナンセンスがいい短篇ばかりなので、まづ俳優の顏見合といふところもある、ロケの選定を東京にし新青年趣味をもつともりこんだならさらに昭和時代的になつたらうと思はれる。

ラヂオ

大連 JQAK　六月二日午後七時卅分
▲ニュース
▲露語講座　第四十課　大連語學校グロースマン
▲講話「臺灣果實に就て」臺灣總督府地方技師入鹿山成樹
▲レコード　競奏曲ラクマニノフ氏作、第一樂章、第二樂章、第三樂章
▲義太夫　義經千本櫻鮨屋の段　太夫岸三光、三味線豐澤團住
▲料理獻立
▲ラヂオ體操

東京 JOAK　六月二日午後六時二十五分
▲商業ニュース　靜岡縣行幸記念第六日
▲自午後七時特別ニュース
▲自午後七時五十分琵琶「橘大隊長」中澤錦水
▲朝鮮古代音樂　（一）念佛（二）打鈴（三）軍樂（四）界面（五）雨淸（六）羽調（七）散調獨奏（新羅樂）　朝鮮正樂團一行樂士李 彥植外八名
▲室内音樂　ピアノヴアイオリン二重奏、ヴアイオリン安藤幸子ピアノ、レオ・シロタ、ソナタ第二番作品三六A（ブゾー作曲）

文藝

踊り場・空し (下)

横澤宏

AとC、じつとBの狂しさうな姿を眺めてゐる。次第に暗くなる、と同時に次の部屋で扉の閉ぢる大きな音がする、突然次の部屋から大きな話聲が聽こえる

この時、舞臺は全く暗く——騒て狂暴なジヤツバンドと共に舞臺あかるくなる。

AとBは居ない。

Cが一人、窓から外をのぞいてゐる。

A、紳士を連れて登場。

紳士は堪らない程醉つて何か始終ぶつぶつと呟いてゐる。

A、おや!しつかりなさいよ。

紳士、だ……だい丈夫さ。醉つてるよ。わしには何にも彼にも、解らないつてものがないんだ。

し……しかし、だな。醉酊は——した。したよ。それも……つまり、なんだ!

わしの妻がした、した、したといふ話さ。慨くことはない。世界は今や貞操を失ひつゝあるのだ。世界はへゝゝゝそんな黴梅なんだぜ。淫賣も名譽にならうよ。

C、突然振りかへつて紳士を見据える。ひんしゆくする。

紳士、淫賣が——だぜ。

A、まあ、いゝぢやありませんか?

紳士、おつとつと……わしは清教徒だ!

(眞劍に)わしの妻はニコラス大帝の遠縁にあたる、やんごとなき家柄の娘だつた。そして、わしは市役所の下らない日傭人ではあつたが、わしは其の娘と——考へて見て呉れ!

A、おや!おや!この男は泣き上戸なんだよ、本當に!

紳士、よし!貰はう!

A、なにを、よう。

紳士、泣きやまぬ害愁の名殘が、おまへの身體を買ふ、といふ話さ。

A、身體を?

紳士、いや、全身を!

A、眞ツ平だよ。

紳士、(哄笑)

A、留は、なんだよ、脱脂綿にやあならないんだからね。考へて物をお言ひよ。

紳士、ルーブル!

おい!ルーブルだつて!おゝなんて懷しい言葉だ!わしは、もうあれ以來其の言葉にうえてゐた。その言葉にこがれてゐたのだ!わしは、その言葉を一切きかなくなつてから初めて、ロシア人だつたことに感づいたんだ。

ルーブルを見せて呉れ!

おい、ルーブルを見せて呉れ!

あの——手觸りつたら……

おゝ!畜生!咽喉がかわいて來やがる!

わめきながら紳士はAに引きづられて退場。

ロシアよ!ルーブルだ!おゝ畜生!ぞくぞくさせやがる!わしは死んで了ひそうだ!惡感がする!おい!ルーブルを!ルーブルだ!

C、(悲しげに紳士とAを見送る)

B、(うなだれて登場。この時分次の部屋は元のように靜寂である、B、Cの後姿を見ると一寸狼狽する。靜かに見つからないように別の扉から出ようとする

それから再びCをかへり見る。何か氣拙いような風で……思ひ切つて)ねえ!

C、(一寸ふりかへるが復そつぽを向く)

B、もう誰も來やしないわ——屹度(なるべく沁々と)一緒に寢みませうよ。

C、……。

B、あんた、おこつてンの?

C、……。

B、どうにもならない事で、それにそれだけの事を何時迄もくよくよと考へるものぢやあないわ考へることより他人に考へさせるようなことをするのが賢いんぢやないかしら?

さあ——一緒に寢んで頂戴な。

何んだか寂しくなつて來たわよ

C、……。

問、やがて次の部屋からAの唄ふ聲がつたはる。

C B、おゝ?

二人、顏を見合はす。それから氣拙づそうに、それでも微笑し合ふ。問。

A、登場

A、ちよつと——(笑ふ)可笑しくつて……涙が、涙がでるわ。(笑ふ)あの男は變な癖があるのよ(笑ふ、堪らないと言つた樣子)

B、どうしたの、よ。

A、(笑ふ)だつて……。

C、(難しい表情から次第に笑顏に崩れだして行く)

A、おかしくつて……まあ……斯うなの(笑ふ、言葉がでない)

B、おかしな女!

C、(笑ふ)

B、(笑ふ)

A、B、C一緒になつて笑ひこける。

聽て。

A、(笑ひながら)あゝ、お腹が痛い!

(じつ、と堪へる所作)もう……もう、笑ふにも聲なんかでやしないわ。

三人、笑ひながら丸い卓子に最初と同じ位置で腰をおろす。次第に三人の顏から笑ひの影が消へ失せて——同時に柱時計が三時を打つ。

と、笑ひは完全に影をひそめ、三人の顏は漸次嚴肅な表情と變化する。間。

A、もう三時だわね(間)いつそ今夜は斯うして三人で話し明しませうよ。ね?何んだか滅入るような氣がして仕方がないわ。

さあ(BとCに)何か話して頂戴!ね(憐ましそうに)ね。お願ひだから。

B、……。

C、……。

A、さ、お願ひだから。

B、……。

C、……。

A、ねえ!ねえ、つて!

B、……。

C、……。

A、卓子に顏をうめる、BとC無言。久らく。氣分に弛みをいれないだけの長い時間、三人共無言。

やがて——よき所にて。

(幕)

「昭和二年四月」

今西氏創作陶器

河上八十次

今西洋氏が突如として大連に現れた、そして六月二、三の兩日社員倶樂部で作品を展觀すると云ふ

「僕達には先生と云ふものがない若し強て先生を探せば方々で拾ひ集めた燒物のカケラだ」

長崎波佐見村の山中にある古今里の窯場で此の春富本憲吉氏と會つた時二人はこんなことを話し合つたと。

——こんなカケラにばかりに囚はれてゐては、佳いものは出來ない棄てしまへ——斯う考へて今西君は長い間蒐めた陶磁器の破片を一さいがつさい棄たことがあるが遂に古井戸を一つ埋めたと云ふことである、今西氏の先生はカケラであつた。

併し今西氏は、富本氏が奈良を引上げて東京に窯を持つやうになつてから、日本全國の窯場巡りを思ひ立ち中央線の多治見、尾張の瀬戸を振り出しに近江、伊賀、丹波、鳥取、長戸、博多、佐賀、長崎と今春に至るまで三ケ年半各所の窯場で製作をやりながら巡つたのである。

× ×

現代の機械化された冷たい陶器類を昔のやうな精神的な親みのあるものに取り返したい、朝夕常に接する食器類や其他のものに對してよくも一般の人は我慢してゐる、と僕は不思議に思ふ程である、と今西氏は云つてゐた。機械化、商品化された現代の陶磁器、又家傳を機械的に踏襲するのみで些かの精神的な情味のない多くの陶器の中にこ今西氏の作品を見出すことは愉快なことである。

× ×

又、今西氏は模樣繪に就て——多くの燒物の繪は紙に描く繪をまゝ燒物に持つて行つてゐる、紙に描く繪と燒物に描く繪とは全然違つてゐる、燒物には燒物にしつくり合ふ樣に圖案化されたものでなくばいけない——と、氏が此度滿洲に來た目的は二つあつて一つは支那の燒物を見たり蒐集したり又其の道の研究家に會つて話を聞き度いと云ふのと、一つは滿洲や朝鮮の自然に接し其模樣繪の材料を探して寫生したいと云ふのであつた。今西氏は常に古い陶器のカケラを探してそれを見るが又常に自然を探して自然を見る、斯くして其模樣繪て陶器獨特の又氏獨特の圖案が創造さんるのである。

× ×

今西氏の作品の姿には親みのある落ちつきと安定がある「僕は僕の好きな形を作つて行きたい、或は其の形は何處かで見た他人の作品の再現であつて僕の創作でない場合があるかも知れないが、そんなことを詮議立してゐたところが仕樣がないから、僕は僕の好きな形を好きな形をと作つて行きます」

又厚くて重みのある茶碗を抱へて「元來陶器類は碎れやすいものである、それを薄く作つて置くとそれを持つた時に碎はれはしないかと云ふ不安を起させる、お茶でも飲む場合は大抵働いた後などで安樂にしたい時であるのに斯う云ふ不安を起させては樂しく安息することだ出來ない、で僕は成る可く厚く作るやうにしてゐます」と

今西氏は自分で土を捏ね自分で轆轤を廻し自分で模樣を描き自分で燒く、斯くして今西氏の作品には氏の全人格が表現されてゐる。

(寫眞は今西洋氏作向つて左から、織繪芍藥、朝鮮薊、蠟ぬき柳)

短歌批評 (三)

池内赤太郎

◇

熱ひかねば思ひ感ひて効くといふ金魚の肝を吾兒に飲ましむ　加藤鐶氏

第一二三句ごたつく、獨言へば第二句不要である。第五句に調子がない。成功の歌ではなからう。

妻子らを病院におきて春淺き夕べ厨に物音さする　同

第三四五句に對し第一二句臨がしい、第三句不要、矢張り第四五句は借物であらう。

◇

濃霧の流れてやまぬ山の上の小松が原にぬれぬ小松は　原眞弓氏

一首を貫く情感が强く現はれて來なければならない。それがないのは單純にいつてないからである。「小松が原にぬれぬ小松は」は拙い。

山の上の青草原をかすめ飛ぶ霧のゆき早く夕づきにけり　同

第四句の「ゆき早く」全く不要であらう「山の上の青草原をかすめ飛ぶ霧の夕づきにけり」だけでよいのである。これで「霧の夕づきにけり」が生かされたらよいと思ふ。この歌では死んでゐて同感に惹き入れられない。

◇

山ざとの春うららなり家ごとに杏の花の咲きさかりつゝ　河瀬松三氏

第二句の情感が一首の生命となすべきである。かう表面に露はしてしまつては殺風景である。なぜ「春うららなり」と感じた事象を捉へることをしなかつたであらう。それを捉へて寫生が要領に入れば自ら春うららなる歌になるではないか。

羽根蹴りて娘等はあそべり翠の花ほのかににほふ庭なかにして　同

第一二句に力が這入つてゐて注意がそこに惹きつけられてゆく。それが第三句で突き放されるように解放されてしまふ。第三四五句が平面描寫で結局説明だけにしか働いてゐないことが直ぐと感じられるのである「ほのかに」も利いてゐない「翠の白い花が咲いて居る庭で羽根を蹴り蹴り支那人の子供が遊んでゐる」と言ふところを歌はうとしたものと思ふがこの作者の初め頃の素直さが最早失はれた感があつて甚だ遺憾に思ふ。

◇

再び連翹ぞ咲ける飯食むとただに生きたりこのひととせを　城所英一氏

自が自信足らぬ暗さに耐へながらひた縋る子を抱きあげにけり　同

言葉だけのもので内に湛へたものがない。從つて言葉に力の入つて居るもの程餘計に空虚を感じる。これでよいとするものがあるならば歌の調子などどうでもよいといふことにならう。第一首第一二句「再び連翹ぞ咲ける」と聲を張りあげて一體この結末がどうつけられるのであらう。元來歌の第一二句は極輕い出方をするのが短歌形式の性質上普通でなくてはならぬ。それを押切つて最初から強く高く踏み出す場合でも下にゆく程内容も一段と強くなり高くなりしていつてはじめて歌をなすのであつて、理に墜るところはない。そこがどういつて居るかと三句以下を見ると「飯はむとたゞに生きたり」であつて忽ち空虚感が起つて來る。而も肝腎要の第五句が「このひとゝせは」である。これだけでも平凡極まつて居るところを「たゞに生きたり」と云ふ大業な言葉を承けての「このひとゝせは」であるから平凡を通り越してスカタンを喰はされた感がするのである子規の言つた頭重脚輕である。皮殼にさまよはずぐんぐん内に向つて突き進んで貰ひたい。

第二首第二三句はこころもちの廻りくどい説明に止まつてゐる。ここを抽象的に表はさなければ甘いと云ふばかりでなくこの歌生きないと思ふ「ひた縋る」も言葉が際立つて感情の添つた言葉になつてゐない。

片假名詩篇

柄澤津也

父よ彼らを赦し給へ
その爲す所を知らざればなり
十字架の下に蠢く二人の使徒たち
あゝゴルゴタの陽は血の色だ

× ×

病に瘦えた身をそぞろに運び
散りつくした櫻の下に詩集をひもどく
知らずの中に春は來たのだ
すべてが甦へる大陸の春
あゝ私は好きだ、この大陸の春

× ×

青葉茂る並木のかげに
チラホラ見ゆる日傘の下に
柔かい春の陽は照るよ
乙女の胸は柔かく赤くおどる
あゝ陽は照るよ血の色に

ラヂオ露語講座

大連放送局六月二日午後七時

講師大連語學校グロースマン

СОРОКОВОЙ УРОК.

А.—Где вагон второго класса.
К.—Вам какой,—для курящих или для некурящих.
А.—Для курящих. Но у меня плацкарт.
К.—Плацкартный вагон вот этот.
А.—Проводник, где мое купэ.
П.—Пожалуйста покажите билет.
А.—Вот.
П.—Ваше купэ номер три, третья дверь направо
(А. входит в купе и занимает уже приготовленное место носильщиком).

第四十課

A.—二等の車はどこですか.
K.—貴方はどんな車ですか喫煙車ですか禁煙車ですか.
A.—喫煙車ですけれども私は寢臺劵を持つてゐます
K.—寢臺車はこゝです.
A.—ボーイ，私のクペーはどこですか.
P.—どうぞ切符を見せて下さい.
A.—これです.
P.—貴方のクペーが三番です第三番目戸を右に.
(ア Aはクペに入りますそうして赤帽のすぐに用意した座席を取ります).

(大正十年二月九日第三種郵便物認可)

滿洲日報

一、資本金 二百萬圓(拂込濟)
大連市西通
株式會社 大連商業銀行
電話 (三四七番 五〇二番 四八二番)
一般銀行業務確實に御取扱可申候

考古學講座 第一回第廿六卷出來 第二回第卅三號出來 配本濟 至急書店へ 第二回よりある

東洋史講座 第七回配本濟、漢人復興時代 有高巖著、至急書店へ

西洋史講座

會員募集 申込締切 六月十日 見本進呈

監修 文學博士 瀨川秀雄 文學博士 大類伸 講師は何れも史界の權威者

時代史
1 古代東方諸國史 石山乾二
2 ギリシャ史 村田數之亮
3 ローマ史 林武雄
4 中世史 平塚博
5 文藝復興時代史 大類伸
6 宗教改革時代史 高里良恭
7 十八世紀史 時野谷常三郎
8 十九世紀史(一) 佐藤堅司
9 十九世紀史(二) 內藤智秀
10 現代史 瀨川秀雄
11 史論解題 大類伸
12 西洋讀史地圖 瀨川秀雄 時野谷常三郎

特別史
13 近世外交史 齋藤清太郎 / 基督敎發展史 山中謙二 / 西洋社會史 今井登志喜
14 西洋音樂史 田邊尚雄 / 西洋建築史 岸田日出刀
15 西洋經濟史 黑正巖 / 歐洲政治制度史 [illegible]智雄
16 先史時代史 大野法瑞 / 西洋文學思想史 新關良三 / 近世史學史 千代田謙
17 東西兩洋交涉史 中山久四郎 / 近世思想史 淺野利三郎 / 「サラセン」の文化 岡島誠太郎
18 美術の發展(ルネサンスより近代に至る) 藤井謙三 / 西洋民族史 菅原憲

◎刊行期日 昭和五年六月一日第一號發行以後每月一冊十日發行全十八冊にて完了、豫約申込會員に限り頒布す
◎內容體裁 菊判一冊約三百卅頁內外、各科每號分載す
◆會費 申込金(貳圓)(最終會費に當つ) 每月拂(一冊壹圓六拾錢)(送料一冊六錢)
特典 此際早い申込者に限り圖書券進呈(申込金不要)

第一號愈出來配本開始す 即刻近所の書店に御申込下さい、大好評

(新築移轉) 東京麴町區飯田町六の二三 振替東京一六八五 電話九段二三一四番 雄山閣

實業之日本 六月一日號

◎自己一人の力を重んぜよ(實業之日本社々長 增田義一)
◎議論する者の二つの注意(新渡戶博士)
◎眞實は輝く(前鐘紡社長 武藤山治)

不景氣の將來と其の對策
不景氣の常識として必讀!(早大敎授 經濟學博士 服部文四郎)
◎不景氣知らずの生活法(三菱地所部長 赤星陸治)
◎失業對策としての耕地改良(麒麟麥酒重役 濱口擔)

近頃流行兒の財界世話業者
◎鄉誠之助男(芳水生)
・宿敵かなつて東京商工會議所會頭となつた彼の節制
事業界に腕手せる二大傑物
◎淺野と大川(瓊川生)
・この兩大關が力を合すとなると財界に何が起るか?
今太閤と呼ばれる大智惠者
◎小林一三氏(野方町人)
・本記事は彼の國際都でない東京進出のプロフィルだ

◎大勢て仕事をする注意(台灣製糖社長 武智直道)
◎世界的低金利時代の出現(住友銀行常務 岡橋林)

◎一圓七十錢の裏店から進出して 四十萬圓の五層建てに出る迄
◎東電改革に躍出した桃介君
◎面倒なる庄川問題(解說)
◎淋しい若尾とその一黨
◎養子組大當り物語
◎アマゾン實地踏査記
◎茶前茶後(奎城生)

◎財界人趣味各論
・岡本東京瓦斯副社長 ・兵頭安田銀行常務 ・武岡東邦電力常務
◎拔擢の新重役連
・日本電力深野邀一君 ・日本電力岸田幸雄君 ・扶桑海上小山九一君

◎聖雄ガンジーの面影(彼は如何に叫び如何に戰ふか)
世界金融資本王物語(英蘭銀行總裁ノルマン氏傳)
絕對失業のないフイリッピン島(太田興業社長の素敵な實話)
◎尖端商賣 麻雀クラブを開くには(女給も往來) ◎釣道樂を語る(生田定之)
◎ガソリン・ガール

一日の合理的生活法
無駄を省いて合理化へ!生活も赤からしませう(額田博士)
◎簡易なる深呼吸健康法(小田部博士)
◎水氣で體のむくむ病氣(樫田學士)

價三十錢 送料壹錢五厘 東京京橋西銀座 實業之日本社 振替東京參貳六番

資本金 壹億圓(全額拂込濟)
積立金 壹億壹千壹百五十萬圓
本店 橫濱市
支店出張所 (東京、東京丸ノ內出張所、名古屋、大阪、神戶、下ノ關、長崎、青島、濟南、天津、北京、漢口、上海、香港、廣東、牛莊、奉天、開原、長春、哈爾賓、浦鹽(一時閉鎖中)西貢、新嘉坡、蘭貢、カルカッタ、孟買、カラチ、マニラ、スウラバヤ、スマラン、バタビヤ、シドニー、倫敦、里昂、漢堡、アレキサンドリア、紐育、桑港、ロスアンゼルス、シヤートル、布哇、リオデジャネイロ、ブエノスアイレス)

橫濱正金銀行 大連支店

大連市大山通二番地
電話 (代表番號 三一六一番 爲替取扱所 四七六二番 宿直專用 六〇一五番)

良き品を安く賣る店 確實なる正札附 シシユウ表丁寧に仕立ます
町キワイ 電4917
三福屋履物店

工業大辭典

豫約募集

いかに工業大辭典は現代人に必須なるか!最近工業科學の驚嘆的進步を見よ!實に機械、工業は、產業合理化時代の基礎根軸である。工業的知識を缺いて何の現代人ぞや!本大辭典は全工業知識の大綜合網羅。堂々無比、眞にわが文化最高の誇りであり、現代人必備の大寶典である!即刻御申込あれ!

◆全十二卷◆一冊五圓

各部編輯擔任者

部門	擔任者
總括	工博 塚本靖
土木	工博 中山秀三郎
機械	工博 那波光雄
採冶	工博 竹村勘忢
建築	工博 宮崎虎一
船舶	工博 塚本靖
電氣	工博 岸田日出刀
造兵	工博 今岡純一郎
航空	工博 鯨井恒太郎
紡織	工博 青木保
應化	工博 栖原豊太郎
色染	工大 齋藤俊吉
漆工	帝大 渡邊周
工藝	工博 田中芳雄
史傳	工試長 野口寅之助
	美校 六角紫水
	高工藝 安田祿造
	工博 塚本靖

三百名家總執筆

本辭典の十大特色
一、全工業知識の最大集成。唯一の廣汎な工業全般の理論、技術、實際の一萬餘項目の綜合的大壯觀
二、最高權威の總執筆。現代の最高權威三百餘大家の總動員學的最高水準
三、統一編輯の精密。各部門相互連絡の理想的統一の科學的精確性
四、工業發達の大鳥瞰。工業發達の歷史的事實を明かにし改訂增補の完全な實現
五、理論と實際の統制。工業は常に實際を離れず、實際技術の全き敍述、特に近代諸工藝を詳述
六、全社會人の寶典。諸工業專門家、事業經營者、實際技術者、若き學生諸君、一般社會人の生ける知的大寶庫
七、空前の廉價。利益出版を全く離れ工業文化の畢世的貢獻時代の大衆的要求のための犧牲的奉仕
八、挿繪、寫眞、說明圖の完備は、各冊に充溢する千枚餘の挿圖、近代工藝進步の十全な實證!
九、裝幀、印刷の卓越。實用に至便、製本は强靱、外觀極めて豪麗、印刷は鮮明無比
十、現代文化最高の財產。正に現代科學の最大收穫。後代への一大遺產である!

◆ハガキ申越次第◆
內容見本進呈

空前の大廉價。好機逸す勿れ!

體裁 四六倍判、天金、背革金箔各冊五百廿餘頁挿繪各冊千枚以上、函入特製本
頒布方法 全十二冊、豫約會員にのみ頒ち絕對に分賣しません。
入會申込 申込金五圓(最終會費充當)
會費送料 每月拂金五圓送料三十六錢 二回拂第一回金三十圓送料二圓十六錢第二回金二十七圓送料二圓十六錢一時拂金五十五圓送料四圓三十二錢

實物出來
御申込は全國書店へ

發行所 東京市日本橋通三・旅陽堂內 振替東京一〇四七七 大日本百科大辭書刊行會
關東發賣元 春陽堂
關西發賣元 大阪市西區阿波堀通四 振替(大阪)四三 大阪 寶文館

商店界 六月號

商業界指導の權威

本號 金五十錢 送料二錢

本誌獨特の四大篇
創業を語る (五拾七圓の資本から成業 學生相手の賣店デパート 我が國最初の地下商店 苦の地獄から浮び上つて)
趣味の商賣 (乙な商賣 江戶趣味の店 運動商賣テニスコート業 二坪の店コクテールスタンド 新商賣 麻雀俱樂部)
新商略七種 (店主不在賣出し・世界一のインク・面白い統計廣告・吸取紙利用・名前進呈商略・店名懸賞商略)
御曹子物語 (百貨店御曹子の勤勞振 內藤長一君・松坂屋伊藤松之助君・大丸下村彥一郎君・西川謙二郎君)

商店入門研究講座
各講師の薀蓄を傾けた研究論文
商業書簡形式新論 倉本長治
暗示的販賣の成功實例 鈴木保輔
販賣調査運動の出發 岡田半蔵
誰れにも判る手形の話 內海源男

獨立資金貸與規定 店員資金申込方法
獨立して商賣をしたいが資金が不足だといふ店員諸君の申込みを歡迎します。

日記集
マネキン女給の店員氣分と招待の一頁

都市美と商店装飾 …… 編輯部
店員操縱法の百態 …… 清水正巳
すぐ役に立つ結論の付方 …… 辻眞
忘れられた商店の損失 …… 鈴木保輔
ソラス販賣術とは何にか …… 水田利夫
江戶ルネッサンスと町人 …… 竹內正男
ヘトウバお上さんのバンガロー …… 齋藤嶋郎
余が赤裸々の失敗告白 …… 高橋貞次郎
中小商工業金融問題 …… 細井眞一郎
公設小賣市場の動きを見る …… 服部勝三郎
我國にチエンの發達しないわけ …… 安達俊輔
ブレッシング店の開業手引 …… 石黑岩

商業雜誌界唯一の創案 誌上メンタルテスト懸賞
此の他商店界が多年自慢としてゐる商賣質疑ニユース等一讀千金

東京市神田區錦町一丁目十九番地 誠文堂商店界社 電話神田四七一・三二九六・振替東京六五六七

最新刊 商店界編輯長 倉本長治著
一日一話 小店員に聞せる話
定價金一圓五十錢 送料十八錢

本書は幹部店員諸君或は店主自からが小店員諸君に話して聞かせる商賣の常識を集めた便利な話例集がこれである。商店繁榮の爲め賣切れぬ內お求めあれ

中小商店の店主諸君
大商店の中堅店員
百貨店の各賣場主任
一般店員諸君必携

目次の一部
何故商賣をするか「二つの理由がある」…何故賣れるか「お客が買ふ動機」…稅金の話「營業收益稅」…色と模樣と商品「色が違つて見える」…中元の手當「食盛りにはどうするか」…九九九九「不思議な算盤」…良い陳列はどんなのが良いか「…升の搬掛「薄利は必ず報らる」…廣告費と賣上「廣告費が増せば賣上も増す」…人を集める工夫「陳列窓を見させる法」…專賣特許「發明品の法律上の保護」…新聞廣告「一番得であり一番損な廣告」…他數十項

第八版 加藤久雄著
新しい珠算
時代が要求する早く正確な珠算の學び方を問題を揭げて懇切に說いたものである
四六判總クロース上製 五百餘頁 函入美本 定價金一圓五十錢 送料金十八錢

陳列窓・看板・印刷・新聞・賣出に

廣告界

愈々發展の六月號封切
本號定價金八十五錢 送料二錢

夏の宣傳策戰會議 …… (諸家)
觀光客誘致策と廣告 …… (圖吉)
夏の小廣告物の作り方 …… (牧野)
中元賣出し新趣向 …… (宮田)
夏の映畫常設館の廣告方法 …… (飯島)
涼しい陳列窓の裝ひ方 …… (大西)
新聞小廣告の作り方 …… (長岡)

海外 商業美術と作品・廣告新種の紹介、珍らしい新しい寫眞滿載

中元賣出し 廣告戰術集
中元賣出しの宣傳と廣告用のチラシ圖案・ポスター陳列窓背景・案內狀・マッチペーパー・包紙看板・賣出塔・新聞廣告・實用カット集・其の他應用自在の圖案集
斷然新趣向の實用圖案滿載す

全國書店に販賣・品切の節は本社へ

東京神田區錦町・電話神田四七一・三二九六 振替口座東京六七三九番
誠文堂廣告界社

社說 時の合理化

五月も過ぎ六月に入つた。例のサムマアタイム、今年は問題にならぬやうであるが、日の永くなつたとは確實である。一方、いろいろな社會生活に、合理化の提唱せられつゝあるに、時刻の方の合理化が一向、徹底せぬは如何のものであるか。時間の勵行などといふことも、隨分、久しい間の問題であるが、大連には大連時間あり、旅順には旅順時間ありといふ風で時間の觀迎の深刻でないことも、今さらながら遺憾とせらるるところである。

時、これを哲學的に、やかましく論ずるときは、空間の問題と共に、なかなか厄介な命題である。過去、現在、未來といつたところで、一刻一刻と刻みつつ行く時刻は、一たび過ぎ去れば、永劫に還り來らぬものである。すべての問題は、過去から現在、現在から未來へと流るる時によつて解決されるといはれる。が併し、その時なるものは、未來永劫、われらの命題として課せられ、恐らく永遠に亙つて解決し能はぬものであらう。併しわれらは、今日、必ずしも哲學上の問題を論ずるのときではない。われらは日常の生活上、この時といふものを如何に取扱ふかを論ずれば足るのである。

人生、七十は古來稀れなりとせらるる。われらの壽命は、すこぶる短きものなることを知らねばならぬ。光陰は矢の如く、白駒の隙を過ぐるが如しといふてゐる。この人間生活において、如何に利用せんとするか。その一端は、すでにスピード時代の出現とさへなつてゐる。ただ併しながら、そのスピード時代なるものは、ただ客觀的なるモノの動きをのみ眺めたるときのことである。主觀的には、そこにスピード時代に順應しつゝありとも恩はれぬのである。すなはち時代は急スピードを以て走るけれども、われらは依然として遲々、時を合理的に利用するまでに至つて居らぬのである。サムマアタイムの利用の如き、いろ〳〵の支障の派生するとは、これを否まぬ。併しながら、夏の日の永きを喞つのみにして、更にこれを利用せんとせぬのは、抑も何の故ぞや。例の產業合理化の如きも、結局、當然に時の利用をも敢てせぬならば、決して完全といふことは出來ぬのである。

この時の問題と關聯して、われらは、日本商店の年中開店主義を何とかならぬものかと思はざるを得ない。日本の普通商店は年百年中、二六時中、不眠不休で開店してゐるのである。その勤勉ぶりには驚かざるを得ぬが、果して左樣の必要があるであらうか。この邊にも、產業合理化の精神が、相當に取り容れられて然るべしと思ふ。特殊な店舖以外は、朝の八時から午後は四時か五時、而して日曜は全休、その間に主として主婦が購買に出かける。それでも生活に必要なものは購入せねばならず、その間に、冗費を節約し。無駄を整理し以て顧客に對し格安のものを供給し得るといふ結果になるのではあるまいか。產業合理化の時代には、日本の普通商店と時間の問題といふやうなことも、大に研究すべき題目であらうと思ふ。

それから次に、小學校その他の夏季休暇である。この問題も時といふ問題を研究する一端として大に考察せられねばならぬ問題ではあるまいか。夏季長い日數を、學校の課程から離れるといふことは精神的に衛生的に、これ決して面白い現象といふことは出來ぬ。大に身心の休養を行ふことは惡いことではないが、併し、これ一年中に割り振り、なし崩しに行ふといふやうなことが有意義ではあるまいか。勿論、今日の學校では昔のやうに、夏休みだからとて全く休みといふのでなく、その間に、色々の工夫もあるやうであるが、併し、夏季休暇として三十日とか、五十日とかを休む代りに、何とか他に、より以上の有意義なる時間の利用方法といふものがないであらうか。

要するに、この時間といふ問題一ッを合理化さして行きさへすれば、人間社會のあらゆる方面に合理化を實現し行くことが、極めて容易であらうと思ふのである。豈ひとりサムマアタイムの採否如何のみの問題ではないのである。

北軍こゝ數日中に濟南攻略の作戰
西北軍目下主力を德州に集中
山西軍と協力總攻擊

【天津特電一日發】韓復榘氏は全力を擧げて濟南を固守してゐるが山西軍(李生達軍の一部)が便衣隊を先鋒として靑城から

周村に迫 りつゝありとの報を得てから泰安の馬鴻逵軍は急遽同方面に增援しつゝある、韓軍の約五ケ旅は黃河を渡りて北進し禹城に包圍せられてゐる友軍を救はんとしてゐるが、山西軍の傅作義、李生達兩軍は主力を擧げてこれを擊破せんとて遂に晏城、齊河一帶で衝突した、目下引つゞき對峙してゐるが、閻錫山氏は隴海線方面からの徐州攻略は時日を要すると見て先づ濟南を占領し津浦線から

大擧南下 する方を有利とし平漢線上に在つた王靖國、李服膺、馮鵬翥三軍を鐵道乃至自動車にて徐州に集中しつゝある右部隊は兩三日內に集結を終了するが同時に濟南へ向けて總攻擊令が發せられるであらう、閻氏は石家莊、德州間を絕えず往復して自ら全軍を指揮してゐる、津浦線上の山西軍は斯くて五ケ軍團約八萬と稱せられ濟南陷落は數日のうちであらうと觀測さるゝに至つた

奉天派の和平通電
北軍濟南占領後發出か

【北平一日發電】張學良氏の發すべき和平通電は時局解決の辦法として

一、國民會議召集
二、憲法制定
三、一黨專制反對

の三點を支持し直ちに停戰して和平會議を開催すべしといふにあり略山西軍の濟南占領を機會に發出さるべく時局はこれが爲め急轉直下解決すべしと觀られる

民主集權の合法的政府樹立
汪精衛氏は戰爭後に北上
曹霄青氏天津で語る

【天津特電一日發】最近香港に赴き汪精衛氏と會見し北方における今後の黨につき種々指令をうけて歸津した同派要人曹霄青氏は語る

現在の黨の問題は第一期委員は既に過去のものとなり第三期は蔣介石氏討伐の見地から根本上承認することが出來ないので最も適當と認むべきは

第二期の 委員がリーダーとなつて黨內の同志を集合し蔣介石討伐に參加し軍事の終結後右第二期委員から全國代表大會及び國民會議を召集しこの兩會議にて新しい中央黨部を產出せしめ更に國事解決法を定めて合法政府を組織するといふのが汪精衛氏の黨に對する意見である北方政府問題は、對內對外的に國家の行政を支配する必要上その組織は急務であるが誰だ目前は臨時政府を組織して政務を進行せしめ更に將來國民會議より合法的

民主集權 の政府を產出せば可なりである、又汪精衛氏の黨義に關する意見は必ずしも蔣介石氏等と異り「政治人員は必ずしも黨員を限定せず國內の賢豪を網羅するを要す、所謂「以黨治國」は黨綱であり「黨義治國」は黨員の治國を意味するものでないからである又黨權は一切よりも高しと言ふのは黨の權力が一切の上に在ることを指示し黨員の地位が一切の上に在ると言ふのでない、故に黨員は黨務に努力し政治に參加して

蔣介石氏 の覆轍を踏まざることを望んでゐる」と主張してゐる而して汪氏は軍事終結後北上することに決定した

北軍は一兩日中濟南入りか
既に章邱に到着す

【北平特電三十一日發】本日北平一某機關に達した確報によれば隴海線は歸德で南北對峙し戰ひ進まず平漢線も同樣、山東は李生達軍靑城より章邱に到着し一兩日中に濟南入りとなるべく、湖南方面は張發奎軍湘潭に近づきつゝあり、今や山東と武漢が戰鬪の中心地となつた

高松宮 ネープルスに御上陸

【ネープルス卅一日發電】高松宮同妃兩殿下には三十一日午前九時ネープルス御上陸國立公園湖、ベスビオスザンを御見物遊ばされ吉澤代理大使の午餐會に御臨ませられ次いで大水族館、コロッシウム溫泉を御巡覽遊ばされ日本領事事務取扱エミリオカポマッザ公の御茶の會に御臨席遊ばされ午後五時四十五分御歸船あらせられ同六時三十分マルセイユに向け御發港遊ばされた

露支交涉は早くも暗礁に乘り揚ぐ
東鐵三理事急遽赴奉

【奉天特電一日發】早くも暗礁に乘り上げたモスクワの露支會議の打開策を東北省幹部と協議するため東鐵理事沈瑞麟、郭福綿、ダニエルスキー三氏は一日十三時三十分着列車で來奉した

露亞銀行支店閉鎖

【ハルビン卅一日發電】東支鐵道に投資者として密接の關係を有してゐたフランス系露亞銀行ハルビン支店は范精算委員長の奉天引揚により昨日限り遂に閉店し業務一切は東北經濟政務員會の手にて整理されることに決定した

中露戰行賞

【吉林一日發電】吉林陸軍訓練處督辦張作相氏は昨年中露時局における論功行賞を國民政府に申請することに決し、電報を以て訓練處直屬の各旅、團、營部宛至急に出征將卒の功績調査の上報告方命令を發した

不景氣打開 政友會演說會

【東京一日發電】政友會では不景氣の深刻化、失業者激增の世相に鑑み來る五日本所深川を振り出しに前閣僚幹部總出で不景氣打開の大演說會を開き更に全國的に大遊說を試みる事となつた

江木鐵相歸京

【東京一日發電】濱松鐵道工場に聖上陛下の御巡幸を奉迎申し上げた江木鐵相は一日午後八時歸京した

東京市第二助役

【東京一日發電】東京市第二助役として秋田縣知事菊池慎三氏が決定した

我軍部の態度は憲政の發達阻害
與黨第一線同盟決議

【東京一日發電】民政黨少壯急進議員並びに院外有力者より成る第一線同盟は三十一日午後三會堂に總會を開き

一、軍部の態度は憲法政治の發達を阻害し國防に關する國民的意識を無視するものなり
一、軍縮剩餘金は國民負擔の輕減に充つ

等の決議をなし實行委員は財部海相、加藤軍令部長を官邸に訪問しその旨を傳へたが十日夜靑山に演說會を開く豫定である

不景氣失業對策
民政黨積極的に努力

【東京一日發電】民政黨では統帥權問題も大體一段落を告げ、傳へらるゝ如き財部海相の進退問題にまで進展すべしと言ふ如き罪なる臆測に過ぎず樞府も結局通過すべくこれを以て政局に波動を及ぼす如きは到底あり得ないと樂觀的態度を採つて居る而して同黨としては斯かる形式上の問題より國民の實生活に關する不景氣ならびに失業對策等の問題が重要性を帶びるものとなしこの爲め國產振興に努め不景氣打開失業救濟の實を擧げる一方又軍縮剩餘金等を以て消費稅の廢減を首め各種減稅に充て國民負擔の輕減を圖るに努力する決心を有して居る殊に不景氣失業對策として黨內にはこの際地方起債を緩和し各種土木事業を起すが妥當であるこれは國產獎勵にも反せぬからこの政策への轉換が必要なりとの論が起つて居る從つて豫算編成期に入らば與黨側より相當本問題も具體化されるであらう

神田民政署長は近く內地知事に
近く地方官異動の際

【東京一日發電】大連民政署長神田純一氏は嚢に關東廳內務局長の職より現地位に轉任の交渉を受けた時近き將來內地の地方長官更迭の機會を見て內地の知事に榮轉せしむるといふ條件附で轉任を受諾したものであるので今回東京市助役を地方長官より選任する結果長官中に缺員を生じこれが補充のため地方長官更迭の行はるゝ時は神田署長も內地に榮轉するものと觀られる

關東廳は否定

神田大連民政署長の內地知事榮轉說に關し關東廳の某高官は左の如く語つた

全然誤聞です豫て太田長官も同氏の內地轉動は考慮の意嚮はあるやうにも聞いてはゐたが、民政署長就任まだ日が淺い、昨今左樣なことは萬々無いものと信ずる

日本商人の缺點
歐亞聯絡列車から・
不況時代の賣り崩し
早川東京相互貿易專務談

卅日の歐亞連絡列車で米國に一ヶ年間留學し近代建築術を研究した技師菊地芳氏と國產獎勵のトップを切り西歐各國に日本品の販路を開拓し各種の商談を遂げた東京相互貿易專務早川淸氏が着哈した

二月シベリー經由で獨、佛、伊、英、チエックスラバック等を一巡し鐵中電燈、陶磁器、漆器、玩具等の取引を契約して來たが、歐洲各國の商品に比し

日本品は 安いので競爭ができる自信をもつた、唯問題となる强敵はチエックで同國は日本品と同樣廉安な品物が製產され、陶磁器の如きは日本が大量製產により値段競爭をせねば勝算は六ケしい、然し各國とも非常に東洋趣味が盛んで東洋式デザインを嗜好する傾向にあるからこの點が勝味であるが、粗製品は成るだけ一掃するに努めねばならぬ、豆ランプの如きはドイツのオスラム電球會社で出來るが値段が高いので別に恐れるに足らぬ、處で各地到る處で聞かされたのは「日本品は危險で取引ができない、それは常に日本物は相場の變動が激しく少しく大量の注文を發すると二、三割高くなり、これに反して市場が寂れると採算を割つてゞも

賣り崩す 商習慣があるので困る」といつてゐた、この點になるとドイツは如何なる場合にも市價を崩すことなく常に市場を圓滑に保つてゐるので結局ドイツ品を扱つた方が値下による危險率を負擔しなくつてもよいといふことになるから、日本の政府當局においても輸出貿易を獎勵するならば斯うした實際について何等かの方法を講じて欲しいと思つた取引の決濟は殆ど六十日乃至九十日であるが、最近破產成金があるので相當警戒せねばならぬ、これは狡猾なユダヤ商人に多く彼等は景氣のよい時は充分利益を得、今日の如く不況が來ると品物は處分し賣揚げた金はうまく何處へか隱匿し「これより資金はないから」と債權者を召集して

自ら破產 の請求を廣告し「若し月賦償還で半年間に半額で許して與るならば何とかして支拂ふ」と態のよい詐欺を働くものが增加して來た、之も不景氣の反映であらうが、英國商人間にはさうした惡い者がゐないのは流石に歷史ある國である、實際ユダヤ商人の惡者にかゝつたら信用も糞もあるのだから困る、今日の狀勢から觀ると歐洲諸國間に東洋趣味の昂りつゝあるのでフランスパリーあたりで立派に日本品を紹介する店舖を開いても相當取引はあると思つた

歐米到る處に日本料理がある
建築技師菊地芳氏談

米國では主として建築構圖、様式材料その他を視察して來たが、ルネーサンスの如きデコレーションの多いものは無く

明るみの ある所謂米國式建築物でニユヨーク市は全部ファンデーションが精巧だと聞いたので調べてみたが、さうでもない所もある、摩天樓の俗名ある八十五階の建築物について研究して來たが、地價が高くなれば自然と立體化するものである、これからの盛な都市は平面的で無く立體化するものであらう、英、佛、伊その他は米國とやゝ異つた點がある專門的方面の問題は第二として日本人は世界いづれに行くも

日本飯を 食ふことのできる程度にまで進んでゐるのだから異樣な建築物をみるよりはその方が脅威であらう、米國の日本式レストランは一食一圓五十錢程度で禁酒國の米國でも日本酒は飲める尤も一合が一弗はする多くの客人は七割まで米國人で「日本スキ燒き」の嗜好者は多い、中には東洋通を發揮して刺身を食ふハイカラもゐる、英國にも同樣日本式レストランはあるが中心は日本人向で英人は行かない、酒は四シリングで禁酒國の米國と値段は變らない

月桂冠だ といつてゐたがさて眞物かどうか判らない、その他佛、獨、伊にも日本人の經營するレストランはあり日本食には不自由をしない、日本食も世界的となつた譯である(ハルビン特信)

不安去らぬ間島
共產黨暴動の陰謀なほ伏在し
官民は徹宵で大警戒

【間島特電一日發】間島各地における鮮人共產黨員の暴動事件はその組織立つた巧妙なる遣り口にて舊臘又は北滿から軍事智識のあるリーダーが入り込み各地の靑年學生を指揮したものと觀られてをり且つ引續き暴動の大陰謀が伏在してゐる見込みの下に支那軍隊及び日支官憲は每夜八時以降の交通を禁止して極力警戒に當り龍井市內の如き發電所を破壞されたゝめ古い機械を用ゐて僅かに送電する光力微弱なる電燈が宵の口から戶締嚴重なる市街を薄く照して凄慘極まる光景の中に學校その他官民各機關は徹宵警戒し市民は安き夢もなく不安に戰いてゐる、又國境圖們江上三峰國際鐵橋は我國境守備隊が機關銃を以て萬一に備へてゐるなど各方面とも警戒嚴重を極めてゐるが我居留民は今回の事件に鑑み全間島にて約四百名の警官では到底治安の維持は困難とし過日居留民大會を開催して政府に打電懇請した警察官の大增員を望む聲愈々高まり居留民會はこれに關する協議を重ねてゐる

最近の上海
戰爭よりも銀安で大打擊
大淵上海事務所長談

滿鐵上海事務所次長大淵三樹氏は一日午後一時半入港の榊丸にて來連したが、南北戰爭勃發で騷がしい最近の上海の狀勢を語る

支那の戰爭もどうも滿洲邊では北方の肩を持つた通信が多いやうに思ふ、上海では戰爭だからといつて人心が騷ぎ立つてゐるといふわけでなく、經濟界でも戰爭は目下の銀の暴落が重大な問題だ、これでは華商側は非常な打擊を受けてゐるし國民政府の對策も全く失敗に終つてゐるとにかく上海の人口だつてどれ位かはつきりは判らず三百萬位といはれてゐるが先般佛租界で人口調査をした時、四十三萬あつて其內、外人は一萬二千餘名でロシア人が一番多く四十三ケ國の國民が含まれてゐるのだが多角的な國際都市だ、人口は今後益々增加するし英米の資本家はどし〳〵投資してゐる

軍司令官後任は菱刈大將に決定
きのふ內命を發す

【東京一日發電】關東軍司令官は左の通り決定、一日午後五時沼津において內奏の上內命を發した

臺灣軍司令官陸軍大將從三位勳一等功五級 菱刈隆
免本職、補關東軍司令官

尙臺灣軍司令官後任には渡邊錠太郞中將が親補される筈

軍司令官後任あす發表

【東京一日發電】薨去した畑軍司令官の後任は一日夜若しくは二日朝陸軍省より正式に後任を奏請御裁可あり次第多分三日附を以て發表されると

水難救濟會總會

【東京一日發電】帝國水難救濟會では一日午前十時から國技館にて第三十八回通常總會を開會し午前十一時盛會裡に散會したが總裁伏見大將宮殿下には親く台臨遊ばされ優渥なる令旨を賜つた

間島の大馬賊團都市襲擊を企つ
生活費に窮した結果

【間島特電一日發】間島に接續する安圖、樺甸兩縣では從來阿片の原料である罌粟の栽培を公許してゐたので一般にこれを耕作し殊に馬賊團は之を以て重要なる資源としてゐたところ本年に至つて兩縣の軍隊は奉天張總司令の命令により罌粟栽培を嚴禁すると共にすでに播種された田畑を蹂躙するほか小屋及び貯藏の食糧まで燒拂つたので栽培從業者は忽ち生活に窮した處から馬賊團に投じ馬賊團また資源を失つたので愈々兇暴となり俄に增大した部隊を維持すべく掠奪に躍起となつてゐる模樣で從來彼らが官兵の討伐を[illegible]すべく呼號した都市襲擊もこの向では實際に決行するに至るべく見られるので縣界を警備する間島の支那軍警は極力警戒中である

日魯漁業無配當

【東京一日發電】日魯漁業は三十一日今期決算締切を爲し將來に備へる爲め無配當に決した

東鐵の純益 二千五百萬金留

【ハルビン特電一日發】東鐵の一九二九年における總收入豫定額によると六千七百六十三萬五千五百〇四金留で其間の豫定決定支出は四千二百五十萬八千五百三十五金留で差引二千五百十二萬六千九百六十九金留であると

米大使後任

【ワシントン卅一日發電】駐日米大使カッスル氏の後任はヘンリーフレッチャー氏呼び聲高く外にホーンベック、フオーベス、ストローンの諸氏が噂にのぼつて居る

鹽田博士來連

曩て高松宮殿下の盲腸炎を御手術申上げた我國刀圭界の權威、東京帝大醫學部教授鹽田廣重博士は紀久代夫人同伴一日午前十一時入港の濟通丸にて來連した、氏は先月二十四、五兩日同撫順にて開かれた滿洲醫學會に招かれ講演したが北平を廻り支那各地を見物して來連したものである、因みに氏は四日出帆のうらる丸で歸京の筈

人事

▲オーリッチ氏(滿鐵駐在獨逸領事)北平より歸途、一日午後一時入港の榊丸にて寄連
▲大淵三樹氏(上海事務所長) 同上來連

[illegible]

畑軍司令官の薨去につき太田長官曰く「全く夢の樣である、畑君と私とは不思議な程緣故が深く初めて相知つたのは明治四十二三年頃私が英國に行つた時は畑君が加藤(高明)大使、山座參事官の時の大使館に少佐のアッタッセーとして在任され色々私の視察の便宜を圖つて吳れた▲畑君は會津生れ私は庄內生れと云ふ鄕里も相隣りの關係も密接だつた事や、其頃から畑君も酒の强かつた事等から一見舊知の如く、互に肝膽相照らした次第であつた▲其後お互に仕事の違ふ關係から暫く逢へなかつたが、私が熊本縣知事の時に畑君は久留米の聯隊長で、熊本の壯丁の一半が久留米聯隊に入つた關係から色々交涉を持つ樣になつた、更に加藤(高明)內閣の際には私は警視總監で畑君は宇垣陸相の下に次官だつた關係から常に公私共に密接な間柄であつたが昨年又相前後して關東州に來任したなど、奇緣は最後迄盡きなかつた▲軍司令官及關東長官としての兩者の關係は、かくて頗る圓滿緊密なるを得、動もすれば在滿三頭政治とか四頭政治とか云はれるに拘はらず私と畑君との間は最も完全に融和聯絡が出來たのである、然るに今此人を失つた事は痛惜の至りである、私の見た畑君は極めて思想堅實、然諾を重んずる人格者で宇垣陸相の片腕として陸軍部內に重きを爲し部內稀に見る偉材であつたが任地に病を得て遂に起つ能はざりしは國家の大損失と云はねばならぬ

大連市公報を添ふ

陸軍大將從三位勳一等功五級 畑英太郞儀病氣の處養生不相叶五月三十一日午後十一時廿五分薨去候間此段謹告仕候
追而來六月四日午後四時より五時に至る間旅順偕行社に於て神式により告別式相營可申尙午勝手本廣告を以て御通知に代へ申候
昭和五年六月一日
嗣子 畑英一
親戚總代 畑俊六 岩崎又藏 宇垣一成 鈴木莊六
友人總代 太田正弘 仙石貢 林久治郎

關東軍司令官陸軍大將從三位勳一等功五級 畑英太郞閣下御病氣の處養生不相叶五月三十一日午後十時二十五分薨去被遊候間此段謹告仕候
追而來六月四日午後四時より五時に至る間旅順偕行社に於て神式により告別式御執行相成候
昭和五年六月一日
關東軍司令部 高等官一同

長女富美子儀豫て病氣のところ養生不相叶六月一日午後六時二十分死去致候間此段謹告仕候
追て來る六月三日午後五時旅順西本願寺に於て葬儀相營申べく候
昭和五年六月一日
旅順市八島町廿五番地
父 矢幡謙治
親戚總代 金田純一 正木範二 木村一惠 今村春逸
友人總代 能田清太郎 田中德三郎 橋本新平

五月晴に惠まれて各選手必死の妙技

優勝手に輝やく榮譽のカップ

大連市民運動會盛況裡に了る

大連市主催本社後援の第四回大連市民運動會は午後に入るや益々盛況となり、加ふるに氣遣はれた空は全く滿洲晴れに晴れ渡りスタンドは文字通りすし詰となつた、競技の他に午後二時二十分から青訓生が壯烈な戰闘演習と整然たる分列式を行ひ、三時四十分からは聖德小學の女生徒が胡蝶のやうな體操を演じ何れも滿場の拍手を浴びる、かくて五時半から呼物のリレーレースが割れるがやうな應援裡に開始されたが別記の如く各チームの優勝となり、六時二十分五千米突の志水(滿鐵總裁盃)千米突メドレーの育成(市長盃)千六百リ米突レーの國際運輸(市長盃)四百米突リレーの大連工場へ滿日盃)に夫々優勝カップが授けられ、永井副會長の閉會の辭あり、大會の萬歲を三唱して盛會裡に同六時三十分散會した

トラックの部

四百米競走(高小一男)一着鹽田滿男(一分八秒七)二着豐高知明、三着西尾勝

同(高小男二)一着吉野寅(一分六秒九)二着佐々木政夫、三着松尾經智郎

同(學生)▲一着松岡信夫(一分五秒九)二着豐田勳、三着張澤民▲一着劉春良(五八秒九)二着上野泉、三着杉村幾造▲一着渡邊大(五七秒八)二着永坂芳夫、三着上野眞德▲一着永野武巖(五八秒六)二着山根啓作、三着澤堀政敏▲一着石田直政(五五秒五)二着岡見惠介、三着伊藤正明

同(工專)一着川口與四郎(五七秒四)二着松浦滋雄、三着鶴野虎太郎

同(一般十七歲以下)▲一着吉野加生(一分五秒)二着秋房石五郎、三着眞野勇三▲一着杉山武夫(一分〇秒六)二着宮田勇三、三等鶴田滿洲男

同(一般三十六歲以上)一着細野俊郎(一分一秒四)二着笹岡童龍、三着奈良裕允

同(一般二十六歲以下卅四歲)▲一着村山俊夫(一分〇秒七)二着野々村剛、三着木村秀四郎▲一着柳田桃太郎(五七秒四)二着尚爲愛二、三着中西秀三郎▲一着本田繁喜(五六秒七)二着並川友吉、三着高柳若雄

同(十八歲以上二十五歲)▲一着太田光男(五五秒六)二着尾田文雄、三着大波出五郎▲一着田中健一(一分二秒六)二着小林精一、三着佐々野利平▲一着眞野守時(五八秒四)二着加藤慶五、三着長沼貞雄▲一着出代正利(五七秒)二着永江規、三着關根岩雄

重荷競走(一般十七歲以下)一等安部貢、二等松島利作、三等圓能寺勝彌

同(一般十八歲以上卅五歲)一等荒川清光、二等石本茂、三等永江規

同(一般二十六歲以上卅五歲)一等坂上寛治、二等稻垣讓、三等伊藤信一

同(一般二十六歲以上)一等金井山一郎、二等小島吉一、三等福田兵一▲一等岩崎盛夫、二等村上甚兵衛、三等福田兵一

四百米リレー豫選(A組)一着遞信クラブ(四七秒一)二着片倉、櫻井、荒川、入江)二着滿電

同(B組)一着大連工場(四六秒八、大久保、益田、常盤、渡邊)二着滿鐵商工課

同(C組)一着埠頭かもめ會(四九秒、永澤、井上、橫尾、新木)二着消費組合B

スプンレース(一般十八歲以上二十五歲)▲一着隈元勝二着小林精一、三着佐賀山實▲一着木村直夫、二着井上滿生

同(二十六歲以上三十五歲)▲一着沿田次郎、二着岡松三郎、三着荻原三平▲一着待野一勇、二着福田雅晴、三着佐藤▲一着中島國雄、二着山本嘉一、三着笠原博

同(三十六歲以上)▲一着前川欣也、二着竹內榮太郎、三着藤井玄逸▲一着伊藤豐政、二着岡田、三着竹本

千五百米競走(學生)▲一着奧井正三(四分五五秒七)二着永野卓三、三着高須四郎▲一着深町秀雄(四分四八秒)二着竹園正續、三着野崎賢治

同(工專)一着佐野貞義(五分六秒)二着笠原七郎

同(一般十七歲以下)一着鶴田滿洲男(四分五八〇三)二着吉野加生、三着秋房百之助

同(一般十八歲以上二十五歲)▲一着荻原貞雄(四分五二秒四)二着大塚久雄、三着村野保▲一着志水政市(四分五八秒)二着曾田堯、三着岡田正一▲一着松本文太郎(四分五六秒八)二着木村直夫、三着石井千尋

同(二十六歲以上三十五歲)一着解良武夫(五分六秒三)二着笹島元吉、三着太田虎雄▲一着渡邊喜一(五分二七秒四)二着前田仁作、三着合六定

同(一般三十六歲以上)一着菅澤平太郎(五分三〇秒)二着瀨梅太

來賓スプンレース一等笠原、二等鵜川、三等江上▲一等西川、二等松田

二百米競走(尋五男)▲一着橫田優(三一秒六)二着小林廣四、三着木下實▲一着久保田正登(三〇秒五)二着山口幸雄、三着岡田光夫▲一着湊軒一(三〇秒六)二着中村晶見、三着奧野敞一

同(尋六男)一着坂本恭穗(三〇秒三)二着山浦亮一、三着坂川晃▲一着川上久芳(二九秒九)二着池田大作、三着三浦完▲一着中村直士(二九秒八)二着池田融、三着馬場勝男

同(高小二男)一着宮崎惣一郎(二七秒八)二着西山要一、三着島田兼吉

同(高小一男)一着山口登(二九秒五)二着林正清、三着草野俊夫

同(學生)▲一着グリゴーリー(二七秒五)二着山下政義、三着山本博▲一着松岡信夫(二六秒七)二着羽入田輝茂、三着永野慶馬▲一着福田耕作(二六秒三)二着冨田龍夫、三着上野泉▲一着石見典一、三着李書常(二六秒五)二着綠川正夫▲一着山崎長三郎(二五秒八)二着鈴木輝雄、三着伊藤正明▲一着深川喜滿太(二五秒六)二着遠藤昌俊、三着井上吉朗▲一着加藤鎮平(二五秒四)二着緒方俊雄、三着岩館正一

同(工專)一着赤城明(一四秒五)二着坂田恒夫、三着兒島哲夫

二百米競走(一般十七歲以下)▲一着佐藤茂(二七秒一)二着廣松米夫、三着深川勘藏▲一着杉山武夫(二六秒一)二着宮田雄造、三着溝上穆

同(一般十八歲以上二十五歲)▲一着岩井馨(二五秒一)二着橫尾新六、三着時任重▲一着尾田文雄(二四秒一)二着中島弘、三着山崎高司▲一着入江猛(二四秒三)二着鈴木敬三、三着小林精一▲一着鈴木忠夫(二四秒七)二着國東正路、三着眞野守時▲一着荒川清元(二五秒八)二着有門昌利、三着田代正利▲一着森木

同(一般廿六歲以上卅五歲)一着櫻井元男、三着御久雄▲一着杉崎武大(二五秒)二着新木新六、三着浦川秋吉

同(一般卅六歲以上卅五歲)一着二神武(二五秒五)二着衣笠正三、三着小島吉一▲一着川野二一(二五秒八)二着村山俊夫、三着豐島平▲一着本田繁喜(二四秒)二着頭猛、三着高柳若雄▲一着佐藤愼一郎(二四秒九)二着若本薰、三着上野五郎

同(一般三十五歲以上)一着細野俊郎(二六秒)二着粲村善三郎、三着川岸數太郎

二人三脚(一般)▲一着(樋口、圓能寺)二着(木原、平見)三着(辻、吉岡)▲一着(森高、高木)二着(吉田、今泉)三着(大藤、西本)▲一着(川端、酒井)二着(井上、橫井)三着(星野、井出口)▲一着(東鄉、恩田)二着(稻垣、中村)三着(山田、小野)▲一着(吉澤、小塚)二着(島田、町野)三着(有馬、柳澤)

役員リレー四百米(A組)一着桃組(東鄉、福田、恩田、越智)二着褐組(長濱、高橋、三國、小林)三着黑組(B組)一着紫組(今尾、三藤、吉田、富吉)二着黃組、三着綠組

千米メドレーリレー一着育成學校(島田、中原、山崎、多田)(二分六秒)二着大連商業(井上、加藤、長尾、石田)三着大連二中

千六百米リレー一着國際チーム(內田、石川、新城、柳田)(三分四八秒五)二着遞信クラブ(高柳、並川、中西、二宮)三着福昌華工(石光、松尾、中島、中西)

四百米リレー一着大連工場(四六秒九)(渡邊、常盤、益田、大久保)二着遞信クラブ(櫻井、荒川、外山、入江)三着滿鐵商工課(上野、榊、森高、高木)

聖上、濱名湖でふか漁を天覽

昨夜は沼津御用邸に御駐泊

【濱松一日發電】濱松行在所に御二泊あらせられたる天皇陛下には一日午前八時同所御出門八時二十五分濱松驛御發車濱名湖上を發動機船警丸に召させられ舞阪町の養鰻場に成らせられた、初夏の湖上は風爽かに陛下には御機嫌殊の外麗しく拜された、それより陛下には午前九時四十分辨天島驛より鷲津驛に御到着假棧橋より眞砂丸に乘御湖上にて三百餘名の漁夫が御召船近く鱶のカクメ網を打ち下す樣を御覽あらせられ對岸佐久米棧橋に着御自動車にて官幣中社井伊谷神社に御參拜あらせられた、斯くて陛下には濱松市中心の御日程を全部御終了あらせられたので午後零時二十分行在所に還御々晝餐の上午後一時三十五分濱松御發沼津に向はせられた午後四時沼津驛着御、一旦御用邸に入御午後四時四十分御出門沼津第四小學校同齒市場に御巡幸遊ばされ同夜は沼津御用邸に御駐泊あらせらる

フイールドの部

走高跳(學生)▲一等高見黎治(一米六〇)二等松尾軒夫(一米五五)▲一等湊川捨三(一米七〇A)二等白井喜正(一米六五)三等砥川一郎(一米六〇)

同(工專)一等大崎安二(一米七〇)二等久恒木聽(一米六〇)

同(一般十八歲以上二十五歲)▲一等菱川弘(一米五五A)二等山川榮一(一米五五)三等椒田績、野本政行▲一等尾田文雄(一米六〇)二等西本幹郎(一米五五)三等櫻井外海、川野二一

同(一般二十六歲以上三十五歲)一等本鄉重章(一米六〇)二等高磯巖二(一米五五)三等坂口敏郎(一米三五)

同(一般三十五歲以上)▲一等田村稻美(一米五〇)二等有馬繁(一米三五)

故畑大將への弔電八百有餘通

一日夜迄に到着の分

故畑大將に對する弔電は其後引續いて來着しつゝあるが一日夜までの分の主なるもの左の如し

久邇宮殿下、賀陽宮、奧、上原兩元帥、鈴木孝雄大將、朝鮮、臺灣兩軍司令官、武藤大將、各師團、鈴木莊六大將、奈良侍從武官長、菅野、內山、井上、本鄉、河合、白川、町田各大將、江木鐵相、齋藤朝鮮總督、兒玉政務總監、溝口政務次官、木下謙次郎、林權助、財部海相、加藤軍令部長、谷口海軍大將、大角橫須賀司令長官、新城帝大總傳長、孫芳其他八百餘通

花輪の取扱

畑大將の薨去に對しては目下內地その他各方面より續々として香奠造花等が贈られつゝあるが、軍司令部ではその統一を圖る爲め爾後の花環贈呈者は豫じめその旨を申込まるれば軍司令部で世話すると

拳闘を國際競技

不適當といふ謬見

日本拳闘聯盟が聲明

【東京一日發電】フイリツピン拳闘チームコーチの聲明に對し全日本アマチユアー拳闘聯盟は卅一日夜左の如き聲明書を發した

今回の拳闘競技につき期日打合せ不充分等のため比島軍の棄權を見たるは遺憾である、極東大會に拳闘の參加を見たるは今回を以て嚆矢とする、吾人は今後漸次の大會に鑑み最善の努力を拂ひ拳闘は闘爭性を挑發するを以て國際競技に不適當なりとの彼の謬見を根本的に排除せんと欲す

【寫眞說明】(上)市民運動會、聖德小學校の旗體操(中)來賓スプーンレース(下)小學生の二百米競走

國旗染拔の提灯寄贈

各國選手に對し

【東京一日發電】中華、比島、印度の各國選手に初めてお宿をした日本青年館では愈々お別れとなつたので館員達は何等か好意の印を贈らうと智慧を絞つた揚句、館の入口に揭げてあつた三國の國旗をそれぞれ國旗染め拔いた大提灯をそれぞれの國の選手に贈つたので選手連も非常な喜びである、殊る日章旗の大提灯は赤丸の中に「勇士トリビオに贈る」と認め館員の某がトリビオの似顏を墨繪で書き上げ館員が署名を連ねたのを添へて贈つたので跳躍王トリビオ君も國への絕好のお土產だと喜んでゐた

飯食はして吳れ

自由勞働者約三百名

三越本店に押かく

【東京一日發電】一日午前九時頃日本橋の三越に約三百名の自由勞働者が口々に「飯を喰はして吳れ」と叫び乍ら押し寄せ食堂に殺到せんとしたので店員は總出でこれを堰止め一方その筋に急報したので堀留署より佐々木署長が警官三十餘名を引率急遽駈つけ漸くおつ拂つたがこれは去る廿七日市內各所に「勞働者よ六月一日を期し三越に集まれ三十錢の食事と土產を先着順五百名に進呈する」とのビラを貼つたものあり犯人嚴探の結果平野松造(三)なるものゝ行爲なる事判明直ちに取押へられたが失業苦時代に笑へぬ喜劇の一場面であつた

婦人方へ注意

產婦人科の細野博士、その他眼科、內科、齒科、精神病科、耳鼻咽喉科の專門五博士が、婦人衞生についての懇切な注意を色々婦人俱樂部六月號で指導され大評判!

屋根瓦は落下し壁には龜裂

水戶地方は稀な强震

【水戶一日發電】一日午前二時五十八分卅二秒水戶地方稀な强震あり市民は何れも戶外に飛出し時計の振子は止まり棚のものは落ち器物の水はあふれ處によつては瓦の落下するもの戶障子の倒れるもの壁に龜裂を生じたもの少からず人心洶々として居たが人畜には被害は無い水戶測候所は左の如く發表したが同所開設以來の强震であると

一日午前二時五十八分卅二秒强震を感得す振動强震の强性質急震源地は水戶附近らしい器物の液體溢出、時計止り棚のもの落ち戶障子、安定の充分のもの倒れ又屋根瓦落ちしものある程度にて大した被害なき見込み震幅は八十二ミリ五であると

關東地方の强震程度

【東京一日發電】一日早曉三時頃東京地方に强震あり市民は何れも寢衣のまゝ戶外に飛び出し一時は戰々兢々としたが約十分位で漸く鎭靜した、中央氣象臺は一日午前五時半左の如く發表した

發震時一日午前二時五十八分四十秒、初期微動十一秒最大震幅十二粍震動强震(弱き方)性質稍急、震動時間約二十分震央茨木縣涸沼川上流域

各地の被害

震源地方の狀況左の如し

土浦 午前三時頃强震あり二行地附近は地面に龜裂を生じ水が湧出するの珍現象を呈し瓦斯埋沒管に故障を來し町民は朝餉の瓦斯に困つたその他煙突の傾いたもの所々にあり人々は何れも戶外に飛び出したが人畜には被害なき模樣

水戶 震源地茨城縣地方時に水戶を中心として相當の被害あり壁墜ち窓硝子の破壞等あり棚の置物等は何れも落ちてしまつた

東京地方 被害は午前九時半までに警視廳に達した處によれば電柱の傾倒電線の切斷瓦斯管の破裂水道引き込み線の破裂の被害は各所に起つたが人畜に被害なし

宇都宮地方 一日午前二時五十八分頃宇都宮地方に强震あり柱時計の止まるもの壁の落ちたもの多數あり市民は何れも屋外に飛び出したが人畜に被害は無い宇都宮測候所觀測によれば關東大震災後初めての强震であると

十二A對三明大勝つ

比島軍大敗

【大阪一日發電】甲子園における明治大學對比律賓野球戰は午後一時比島先攻に開始し比軍は三回二點七回に一點計三點を得たに對し明大は一回に一點三回四回に各三點五回六回に各二點八回一點計十二點を得結局十二アルフアー對三で明大勝つ閉戰は同三時二十分であつた

中學軟球大會

大連商業勝つ

旅順工科大學庭球部主催、本社旅順支社後援の全滿中等學校軟式庭球大會は一日午前九時より工大コートにて開催定刻市川部長の挨拶ありて開始された、參加學校は旅順一中、同二中、大連一中、同二中、大連商業、同育成の六校にて

▲第一回戰 にては大連商業對大連一中の試合にて大商勝、育成對旅順二中の試合にては育成の勝利に歸し

▲第二回戰(準優勝戰) は大連二中對大商は大商の勝、旅順一中對育成は育成の勝

▲優勝戰 は大連商業對育成にて左の如く大商の勝に歸した

大商		育成
大下	一―四	內倉
小川		三宅
片岡	四―二	內倉
白井		三宅
片岡	一―四	西尾
白井		花田
石野	四―一	西尾
國松		松田
石野	四―一	持原
國松		安藤

北滿四地方の原狀回復費

【ハルビン一日發電】昨年の露支政治紛爭のために滿洲里ハイラルブハト、ポグラニチナヤの四地方における東鐵關係の建築物その他が破壞又は灰燼に歸したが、それ等の原狀回復のため調査の結果管理局の協議により四十萬金留を特別會計として計上することに可決した

市民射擊會

百四十五名參加

一日の第二十一回市民射擊會出場人員は射手總人員百二十三名、初心者教育を受けしもの二十名外に中華民國人二名合計百四十五名で入賞者は左の如し

▲特別一等射手 一等四十五點、邊見勇彥、二等四十四點貞元助稔△二等四十六點井手重武△三等四十六點平田秀夫△四等四十四點茂見孝之△五等四十四點瀨々久雄△六等四十四點貞東治△七等四十三點三宅管夫△八等四十二點高向彌十郎△九等四十二點安田孝三△十等四十二點渡邊豐治△十一等四十二點上野善清△十二等四十一點中尾錯澄△十三等四十一點坂口末松△十四等四十一點小林讓

▲學生射手 △一等四十一點古澤彌太郎△二等三十八點三浦肇△三等三十八點井上武△四等三十七點中島茂雄△五等三十四點岩田正平

矢幡氏愛孃

旅順市會議員矢幡讓治氏愛孃富美子さんは豫て病氣中の處一日午後六時二十分死去三日午後五時旅順西本願寺にて葬儀執行の筈

暴風警戒解除

一日午後八時南滿洲附近一帶の暴風警戒を解く(若草山觀測所)

滿日地方版

奉天

時の記念日の宣傳方法きまる
卅日關係者協議會で

奉天公私經濟緊縮委員、地方事務所、警察署、市內各時計商、民會、領事館關係者は卅日午後一時奉天署に參集し六月十日時の記念日當日宣傳方法につき打合せをなした結果左の如く行ふことゝなり三時過散した

一、宣傳ビラ一萬枚を自動車二臺を使用し各所に撒布する外各小學校兒童に配布し各家庭に持ち歸らすこと
二、少年團、女學校生徒をして各要所に立たしめ通行人の時計を一々訂し宣傳ビラを配布すること
三、市內各自動車、馬車、洋車に宣傳旗を立たしめること
四、少年團、自動車隊には襷を掛けさすこと
五、機關區の機關車、各工場の汽笛並に各寺院の鐘を十一時五十九分から正午まで一齊に鳴らすこと
六、モーターサイレンは午前六時から午後六時まで二時間每に鳴らすこと
七、各學校では時に關する講演會を開くこと
八、宣傳從事者には記念メタルを交付すること

地方委員懇談會

奉天地方委員懇談會は卅日午後二時から地方事務所會議室に於て開催された出席者は鵜尻議長外十一委員で勞頭社會施設たる人事相談所、職業紹介所、無料宿泊所に關し審議した結果その豫算は來年度に計上され滿鐵本社に於ても實施の計畫中であるが更に促進實現の請願をなすことになつたそして無料宿泊所は現實の問題として急を要するので安倍氏が具體案を作成することに決定した、それから物價調査の件、市場の魚菜類一割値下げは品種によつて異る關係上一割を廢し市場會社當局に適當値下げ方を要望することになつた次に住吉町兒童遊園地に電燈二、三燈を增設する件は夜間は殆ど支那苦力の寢場所に使用され附近通行の婦女子は恐怖して公園側通行を避けてゐる現狀であるため之も是非實現方滿鐵に要望することになつた、道路修繕の件は從來小路は每年豫算の關係で一部分修繕してゐるため完全な道路が出來ないので今回小路を一齊に修繕すべく滿鐵に之が經費十萬圓を要望することになつた最後に支那側諸施設觀察は六月中旬頃に決行することゝなり正副議長に一切を一任することゝなつて五時頃散會した

特殊婦人健診

奉天署では卅日柳町特殊婦女二百十九名に對し健康診斷を行つた處その中トラホーム患者卅九名、呼吸器病者三名を發見した獨特殊婦女は大體不健康で花柳病患者も近頃增加し四月廿九名、五月は廿六名現はれてゐると

人事

▲大平滿鐵副總裁　卅一日安東より過奉歸連
▲世界動力會議出席者一行十五名　卅一日過奉北行西比利亞線經由伯林へ
▲太田第卅八聯隊長　卅日來奉
▲神田大連民政署長　卅一日安東より過奉歸連

町の便り

奉天驛庭球部では一日午前九時から列車區コートに於て對郵便局の庭球試合を行つた
◇
醫大マンドリン研究會にては六月六日夜ヤマトホテルに於てマンドリン獨奏會を催すが賛助出演としてソプラノの獨唱もあると
◇
卅日午後十時頃市內住吉町五番地宮本龍五郎方より發火し消防隊の活動で家屋一棟二戸十三坪を全燒し十一時頃鎭火した、損害は家屋商品家財を合計して四千五十圓、原因は子供が燐寸をすつたまゝ捨てたのがセルロイドに燃え移つたためで大連火災に千三百圓の保險が附してあつたと
◇
櫻井遞信局長は沿線觀察旁々動力會議出席員と面會のため卅一日朝來奉同日長春へ向つた
◇
天津總領事館の司法領事に轉勤する前田領事は卅一日各方面を歷訪し離奉の挨拶を述べたが同氏は二日大連經由赴任の由
◇
吉植東亞勸業前專務、花井同新專務錦織支配人は酒井庶務主任と共に卅一日各方面を歷訪し新舊の挨拶を述べたが吉植氏は五日離奉すると

安東

三月ほど留守番
よろしく願ひます
ご如才ない森岡領事

森岡領事は二十九日夜官民多數の出迎へを受けて安東驛前ホテルに入つたが語る
宇佐美領事の後任は大體決定してゐるので私は三ヶ月間程留守番で、奉天にも行く事もありませうが大體當地に居る考です、支那側との關係其他總べてよい處と聞いてゐますので僅の期間でも愉快にと思つてゐます、何分よろしく

十萬一千圓の罰金
寶石密輸の綾野

既報寶石密輸の綾野宇三郎（四〇）の判決は廿八日新義州地方法院公判廷に於て渡邊判事より稅關の通告處分通り罰金十萬一千三百八十六圓二十錢に處し、若し完納せざる時は三百六十日勞役場に留置す（但し押收物件は押收）の旨言渡しがあつた

馬賊策動
平北で嚴重警戒

鴨綠江上流に於ける支那馬賊は撫松、輯安縣下にて頭目會議を開き地盤の協定、武器の購入、並に官憲對抗策につき協議を重ねつゝあり、且つ江岸進出を策動せるものあり、平北當局の警戒は嚴重を極めてゐる

安東署の園遊會
兩日に亘り開催

安東警察署では署員並に家族の親睦と慰安の爲め三十一日午後一時及び一日午前十時より鎭江山中央廣場で園遊會を開催し運動會や模擬店餘興寶探し其他各種の催しがあり大に賑はつた

日曜祭日も圖書館開館
一日から實施

安東圖書館は從來日曜、祭日を休館して居たが熊谷圖書館主事より日曜、祭日には開館し其の翌日を休館とする改正案を滿鐵本社に申請、二十九日許可されたので六月一日より實施する、尙日曜、祭日の開館時間は午前九時から午後五時まで

支那苦力入鮮
日每に增加

平安北道保安課に達した情報によると鮮內に於て勞働に從事する支那人は日を追つて增加する一方で鮮人勞働者は脅威を感じてゐると四月中の移動は使用許可八百二十六名、退去百五十一名、無屆退去五名で差引三百七十名の增加となり昨今の工事期節及び農期にその入鮮數は更に增加しつゝある

音樂演奏會

安東高女同窓會綠水會主催の四家杉山兩氏の音樂演奏會は二十八日午後七時から高女講堂で開催されたが聽衆約五百名に達し盛況裡に午後九時閉會した

撫順

鉛入の白粉
販賣を禁止

撫順市中販賣の白粉に鉛を多量に含むものあるとの事で滿鐵衞生研究所で試驗の結果左記は何れも有害と判明、販賣を禁ぜられた、一般の御注意が肝要
△「パッチリ生白粉」撫順中央大街平尾乘藏販賣のもの
△「ツキワ白粉」前記平尾及び市內中央市場外四號服部馨、市內西五條十番地福井榮三郎販賣のもの
△「井桁印、パッチリ白粉」市內西一番町十六番地丸一、山下一男販賣のもの

大洋が煉瓦に
百圓を盜らる

廿一日午前十一時頃淸源縣の農、葉廣忠（三三）は取引先の市內西十條通天合長方へ金百圓を屆けるべく同日午前十時半頃瀋海線撫順站に下車徒歩で撫順へ來る途中三人連の支那人に道をたづねた所案內してやると運河左岸の川原に誘ひ出して一服してゐる間に風呂敷包の現大洋と古煉瓦とをすり替へ逃走した

哈爾賓

夏枯氣分で―
商店は大ゴ難
繁昌は裸踊とカバレだけ
大洋票暴落の影響

初夏の傳家甸はどの店を見ても淋しい寥びれかただ、例年より一ケ月半も早く夏枯が來た、デパートメントの同店でも買物をしてゐる客の姿は全く見られない「どうも節句を前に控えて大洋票の暴落は一層取引を少くした」主人公は呟いてゐる、先物契約は大部分破談である、これではどうなることか、今後の不況が氣づかはれる、プリスタン大街新城大街の大小商店も亦同樣である、ブザアやモローヂは出たが、景氣を冷たくするばかりだ、大商店の一日の賣揚高が平常に比べて約半減した、大洋票はこの先どれまで低落するか豫想がつかない、仕入れた夏物は來年廻しとならう農民の顧客は殆ど目に入らぬ、而も黑龍江省、吉林の官帖はドンドン暴落するのだから倒産者も續出するだらうと氣づかはれてゐる、賑はふのは見物客のニッアー（裸踊）とキャバレーばかりだ

スポーツ聯盟生る
日露協會學校と初試合擧行

スポーツ聯盟が生れた、これはハルビン運動俱樂部より獨立し僞に青年の體育向上と練磨を目標とするもので、一日午前十時から日本人運動場で日露協會學校と對抗試合を行つた、種目は百米、四百米八百米の競走に圓盤投、砲丸投、走高跳、走巾跳のフイルドである、が、六月下旬にはキリスト教青年會と對抗試合を行ふ由

東支換算率
大洋崩落で變更

哈大洋の崩落で東支にては三十一日の換算率を收入二元十二錢、支出二元十一錢と改め、從業員に支拂ふ率は一金留を二元八十八錢と決定した

齊々哈爾

珍趣向の競技澤山で
野遊會大賑ひ
リレーは滿鐵が一等

當地在留邦人の年中行事である野遊會は五月二十七日海軍記念日の午前十一時より若草萠ゆる嫩江の畔で開催された、快晴に惠まれたのと今年開校した日本小學校生の參加、新競技の多い事等で在留民男女は殆ど總出で會場に押しかけた、小學校生徒の可憐な遊戲や競技、青年達の砲彈投げ高跳市跳等から騎落競爭、飴食競爭、三十餘番を終へ、最後の領事館滿鐵市中の三組のリレーは滿鐵一着で運動會を閉ぢ午後三時より野宴に移りサツマ汁五もく食に舌鼓を打ち早川民會長の挨拶、淸水領事の發聲にて齊々哈爾居留民會の萬歲を三唱して午後四時散會した

陶省政府委員
天津で客死

黑龍江省政府委員陶經武氏は天津に旅行中同地に於て病死せる旨二十七日當地に通知があつた

廣信公司整理

黑龍江省の金庫である廣信公司は紙幣濫發其他の原因で內部非常に紊亂し大整理のため丁前總辦を省政府顧問に、呼海鐵道局長高雲長氏總辦に擧げ大斧鉞を加ふる事となつたが、公平無私の高總辦の整理振は一般より期待されて居る

開原

憲兵の歌高らかに
五十周年の記念祝賀

延期されてゐた開原憲兵隊の憲兵制度創設滿五十周年祝賀祭典は三十一日午前九時半より佐藤分遣隊長以下隊員一同及び在鄕憲兵諸氏開原神社に參拜し祭典を執行した、祝賀會は午前十一時より分遣隊前にて記念撮影をなし分遣隊樓上に於て官民有志四十餘名を招待、佐藤分遣隊長より挨拶を述べ、川崎所長來賓を代表して謝辭並に憲兵隊の萬歲を三唱し宴酣なる頃佐藤隊長は憲兵の歌を高唱一同之に和唱し各亭藝妓酒間に來賓各自の詩吟其他諸藝續出し非常に盛會を極めた

皇居を遙拜
國恩を感謝

一日午前八時半開原神社々頭に於て國恩感謝デーを擧行し官民有志並に學生等多數參列し皇居を遙拜し神社に參拜し國旗掲揚に參列した

補習校講師異動

開原實業補習學校大瀨戸、陳の兩講師辭任し後任は開原警務署倉田[illegible]生、開原小學校古屋訓導兩氏に委囑したと

多久島氏永眠

滿洲商業通信社開原支社長多久島歲一氏は急性肺炎にて加療中の處三十日午後七時四分永眠したが行年三十歲葬儀は一日午後四時自宅出棺本願寺にて執行した

鐵嶺

支那婦人自殺未遂

當地香山街六五魚菜商店白張云升妻趙氏（三〇）は三十日正午頃居室內部より施錠し黃燐マッチ小箱約三個分を水に溶かし嚥下して自殺を企て苦悶中を隣家の王連堂が發見し醫院にて治療の結果生命を取り止めた原因は複雜な事情があるらしいと

來る八月中旬に
陸上對抗競技
近く豫選大會を開催
最初の主催で今から人氣沸く

奉天以北で呼び物となつてゐる鐵開、四、公對抗の陸上競技は來る八月中旬開催の豫定で、今年は鐵嶺が始めて主催地となるので主體の鐵嶺運動協會を始め、選手連もファンも今から必勝を期して非常な意氣込で近く豫選大會を催し優秀選手を選拔して練習を開始する事となつた、殊に今六日奉天以北第一の大運動場が既に竣工され大會熱を彌が上にも煽つてゐる、尙運動協會から在鐵官民有志に資金の援助方を依賴すると因みに協會では左記役員を定め近く推薦狀を發すると
△陸上競技部　山內、池田、有馬、篠谷、五十嵐、柴田
△庭球部　佐多、湯本、御園生、酒井、加藤、篠谷、仁平
△野球部　棚橋、茅原、田尾、松崎
△庶務部　鈴木、大澤、松田、岡田大尉、丸山中尉、本多
尙今二日午後六時より右役員を滿鐵クラブに招集し本年度行事及び大競技會の準備に就き協議すると

公園の……運動場
面目を一新する

既報新運動場は衞戍病院南方に新設されるが、公園の舊運動場は一部を庭球コートに、一部を理想的花壇とすべく目下盛に工事を進めつゝあるから近く百花繚亂の大花壇が出來上り公園の面目を一新すると同時に遊步地としても理想的のものが完成し一般市民を喜ばせる事であらう

四平街

守備隊の交替
熱誠な送迎を受けて

既報當守備隊滿期兵四十三名は三十日十五時廿一分發南行列車にて萬歲聲裡に歸還の途に上つた、市民協會は例に依り歸還兵士に對し四平街繪はがき一組宛を贈呈し出發に際し櫻井本社四平街支局長は一般市民を代表し驛頭に於て送別の辭を朗讀した、なほ交替初年兵四十七名は六月一日無事到着、驛ホームは全市民の出迎へで埋められた

市民協會から見舞電報

畑關東軍司令官の病氣に對し當市民協會は三十日左の見舞電報を發した
御病氣の由傳承し市民一同憂慮に堪へず冀くば邦家のため速に御快癒あらんことを祈る

鞍山

仙石總裁を前に
交々意見を開陳
"製鐵所で六氏が"

仙石滿鐵總裁は三十一日午後一時より製鐵所應接室に於て小、中學校、地方事務所、病院、驛、製鐵所各課所長各主務者等百數十名を集め一場の訓示をなし續いて社員周知の意見聽取を希望したので千秋所長が大孤山竹蔵主任に指名し更に左の諸氏が大略左の如き意見を陳べた
竹蔵主任　此の大孤山及び各採鑛所に社員の娛樂及び修養の機關設備其の他何とか慰安方法を講ぜられたい
町田不二男氏　滿鐵の方針は營利會社か、或は特殊指命權を維持するか、判然と示された
三重野勝氏　滿鐵醫院の診療所を附屬地內のみに限らず附屬地外にも多數の診療所を設け支那人にも恩惠に浴したい
伊藤武則氏　滿鐵が公學堂にのみ厚く鮮人教育を顧みないのは誤である、注意されたい、そして尙ほ安廣社長時代に奬勵した蠶業が山本社長の手で廢止された朝變暮改は面白くない
最後に林所長、石橋事務課長等より意見を述べ午後三時閉會した

陰巡捕快癒

鐵西に於いて匪賊の爲め負傷した鞍山警察署の陰巡捕は入院加療中の處全快したので三十一日退院なし市中有志を歷訪して謝意を述べた

電氣アイロン發賣

電燈局では過般は電氣洗濯器を賣出して好評を博したが、今回は更に理想的の電氣アイロン（三圓で）を時賣し既に各方面で好評を受けてゐる希望者は至急注文されたいと
・・・・中瀨呉服店賣出　中瀨呉服店では夏物新柄流行品多數を陳列し今二日から二日間陳列館內に於て大賣出しを催すと

本溪湖

郵便局長異動
林氏は奉天へ

郵便局長武林勳氏は今回奉天郵便局に榮轉、後任は瓦房店より尾崎氏が轉任すると

社會主事異動
櫻木氏着任

滿鐵地方事務所社會主事片山圭一郎氏は今回本社へ榮轉不日出發の由、後任は大石橋より櫻木芳國氏着任した

この母を見よ（一九）
日活現代劇臺本より
畸面座同人構成

其の晩の下宿の二階では、中子が嬉しさうな、樂しさうな、明るい顏をして居た。久しぶりで腹一杯おいしいお料理を食べる事が出來るからである。それ故に彼女の黑い大きい眼は今明るい七輪の焰に見入つて居たかと思ふと、次の瞬間には俎板の上を走る母の手元へと飛んで、ちつともじつとして居なかつた

南向きの壁には、其の居間に似合はしからぬ大きな油繪――亡き夫桑木の肖像がかゝつてゐる。

倭子の手は動いて居た、が、頭は深くたれて、眼は乾いた光で輝き、眉は顰んで、白い額の眞ん中に深い皺が刻まれて見えた。

見上げた夫の肖像――がそこに見えたものは、面に死の苦痛を湛へ、羞恥の額を赤くさせ、指と指とを强く摑み合せた女の影が立つてゐた。それこそ彼女の想像の鏡に映じた彼女自身の姿だつた。

それがお前さん
だつたのね！

倭子は自分で自分の心の中から生れて來た幻影に向つて云つて見た。

なさけない人だこと！

女の影は摑み合せてゐる手をほぐした。さうして其の手で、深くうなだれてゐる自分の顏を蔽ひした。そして今まで乾いてゐた倭子の眼からは、急に熱い淚が溢れ出た。

急に泣き出した母の樣姿に、今まで樂しさうに散らばつて居る食料品の包紙や、しで紐を集めて居た中子は、半はびつくりしたやうな、半心を打たれたやうな眼で母を見つめた。

下宿の家主夫婦は茶の間で夕飯をたべて居た。長火鉢の銅壺から徳利を出して、差つ差されつの樂しい晩酌である。

或る食卓――薄暗い電燈の下で親子六七人が、いさゝかの食事をむさぼり食つてゐる。

電柱の街燈――その灯を締切つた軒下に受けて、自由勞働者達の男女が、燒芋や、かたくなつたパンの端などを、水を呑みながら喰べてゐる。

はなやかな電燈の灯に音樂の流れがもつれてゐる立派な食堂、金と時間をもてあましてゐる樣な紳士や婦人が、そこに卓をかこんで次の料理を運んでくる給仕の列を待つてゐる。

倭子は、七輪にかけた鍋の煮物の沸騰を見詰ながら、いつか、まだ夫の存命中樂しかつた三人の食卓の有樣が、ありくと浮んでくるのだつた。

中ちゃん
さあーごはんにしませうね

倭子は、いそくと食卓についた中子の前に、手料理のご馳走をならべるのだつた。せかくと箸を運ぶ中子の動作に、倭子は母親らしい注意の言葉をかけやうとしたが「無理もない」と思ふ感情が、胸にせまつて、只靜かに中子を見守つてゐるばかりの倭子だつた。

おいしいの
中ちゃん

倭子の聲は押しかくす淚にしめつてゐた。

おいしいわ
母さんもめしあがれ

そう云つて、つぶらな眼を母の顏に向けた中子は、急に何か思ひ出したやうに箸を置いて、眼をふせるのだつた。

どうしたの中子
お腹でもいたくなつたのかい

倭子は、驚いたやうに中子の顏を見るのだつた。「ちごうのよ母さん……」首を振つた中子は、やがて母の顏を見上げるやうにして云ふのだつた。

お父樣に御馳走を頂いて
有り難うを云ふのを
忘れてゐたのよ

中子の眼には、淚が湧いてゐた

ねー　母さん
ナ子ちゃん　忘れて
ゐたの
お父うさま
有り難うございます
ずいぶんおいしいわ

中子は食卓へ頭をさげると、母も共に父へ感謝の言葉を捧げるであらうことを期待して母を靜と見てゐる。おゝこの御馳走！「こつじき」と何の變りもない私――倭子は、せきあげる悲しさをこらへて、齒を食ひしばり、身を顫くするばかりだつた。

母さま
母さまは　どうして
お父樣に早く御禮を
おつしやらないの！！

中子の不足らしい言葉が、倭子の耳に響いたとき、倭子の肩はかすかにふるうた。倭子は今、婦人洋服店附近の雜沓の中に、紙幣を握つてかけめぐる自分の姿をはつきり見てゐるのだつた。中子を前にして靜と座つてゐることにすら堪へられない倭子は、袂を顏にあてたまゝ、崩れるやうに身を伏せたのだつた。

母さん
どうしたの　―

食卓をはなれた中子は、母の體にすがりついて、やさしく愛撫するのだつた。

ナ子ちゃん　お母さ
まも忘れてゐたのよ
いけないわね

すゝり泣く倭子は、中子を抱きかゝえて、幾度もくその額と頰とに口を押しつけた。

お父樣　有り難うご
ざいました　中子が
おいしいと
よろこびます

淋しい夕闇のせまつた暗い部屋で、母と子は抱き合つたまゝ、亡き夫亡き父へ淚の祈りを捧げるのだつた。（寫眞は瀧花久子と松平千鶴子）

滿日俳壇　募集規定

次回課題「夏の朝」「夏の月」「ハンモック」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切六月十五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田青峰

滿日聯珠臨時戰（四）

中央聯珠社大連支部戰譜
第二局（その二）
先　伊藤夢星
　　原口八州
【四段井村永治講評】
△三號桂掛打
黑（五）は前にも評した如く「六、イ」又は「ロ」である。白（六）强い、黑苦戰を免れない、手順を代へて考へて見ると黑（三）白（四）黑（五）白（六）の時、黑「ロ」の處（一）と打ち「ロ」（二）と桂馬に掛まれたのと同樣であるから黑の良い理けを見出せない。

夕刊 滿洲日報 六月一日

明年度豫算編成は今月初旬から着手

海軍の問題は財部海相に一任 鎌倉にて濱口首相語る

【鎌倉一日發電】海軍問題で疲れた濱口首相は三十一日午後二時自動車で單身官邸を出發同四時鎌倉の別邸に入り兩三日靜養の上三日夕刻又は三日朝歸京するが別邸にて左の如く語つた

政府對軍令部の關係は要するに差して六ケしい問題でなく二十九日の軍事參議官會議も海軍部内の

內輪話に 過ぎぬから財部海相がその内容を正式に閣議に報告すべき筋合でもなく軍令部と政府とは海軍大臣を通じて連繫を保たれるものだから政府對軍令部の問題は總て海相と軍令部との關係に歸着するので一切を財部海相が話して居られる事と思ふ、帷幄御諮詢奏請は六月十八日若槻全權の歸朝後詳細な說明を聞いた上の事にするがその時期はまだ定つてゐない、六年度豫算編成上なるべく早く御諮詢を終りたい、今後國防問題につき今回の如き問題の起らぬやう根本的

法則を立 てる事は各方面から考へられてゐるがそれは一利一害のある事と思ふ、町田大將の防務會議設置の話については自分はそうした積極的な考へは起して居らぬしまだ何れともそれについて考へを立てゝゐない、六年度豫算編成は六月初めから着手するが大體從來の方針で一貫する積りで尙ほ緊縮方針は緩める事は出來ない、實際上歲入減等より依然緊縮方針を執らざるを得まい、今後政府の身を入れねばならぬ減稅は專ら軍縮の剩餘金に依る筈である、帷幄は條約の兵力量に修正は加へまいから條約に依る剩餘金高には關係を及ぼさない、ロンドン條約に基く今後の

國防充實 については海軍でも亦研究の運びに至らぬ爲めまだ話がないが要求があればそれ相當これを認めねばなるまい兎に角六年度豫算編成は樂ではない

井坂 孝
牧田 環
臨時產業合理局顧問被仰付(各通)

商工書記官侯爵 木戸 幸一
任臨時產業合理局事務官(二)第一部長を命ず、第二部長兼務を命ず

商務局長 川久保修吉
鑛山局長 中松 眞卿
貿易局長 立石 信郎
兼任臨時產業合理局事務官(二)同第一部、第二部勤務を命ず(各通)

工務局長 吉野 信次
兼任同事務官(二)同第二部長を命ず、同第一部兼務を命ず

動力會議代表

【奉天特電三十一日發】萬國動力會議出席の肝付男一行六名は本日十三時安奉線で着奉、直ちに北陵を見物し十五時四十八分井上子斯波男等と合し北行した

西山、改組兩派別個に宣言發表

黨務會議漸く妥協

【北平特電三十一日發】黨務會議は依然改組派と西山派との間に意見の扞格あり、但し北軍優勢の現在、軍政府組織が出來ては、といふ懸念から出來得るだけ速かに黨議を纏める必要上、山西派の趙丕廉氏が中心となつて協調妥協を說き、兎に角三十日の會議に迄漕ぎつけた、當日廣東第二期派と、上海第二期派とは打合せを行ひ抵觸せない範圍內において、別々に宣言を發表し、改めて共同宣言を發表することに內定を見た、尙各派選出の擴大會議委員の內譯は左の如し

▲廣東第二期十三名 汪精衞、陳公博、顧孟余、白文蔚、王法勤、白雲梯、朱霽青、陳樹人、郭春濤、陳嘉祐、陳璧君、李宗仁、黃紹雄、右十三名は廣東第二中央執監委員及び同候補委員である

▲上海第二期八名 許崇智、張知本、覃振、樊鍾秀、鄒魯、謝持、茅祖權、傅汝霖右は廣東第一期中央執監委員及同候補委員であり、廣東第二期において排除されたる人々である

▲實力派十名 (閻錫山派)閻錫山、商震、趙戴文、趙丕廉(馮玉祥派)馮玉祥、鹿鍾麟、薛篤弼、その他三名

實力派は南京第三期の人々及びその他といつたものである。尙三十日の河北省政府會議廳で催された黨務會議にて、擴大會議に至る迄の常務委員としては、陳公博(廣東第二期)覃振(上海第二期)趙丕廉(實力派)等を擧げた

軍司令官の後任

渡邊、長谷川兩中將中から

【東京一日發電】關東軍司令官の後任については宇垣陸相、阿部次官、古莊人事局長の間で銓衡中であるがその任務の重大性に鑑み取り急ぎ選任の運びとなる筈であるが、下馬評に上つてゐる顏ぶれは臺灣軍司令官菱刈隆大將、朝鮮軍司令官南次郎大將の兩氏を始め東京警備司令官長谷川直敏中將、陸軍航空本部長渡邊錠太郎中將、第三師團長小泉六一中將の三氏であるが、右の中適任なるは南大將なるも南大將の轉補となれば軍司令官級に相當の異動を見る事となるので結局渡邊、長谷川兩中將の中から選任さるゝ形勢である

商工人事異動

【東京一日發電】商工省臨時產業合理局設置に伴ふ人事異動は左の如く決定二日官報を以て發表さるゝこととなつた

子爵 大河內正敏
男爵 中島久萬吉
男爵 松岡 均平

高松宮

ネープルス御着

【ネープルス三十一日發電】高松宮同妃兩殿下の御乘船鹿島丸は三十一日午前八時半入港駐伊大使館員その他伊太利側の高官等が御歡迎申し上げ兩殿下は自動車にて各所を御巡覽された

露支交涉愈よ開始

一日兩國專門委員會を組織し 各種重要案を討議

【ハルビン特電一日發】モスクワにおける露支正式會議は一日東鐵、通商、關稅、航行權、居住等各種重要懸案に亘り兩國專門委員會を組織し交涉の第一步に入つたと支那側が傳へてゐる

周村附近で交戰

濟南青島間交通杜絕

【天津特電一日發】渡河攔護の爲め周村を目的に進みつゝある李生達軍は山東北部各地を攻略し既に周村を距る二十支里の地點で馬、韓聯合軍と交戰中これが爲め濟南青島間の交通は杜絕した

今は亡き 畑大將の追憶の數々

八面玲瓏、融通無碍 惜しい未來の陸相

◆…【東京一日發電】故畑關東軍司令官は福島縣若松出身で今年五十九歲、づば拔けた秀才振は早くから鄕黨の注目の的となつてゐたが貧乏士族の伜なので力行苦學、從つて士官學校入學も同僚より三四年遲れた、だが愈々光榮ある陸軍將校となつてからは猛將の才能と持前の圓滿なる人格とに、士官學校、陸軍大學校で恩賜に浴する好成績で猛烈なスピードのヘイジヤムプと三段跳の連續

◆…與へられた椅子も陸軍省で一番重要な軍事課々員、軍事課長、軍務局長、陸軍次官と云ふ金ピカばかりだつた、此の人程永く連續的に中央部の激職に居つた人は後にも先にも一人もなからう、軍務局長としてだけでも田中、山梨、田中、宇垣の四大臣に仕へてゐる

◆…此の間にした仕事と言へば世間的なものだけを拾つてみても、二個師團增設問題、軍部大臣文官制、山梨大臣時代の五個師團分縮小の軍備整理、宇垣陸相前任時代の四個師團廢止の軍制改革などの大問題があるが、凡て近來行はれた大陸軍の軍政問題は例外なしに全部此の人の手で片付けられたと言つてよからう、今回の死は酒の爲めだと云ふが事實かも知れないが併し酒に對する抵抗力を失くした原因は、是等の激務だつたといふことも考へなければならない、今回の破格の光榮も大御心を茲に垂れさせ給ふた結果と拜察される

◆…「畑はニコポンでいかん」とか「あれは長閥の細鱗ちや」とかの非難もあるにはあつたが、それは同時に如何に圓滿無碍、融通の利く人だつたかを測るバロメーターとして受け入れる方が確だらう、兎に角宇垣大將唯一の後繼者だつた、少くとも陸相候補のナムバーワンだつた

◆…趣味としては一にも酒、二にも酒、久留米絣のよれ／＼を着て「これは相當飮める酒だよ」と盛んに浴びもし他人にも奬めた、そして酒で死んだ、何か唄はなければならない破目に押しつけられると「なべやーきうどーん」と「とーがらし／＼」をやるだけだつたところがこれが大したもので、「流石に經驗者は違ふ」と御大宇垣陸相を驚嘆させたものだつた

◆…何時か會津藩の舊家老山川健次郎男と奇妙にも相前後して歸省した事があつた、樞密顧問官と未來の陸軍大臣が同時に歸鄕したといふ譯で、土地の有志が歡迎會を開き席上で揮毫を求めた、山川男は素より腕に覺へのある君子人なのでちにして謹嚴な一句をものしたが大將には何もない「おらあだめだよ」と言つてもきかない「よしそれなら書くよ」と書いたのが雄大な一曲線と曲線の中央から發する勇壯なる日本の直線だつた、題して「日本男子の屁」

◆…四個師團廢止の結果北滿の軍旗が還されたが之を迎へた畑軍務局長は淚をぼろ／＼流し乍ら「俺は軍備擴張が出來る迄煙草はやめた」と誓つた、それ以來斷然禁煙した、これも軍務局長時代のことある宴會で宇垣陸相と畑軍務局長とが一緒になつた際に畑軍務局長が中將になると云ふ噂が客の間に傳播した、これを聞いた畑少將早速大臣の處へ押しかけて「僕を中將にして吳ますか」と直接談判をしたものである「おゝよし／＼」と宇垣陸相の返答

◆…主計官なら中佐位で大概家を持つ、本科でも少將になれば八、九割方自分の家を構へるがもう大將にもならうと云ふのに未だ家をなさなかつた、しかも長男英一氏は野砲兵一聯隊の貧乏少尉、唯一の弟俊六氏は陸大を一番で出た秀才で現に陸軍少將、參謀本部第一部長だが、兄貴以上の貧乏人、思へば餘りに錢を愛さな過ぎた

重要會議に御列席の伏見大將宮

統帥權問題に對する海軍最高意思の決定をなすべき元帥軍事參議官會議は二十九日海軍大臣官邸に開催された【寫眞は會議を終らせられて官邸を御退出あらせらるゝ伏見大將宮殿下】

北軍遂に歸德奪還

平漢線方面も激戰開始

【南京三十一日發電】支那側の確報に依れば中央軍は山西軍の追擊急なるを見て戰略的に退却し山西軍は既に歸德を奪還したと平漢線方面では中央軍五師は西北軍と激戰中で蔣介石氏は飛行機で駐馬店に到着督勵中であるとも傳へらるゝ

劉珍年軍愈よ行動を開始

【天津特電一日發】劉珍年軍は山西軍に呼應して博山から泰安へ進出すべく行動を起した因に平津兩地の警備司令も自ら陣頭に立つたので天津は袁膺督、北平は楚溪春それ／＼留守中の治安維持に任じてゐる

五月下旬概況

【東京三十一日發電】五月下旬における對外貿易は(單位千圓)

輸出 三八、七七四
輸入 五四、六三一
計 九三、四〇五
入超 一五、八五七

で昨年同期に比し

輸出 二六、二五五
輸入 一四、七二七

を減少し入超は昨年の四百萬圓に對し非常なる惡化を示した、その主なる原因は生糸の輸出不振によるものである、なほ一月以降の累計は

輸出 六三一、三五六
輸入 八二〇、六七八
計 一、四五二、〇三四
入超 一八九、三二二

で昨年の二億五千六百七十七萬六千圓に比し六千七百四十五萬四千圓の減少を示してゐる

日曜閑話

豫言者は容れられぬ 英雄神化の時代は去つた

豫言者でさへ故鄕に容れられぬとある。まして全てが科學時代理論討究の時代とあつては、神人的な英雄豪傑などの飛出しやう道理がない。世の中は平々凡々、たゞ經濟的に複雜化するだけであるから、レーニンや孫文のやうなものはロシヤか支那のやうな多分に半文化要素を包含してゐる特殊なところにしか生れぬ。

×

人間の智力を超越したる事象はすべて不可思議とされた。この不可思議の事象、それは悉く人間以上のこと、神の支配の下にあることゝされた。山河草木、萬有は悉皆これ神、人間の智力の及ばざるところに神が存在するとされたすこぶる原始的ではあるけれども簡單直截に萬有なるものが創造されたのである。

×

ところが、人間の智力なるものは千差萬別、すなはち一般普通のものは、概して一律に平凡、たゞ中に平凡人よりすれば一頭地を拔くものがあるとする。その人物は平凡人に比較して神に近いといふことゝなり、時には神に似た不可思議の行蹟をも抱有するとなればよし故鄕に容れられぬが如きことあらんも、聖者となり、英雄となり、豪傑となること必ずしも難きにあらずである。

×

山も河も木も牛も、生殖器さへ神化される時代にあつては、少し特異な人物が、神に近いものとなることは決してあり得べからざる事柄ではない。たゞ支那民族の如きは、早くから中央アジアの方面から移動し來り、社會的集團として既に天を祭り、統制を嚴格にして孔子の如きものを生むに至つたのであるから、インドやアラビヤ方面におけるやうな宗教的の神を創造することは出來なかつた。

×

十六七世紀から反動して來た文藝復興の精神、それが科學的探究の時代に入り、すべての問題を二に加ふる二が四、試驗管の中にて分析せずんば已まぬのであるから英雄豪傑などの飛出せぬのも當然とせねばならぬ。世界に不可思議といふことがなくなつたといふのではないが、不可思議は不可思議として置き、それを敢て神化しやうとせぬ。ただ今日の科學を以て分析し得ぬとしてゐるに過ぎぬのである。

×

併し、社會がいはゆる資本主義的經濟組織として發達した今日にありては、貧民階級の英雄、勞働大衆の代表者といつたものが飛出すべきであるが、そこには唯物史觀といふやうな[illegible]べての問題を解釋せんとする英雄といふや[illegible]化され、創造されて來ぬので[illegible]しかも理論鬪爭の時代とあつて勞働大衆を代辯するものを或る個人に要求することは出來ぬ。

×

こんな時代にあつては、英雄豪傑を創造し得ぬばかりか、折角積み上げられた功績までも、これを打ち壞さんとするの傾向さへあるのであるから、ロンドン會議において、日、英、米の三國全權らが如何に世界の平和、國民負擔の輕減に努力したりと[illegible]それを以て直ちに滿足なりと[illegible]れられぬのは當然である。[illegible]言者は故鄕に容れられぬの[illegible]。英雄たるまた難いかなで[illegible]

東北當局は依然北滿防穀未解除

南京政府の命令無視

【ハルビン特電三十一日發】支那側稅關監督は去月廿七日附をもつて昨年七月禁止布告した米を除く一切の特產品穀類の輸出を解禁する旨を公示したが、右は南京政府の命令觀閣のもので東北四省としては地方的稅務局の立場上全然關知しない問題であつたので、稅捐局では該告示を初めて知り東北政務委員會に通告しその指令を仰いでゐる、然し奉天政權は假令露支紛爭は解決したといふものゝ滿洲里からシベリヤに全般的穀類(小麥)輸出を許可すれば北滿は品薄を告げ勢ひ市價を暴騰せしめることになり對露關係からも俄に許可することはできぬとの意見で西部線積出は一時中止せしめる內命を稅捐局に發して來た、斯くの如く對外的關係を有する問題についても命令系統が二樣に分れてゐるのだから一般商人はその歸趨に迷ひ困つてゐる

米國北滿に投資

五百萬元の銀行設立

【奉天特電三十一日發】數年來滿蒙を中心に投資を行つてゐる米國資本家は最近又復黑龍江省方面に中米合辦の銀行を設立すべく計畫中で本店を奉天に置き哈爾賓、齊々哈爾、吉林等の各地に支店を設置する準備をも進めてゐると猶資本金は五百萬元であると

水產會問題で太田長官に陳情

評議員、漁業組合幹事ら

旅大水產會支部評議員及び漁業組合幹事安達、入江、岩本、加藤氏等は三十一日午前十時關東廳を訪問約一時間に亘り太田長官と會見して水產會に事務理事設置方並に議事機關の改善に關する意見を開陳しその實現方を陳情したが、右は現在水產會は關東廳內務局長、殖產課長が正副會長となつて總ての計畫、統制の衝に當つてゐるがこれでは本官の關係等があつて充分に親切なることが出來ぬのでそのために專門家を置いて更に完全なる研究基礎に基き本州水產の向上を期せんとすること、第二の議事機關は從來水產當業者の役員たる總代なるものは定員二十七名のうち會長、支部長以下理事者側七名に當業者日、支人各十名とあるも、支那人十名は理事者の意嚮如何に依り何時にても左右さるゝので結局多數決の場合は常に理事者案ばかりが通過し邦人當業者の意見は絕對に通らぬといふ狀態である、右に關しては豫て關東廳當局に於ても考慮中のことであるので研究の上追つて何等かの形式で具體化されるであらうと

朝鮮人參の輸出增加

杉原博士語る

朝鮮專賣局より人參蒐集の爲め派遣された京城帝大教授兼專賣局囑託杉原德行博士は一日入港の濟通丸にて來連した、氏は語る

主に上海に居て人參約[illegible]六百種を買ひ集めましたが[illegible]た上整理してからでなくては[illegible]分りません、朝鮮人參は[illegible]每年約六萬斤出てゐますが年[illegible]五分宛增加するやうにしてゐ[illegible]ます、偽物が多いですが今、滿、鮮人參の何れともつかぬ偽物があつて未だ何處から作り出されてゐるかも判らないのです、人參の支那における需要は非常に多く殆ど上海で消費されます

輸出附加稅

七月一日實施

輸出附加稅五割の徵收は昨夕刊所報の如く六月十五日より實施を傳へられてゐたが、三十一日午後五時上海總稅務司より大連海關あて來る七月一日から實施に決定した旨の電命があつた、なほ豆粕、豆油の外國向輸出に對しては附加稅を免除されることとなつた

滿洲工業規格調查委員決まる

關東廳では三十一日附けを以つて遞信技師入江武男ほか官吏十八名並に民間より佐藤信一ほか五十八名をそれ／＼滿洲工業規格調查委員に任命及び囑託した

關東廳辭令(卅一日附)

關東廳遞信局書記 坂東 一象
奉天郵便局長心得兼務を免ず
同 西堀 長作
大連無線電信局長心得兼務を命ず
關東廳屬 村上 德助
依願免本官 津田 武人
任關東廳醫院醫員 村井初三郎
任關東廳遞信技手
關東廳農事試驗場技手 島倉 久吉
任關東廳技手 志村 多雄
任關東廳翻譯生
關東廳遞信書記 佃 省吾
兼任關東廳遞信技手 谷口榮五郎
關東廳土木技手に任ず
關東廳技手 谷口榮五郎
關東廳遞信技手 村井初三郎
依願免本官(各通)

うらる丸

二日午前七時五十分大連港外着豫定

人事

▲石傑氏(南京軍官學校教官) 一日午前十一時出帆の大連丸にて赴任の途に就いた
▲武出南陽氏 一日午前十一時半入港の濟通丸にて天津より歸連
▲セミヨノフ夫人 同上來連

天氣豫報

二日(北西の風)曇後晴
滿潮 午前一時十分 午後一時五十分
干潮 午前七時十分 午後八時四十五分
暴風警報 午後零時三十分より南滿洲一帶を警戒す

風薫る滿洲野原頭　勇者の壯烈な跳躍

觀衆早朝からスタンドを埋む　市民運動會の盛況

六月一日、明くれば空は曇りど微風そよぎ暑さ烈しからず絶好の運動日和、前日の手入れにすつかり準備を終つた大連運動場のトラツクにはクツキリと白線が浮き立ち

意氣に燃ゆる大連市民の活躍を大手を擴げて迎へてゐる、運動場の四圍を飾る無數の彩旗が盛んに打揚げられる花火と共に、來會者の足どりを一層に輕くする本部前檣頭高く揭げられた日章旗が初夏の薫風にはためき緊張した嚴肅さをグラウンド一杯に流してゐる、大會開始前すでに一般小學生を始めとして子供連れの家族團が、電車の止まる每に長い帶を曳いて續々と運動場に詰めかけて來る、かくて定刻八時、三發の花火を合圖に永井副會長（市長内地出張中）貝瀨審判長その他役員參集副會長はマイクロホンを通じて開會の辭を述べ、大連市主催本社後援の第四回大連市民運動會は開始された

嵐のやうな拍手と、可愛い子供の聲援裡に競技は尋五女の六十米突競走から開始され、プログラム通りにスラ〳〵と進行、小學生の六十米突、百米突競走もすみ學生、一般の百米突の中ごろから陽光麗かに雲間を破り一層の活氣を添えた、四百米突、圓盤投、砲丸投も無事に終了呼物の一つの提灯競走は滿場の哄笑と聲援裡に行はれたかくて十一時十分早苗小學校の勇ましい騎馬合戰が始まつた、赤白の兩軍は遼陽城頭の軍隊も勇ましくフイールド内に進軍、東西に分れ、號砲と共に喊聲勇ましく突擊、肉體相搏ち滿場の聲援の裡に奮戰赤奮戰、一回戰に敗れた赤軍二回目には包圍攻擊を試みたが再び敗北、萬歲の聲に白軍に擧る、次の五千米突では

學生組は大商の岩佐、一般組では志水が夫々優勝、例の五十六の笠松老人が滿場の拍手を浴びながら終始ラスト乍らにも元氣に全コースを走破した、終つて昨年五千米突の勝者中島君、一般四百リレー（大連工場）一般千六百リレー（國際運輸）學生千米突メ

けふの寫眞

（上）市民運動會早苗小學生の騎馬合戰（下）會場展望

トラツク競技成績

ドレー（工專）の各優勝チームは本部前に整列莊重な優勝盃の返還式あつて無事午前の部を終つた、時十二時四十分

六十米競走（尋五女）▲一着黑瀨嘉子（九秒二）二着秋山和子、三着葉滿壽▲一着石川喜美（一〇秒二）二着照井恭、三着尾關トシ▲一着永田かの（一〇秒二）二着野澤光子、三着沖見久代

同（尋六女）一着平原正子（九秒八）二着合田絲、三着佐藤初枝▲一着伊藤鎭江（九秒六）二着入江直、三着畑幸子▲一着鈴木嘉代子（九秒四）二着松本富士子、三着月城幸子

同（高一女）一着三浦貞子（九秒八）二着本澤芳枝、三着有田琴子

同（高二女）一着西村滿壽子

百米競走（尋五女）▲一着熊谷利子（一五秒九）二着山本惠美子、三着樋野敏子▲一着宮地通子（一六秒）二着西森秋子、三着山崎利子▲一着加藤英子（一六秒五）二着村上月子、三着大神絹子▲一着吉田潔子（一六秒二）二着久保淑子、三着古賀節子▲一着加藤佐和子（一五秒八）二着竹原富子、三着秋山溫子▲一着原マツ（一五秒九）二着中島卓子、三着三田茂子

同（尋六女）▲一着牧山ユリ子（一五秒六）二着内田節子、三着武末ミツ子▲一着日塔滿子（一五秒六）二着榎森深惠子

同（高一女）一着ト澤冨士子…

同（高二女）一着佐藤さとゑ…

同（尋五男）…

同（尋六男）…

同（尋高一男）▲一着足立嚴（一三秒八）二着鈴木守、三着山崎茂

同（尋高二男）▲一着兒島秀尾（一三秒五）二着濱豪輔、三着前島利一

同（學生）▲一着永野慶馬（一四秒二）二着關亨、三着栗栖諄二▲一着グリゴリー（一三秒七）二着角十七、三着大内輝朗▲一着大竹梅松（一三秒七）二着出口忠夫、三着古田島忠敬▲一着富田龍夫（一三秒二）二着澤田嘉裕、三着淸水克應▲一着藤島博（一二秒六）二着福田耕作、三着上田三郎▲一着濱田（一二秒八）二着高木豐藏、三着李書常▲一着毎熊國義（一二秒六）二着杉村幾三、三着中村敏夫▲一着岩熊正一（一三秒二）二着今村次郎、三着片岡健一▲一着渡邊大（一二秒）二着中原一太郎、三着佐野直鄉▲一着山崎長三郎（一二秒六）二着永坂芳夫、三着遠藤昌俊▲一着緒方俊雄（一二秒六）二着飯田醍一、三着森巖▲一着鈴木輝雄（一二秒七）二着永野武義▲一着加藤鎭平（一一秒六）二着吉屋昌雄、三着白石克彥▲一着井上是一（一一秒六）酒井政則、三着近藤正元

同（工專）▲一着赤城明（一一秒七）二着坂田恒夫、三着廣瀨信夫

百米（一般十七歲以下）▲一着永森贇（一二秒九）二着宮出雄造三着楠本正吾▲一着針間晃（一三秒五）二着深川勘藏、三着安…

同（一般十八歲以上二十五歲）▲一着坂元良富（一二秒五）二着原田安男、三着廣松米夫部貫▲一着山本五郎（一三秒三）二着橋本男、三着島田太郎▲一着大塚初次（一二秒六）菱川弘、三着平野芳夫▲一着横尾新六（一二秒五）二着吉田紀好、三着新木新六▲一着鈴木忠夫（一二秒五）二着内田史郎、三着大波多五郎▲一着石川秀太郎（一二秒五）二着榊久雄、三着島田太郎▲一着岩井馨（一二秒二）二着有門昌利三着橋本福松▲一着入江猛（一二秒二）二着森高殖、三着加藤竹三郎▲益田茂（一二秒）二着伊藤信一、三着長沼貞藏▲一着大久保通（一二秒二）二着小川榮一三着小山庄太郎▲一着峯好松（一二秒六）二着國東正路、三着永田榮三郎

同（一般二十六歲以上三十五歲）▲一着江頭猛（一二秒一）二着高橋愛二▲一着佐藤愼一郎（一二秒二）二着渡邊太郎、三着境濱松▲一着本田繁喜（一二秒…

同（一般三十五歲以上）▲一着綠川郁三、三着持原茂三）二着田中市太郎（一二秒）二着上野五郎、三着木村秀四郎▲一着川野二一（一三秒）二着江頭千幹、三着笠原千春▲一着小島吉一（一三秒三）二着中須賀嘉男三着谷川唯政▲一着鈴木新五郎（一二秒四）二着岡島貞一郎、三着宮原市松▲一着二宮繁（一一秒八）二着外山滿男、三着恩田明▲首藤角馬（一二秒六）二着藤本修三、三着宮内民平

同（一般三十五歲以上）▲一着細野俊郎（一二秒五）二着小倉豐、三着安富直一▲一着島田行正（一二秒七）二着吉留惣能、三着工藤國之輔▲一着小黑磐（一三秒二）二着河岸數太郎、三着青瀨梅太

八百米（學生）▲一着宮城金友（二分一二秒）二着岡見惠介三着小林滿洲吉▲一着竹園正繼（二分一〇秒三）二着奧井正三、三着山口正一

同（工專）一着川口與四郎（二分一九秒二）二着笠原七郎、…

同（一般十七歲以下）一着吉野加生（二分二〇秒八）二着鶴田滿洲男、三着秋房石之助

同（一般十八歲以上二十五歲）▲一着萩原貞夫（二分八秒二）二着田代正利、三着岡田正一▲一着山崎竹次（二分十五秒八）二着志水政一、三着内田史郎▲一着曾田堯（二分十八秒二）二着大塚久雄、三着岩井馨

同（一般二十六歲以上卅五歲）▲一着良武夫（二分十三秒二）二着並川友吉、三着新城弘三▲一着渡邊喜一（二分三四秒二）二着村山俊夫、三着金井義雄

同（一般三十六歲以上）▲一着笹岡重龍（二分三三秒）二着菅澤兵太郎、三着奈良祐吉

提灯競走（一般十七歲以下）一等田中大助、二等安部貢、三等辻侍郎

同（一般十八歲以上二十五歲）▲一等宮本仁三郎、二等後畑都二、三等平野芳夫▲一等神庭多助二等嵯鎌進、三等杉本末造▲一等松島要作、二等野田、三等櫻井元男

同（一般二十六歲以上卅五歲）…

同（一般三十六才以上）一等外山包男、二等岡松三郎三等金井文男▲一等首藤角馬二等横山早人、三等諸藤勲二▲一等中島國雄、二等今泉忠次、三等坂井貞二

同（一般三十六才以上）一等是枝晋一、二等藤井嘉平次、三等小野儀一▲一等伊藤豐政、二等安富直一▲三等西川國一

五千米競走（學生）▲一着岩佐勇一（一八分一六秒三）二着丁平和、三着高須四郎、四着今村次郎、五着永井卓三、六着浮田京一、七着閻承寬、八着松添平治、九着片岡芳雄、十着深堀輝雄

岩佐終始先頭を切りラストヘビー物凄く二着を約三百米離して勝つ

同（工專）一着呂原義克（一九分六秒五）二着小池忠勇

五千米一般競走　一着志水政市（一七分二一秒五）二着山崎竹次郎、三着大塚久雄、四着岡田正一、五着並川友吉、六着近藤庄作、七着村野保、八着曾田堯、九着水野梅雄、十着島本一男

志水、山崎、大塚は各々二百米の差で順次ゴールに入る（以下明刊）

フイールド競技成績

砲丸投（學生）一等白石春雄（一二米九三）二等橫石丸正（一一米五三）三等…▲一等加藤登（一〇米九三）二等毎熊國義（一一米六六）…三等平島健藏…

同（工專）一等淺村勝藏…一米三六）二等池田滿夫…三等吉田和夫（八米九…

同（一般十七歲以下）一等…邊合三郎（八米九〇）二等芳…（八米一六）三等萩原鐵雄

同（十八歲以上二十五歲）一等大久保勇（一二米〇八）二等…敬藏（一一米二一）三等木原…（一〇米四五）▲一等石丸晃…一米三七）二等中村正夫（…三等鷲見勉（一〇米六…

同（一般二十六歲以上三…）一等野々村剛（一一米…二等上田敏郎（一〇米八一）…常岡寅多（一〇米三六）

同（一般三十六歲以上）一…村稻美（九米六八）二等島田…

哀し畑大將の靈柩　けさ官邸に入る

遺族や文武大官に護られて

畑大將薨去の報傳はるや一日午前八時太田長官夫妻、厚東要塞司令官、西山總務部長、神田大連民政署長、二宮憲兵隊長、渡邊重砲兵大隊長、大塚在鄉軍人分會長を始め小林秘書官、日下文書課長その他いづれも靈柩を安置せる將校病院に參向拜禮、午前九時十分に至るや三宅參謀長以下各幕僚に護られ柩車には奕一、賢二の兩令息同乘、數臺の自動車にて官邸に向つたが旗順衞戍病院長以下一同は衞門北側に整列見送つた、靈柩は午前九時三十分新市街日進町の官邸に到着、すい子夫人をはじめ家族並びに仙石滿鐵總裁以下多數弔問の人々出迎へ裡に柩車は邸内階下大廣間に安置され此處にて再び家族一同並びに太田長官、仙石滿鐵總裁、厚東要塞司令官以下弔問の文武諸星のしめやかな禮拜が行はれ本年十二歲の末子岩雄君や十三歲の芳子さんの玉串禮拜などーしほに弔問客の涙を唆つた

葬儀は來る四日　舊市街偕行社にて

葬儀は陸軍葬儀令により厚東要塞司令官管理の下に嚴かに執行される筈であるが、日時は四日正午より官邸において出棺祭、同一時出棺、靈柩は舊市街偕行社に移されて同二時半より大連出雲大社の祭司にて神式により本葬祭を執行、終つて四時より五時まで一般の告別式を營まるゝ事となつたが、遺骸は旅順火葬場に於て茶毘に附せられる筈である

今曉關東に强震

居住民戶外に飛出す　水戶地方に相當被害

【東京一日發電】今曉三時頃東京地方に强震あり就眠中の市民を驚かし何れも戶外に飛び出した、震源地は茨城縣涸沼川上流地域で水戶地方に相當被害あり

弔問弔電

朝來引き切らず

一日朝の故畑大將の官邸には濱口首相以下各國務大臣、陸海軍諸將等より弔電續々寄せられ、長官、滿鐵總裁以下在滿知名士の弔問引きも切らず、官邸内はしめやかなる中にも大多忙を極めてゐたが、午前中の主なる弔問者は左の如くである

太田長官夫妻、仙石滿鐵總裁、厚東要塞司令官夫妻、神田大連民政署長夫妻、中谷警務局長夫妻、藤井工大學長代理、西山旅順民政署長、櫻井遞信局長代理光岡大谷光瑞代理、久保田駐在武官、田中大連市長、中村旅團長、森本地方法院長

遣米婦人歸朝

【東京卅一日發電】時事新報派遣の遣米答禮使一行は卅一日早朝龍田丸で歸朝十一時入京した

各國選手　けふ歸國

【東京一日發電】オリンピツク參加の比島選手百六名は橫濱よりコレスエロ號にて一日午後神戶着、中華選手百二名は一日午前六時半日光へ向ひ印度選手は三十一日夜急行にて日本選手と共に大阪に向ひそれ〴〵國への土產として下駄、傘、扇子、子供の自動車、電車等を買ひ込んで歸國の途に就いた

幌内炭礦大火

【札幌一日發電】三十一日午後二時二十分頃石狩國幌内炭坑市街地より發火（火元不明）忽ち大火となり水利不便のため幌内劇場小學校等約百七十戶を燒失同四時鎭火した原因取り調べ中

Z伯號消息

【レークハースト三十一日發電】ツエツペリン伯號は三十一日朝七時二十五分當地に到着した

大連郵便局の電線切替

大山通の新廳舍に移轉した大連郵便局では早速電信線の切替を行つた、何しろ滿蒙通信網の中心、約六十回線の電信線を持つのみならず大連無線電信局も併置されてゐるといふのだから此の切替には特に細心な注意を拂つただけあつてけさの零時から僅に二分間で切替を終り、二十分後には全線とも見事な成績で通信を開始した

陸軍大將從三位勳一等功五級畑英太郎儀病氣の處養生不相叶五月三十一日午後十一時廿五分薨去候間此段謹告仕候
追而來六月四日午後四時より五時に至る間旅順偕行社に於て神式により告別式相營可申候乍勝手本廣告を以て御通知に代へ申候
昭和五年六月一日
嗣子　畑英一
親戚總代　畑俊六　岩崎英藏　宇垣一成　鈴木莊六
友人總代　太田又弘　仙石貢　林久治郎

關東軍司令官陸軍大將從三位勳一等功五級畑英太郎閣下御病氣の處養生不相叶五月三十一日午後十時二十五分薨去被遊候間此段謹告仕候
追而來六月四日午後四時より五時に至る間旅順偕行社に於て神式により告別式御執行相成候
昭和五年六月一日
關東軍司令部　高等官一同

艶色生膽祕譚（129）

伊藤松雄作　河原緑亀太郎畫

迷へる羊（一）

妖婆お力の家を出た五三郎、懷には護符を、手には御神水を、辻駕籠をとばして、根岸の寮へ戻つて來た。

遠州の爺さんが辻斬に逢つて以來、晝の間も、おうかたは雨戸を閉してある。

裏木戸からこつそり入ると、

「五三郎かい？」

「へい、只今戻りました」

「おお、よい處へ……」

お仙は色紙型に切つた畫箋紙を部屋一杯にとり散らした中に座つて、紅筆染めて左近の繪姿を描きつづけてゐる。

「御精が出ます喃！」

「やつと九十九枚、これが描きあがれば百枚、念願が叶はうと叶ふまいとあとは出雲の神樣任せ、とにかく粂平内樣への申譯はたたう」

「ぢやアいよく御住居でもわかつたと云ふのかい？」

「いえね、かうなんでさア、ま、この御神水を頂いた上、護符をしつかりと肌身につけて下さいましよ」

そこで五三郎が巧に話しだしたは右近鬮川三人職座の上相談した計企であつた。

「口寄つてもなア恐ろしいもんでげすよ、何しろから、あつしが左近樣とぢかに逢つてお話ししたやうなもんで……」

「別段あの方に否やはないと仰有るんだね」

さすがにお仙ほんのり顔を赧めたものである。

「否も應もあるもんですか、先方樣も、それく大川の夜以來、姐御を滿更でなく思ひつめてゐたて え譯なんで、へい」

ないから大眞面目である。

「まづ五重塔で出逢ひ、それから此處へ御案内するてえ寸法に決めましたが、その百枚の繪姿、久米平内樣よりや當の御本人に姐御の實意をそのまゝお見せした方がと思ひやしてな」

「それもさうだねえ」

お仙はまつたくおちつきを失つてゐた。

「時に姐御今夜ひとつあつしにお暇を下さいませんか！」

「そりやお前これだけのお働きを見せておくれのあとだから何だけれど、遠州もあんなことになつたあとだし」

「まアさ、お淋しいなア判つてゐますが、是非そこんとこを……」

五三郎何を思つてか切りに一夜の暇を望んでゐる。

「まさか性惡な游蕩にでも出かけるんぢやアなからうねえ」

「どういたしまして明日の晩のこと、いはゞ確めてくるんで」

「うまく云つてるよ！」

お仙は五三郎の前へ小判を並べた。

「軍用金がいるんだらう。近頃物騒だから氣をつけておくれよ」

「えつへゝゝ」

と云ふものさ」

さう云ひ乍らも紅筆管ては丹念に似顔の眉を引いてゐる。

「姐御出雲の神樣よりやアこの五三郎、必ず左近樣にお逢はせいたしますよ」

「え？それぢやアお前目黒の……」

「へい、お力婆さん、近頃江戸で鬮一と云はれてる口寄せの巫女、そこをたづねてまいりやした」

「で――」

「まア、その一枚を描きあげてしまひなさいまし」

「ぢらすぢやないか、もうこれでおしまひだよ」

鼈龍斷睛瞳を、ポツツリいれると左近の似顔繪生々と躍動して來たをこれ見よと五三郎の前へ差出した。

「姐御これで百枚ですかい？」

「ああ！」

「ぢやアこれを粂平内樣へ……」

「さうさ！」

「ま、お待ちなせえまし、明日の晩にやア必ず左近樣がこの寮へたづねて下さらうてえことになつたんで」

「え？」

「粂平内樣は申すにおよばず出雲の神樣よりやア何つてつたつてこの五三郎樣々でさア」

「おからかひはよしておくれそんなことはないよ」

お仙は尼僧姿にはげちよろけた白粉の跡、生々しい唇紅そのいやらしい面影をさぞやさげすまれてゐたらうと未だに恥入つてゐるのだつたが、五三郎そこまでは知ら

麗人

◇◇麗人◇◇（全十八卷）帝國館上映、松竹蒲田作品、佐藤紅緑原作、島津保次郎監督、栗島すみ子主演、オールスターキャスト、島津保次郎氏の「レビューの姉妹」に次ぐ作品で、原作は東京日日、大阪毎日紙上に半歳餘連載されたもの、尚本篇には原作者の令弟サトウハチロウ作詞の歌が挿入されてゐる

本社主催の支那劇を始め

盛況をきはめた

さくやの各演藝館

昨三十一日の夜は最近まれに見る演藝界の當り日で、協和會館に於ては本社主催の下に章遏雲一行の支那劇大會があり、ヤマトホテルに於ては清元延榮龍師の名披露目演奏會、歌舞伎座に於て長唄杵屋正春師の同じく名披露目演奏會があり、同好者をして其選擇に迷はしめたが、結果いづれも皆大入滿員にてすばらしき好成績を納めたが、協和會館に於ては滿場の日支觀客いづれも章遏雲の妙技によひ、ホテルの清元會に於ては延榮龍師を立てを勤める所の「保名」延まさ代さん特別助演の「十六夜」等最も好評を博し、又歌舞伎座の長唄會に於ては榮一郎師の「岸の柳」紫竹會社中の「望月」それに「賤機帶」等が最も好評でいづれもさい先よき名披露目會であつた。

演藝會を控へて 惱む「響社」

不可解な大劇の態度

響社が二十五周年記念として大連檢番、逢阪組合、西檢番合同の演藝會を催すべく過般來準備を進め來る十四、十五の兩日大連劇場に於て開催する事に決定し劇場側とも期日其他一切の契約を正式に取交はし出演者に對してもそれぐ其の旨を通じて着々と準備を進めてゐたが、昨三十日に至り俄然大連劇場主柴崎時藏氏が前記契約を取消すと響社に申出て來た、とにかく響社としては既に期日をも確定し、之れを目標として各方面に宣傳を開始し出演者も其の豫定に向つてそれぐ準備中である際でもあるから此の劇場側の破約には文字通り狼狽して再三柴崎氏に對し交渉を行へるも同氏は强硬に之を拒絕し何等其の理由をも明言せず唯「都合により」の一點張りで、結局響社は出演者との間に入つて拔き差ならぬ羽目となつて居る

囁語

長年興行界に籍を置く大劇の柴崎氏が「ひびき」社との契約を踏みつけた事は興行界に在るもののゝ取るべき態度でないと評判が惡い▲演藝館の英澄氏、何か目新らしい所目新らしい所と、いつもねらつて居るが、今度は大衆作家大會と稱して、三上於莵吉、今東光、國枝完二と此の三人の原作映畫を並べるとの事▲松竹映畫に關する餘談網々、いまだに二三の人が館の新築にからんで色々な策動をつづけて居るとの事、▲昨夜ホテルへ清元を聽きに行つて先づあきれたのが聽衆のだらしなさ、椅子をがたつかせる、子供をなかす先づ聽衆教練が必要

試寫を見る

學生三代記

◇マキノ映畫、監督に阪田重則、松山定次、三上良三、マキノ正博並木鏡太郎、久保爲義のめんくをそろへ俳優はオールスターカストといふ陣容で製作された三部作である。春の大作としてマキノが誇るもの

天保時代

◇これは松本健二郎氏の原作脚色で、根岸、登六、新見、荒木、淺間の活躍する時代もの、寺小屋の娘を中心にナンセンスを見せたものである、タイトルはマキノ獨特といはんばかりに饒舌に語り「動物園」のやうだ「卒業」したぞとか「娘がおがるなら父親は與市兵衛だ」など思ひ切つたところを見せてゐるのは「浪人街」に我々を笑はせたところのマキノ・ナンセンスと相通じるものがある、根岸と登六の彌次喜多ぶりが見もので ある。

明治時代

◇これはまた映畫として本格的な――これだけでも三部作から離して得られる作品である。書生道華やかなりし頃の四人の法律書生と法律學校長の娘の純眞な戀、弊衣破帽、鐵拳制裁、ランプ、人力車、矢場、女義太夫、銘酒屋、ピンヘツトやサンライスを賣る煙草屋の娘――といふやうな明治的な材料をそろへて、これはホロリとする物語りである。

◇原作のよさもある、法律書生のスポークン・タイトルのごとき、なかなかにしやれたものである。しかし監督としての正博氏はこゝにまたよき腕を見せてゐる。智子が娘靜子――南の唐牛、中根の東郷の國島――この三人書生の大柄なのがうれしい限りであり、中根のユウモラスな味もまたさらに特筆すべきものがある。河村といふ同じ法學生で實貌のため靜子との間を疑はれ、破門され自棄に陷いる役は國太郎である、ラストの無頼漢との果し合ひもおもしろい大林の銘酒屋の女はうまくなつたものである。カメラもよかつた。

昭和時代

◇これはスピードとナンセンスとの短篇ものを、モダン學生風俗レビユウと稱して八つまとめたもの「パレシアのうた」「花束」「下宿」「工場」「メダル」「ストップ・ウオッチ」「野球」「自動車」――そのうちで「野球」のナンセンスがいい短篇ばかりなので、まづ俳優の顔見合といふところもある、ロケの選定を東京にし新青年趣味をもつともりこんだならさらに昭和時代的になつたらうと惜はれる。

當る卅一日、一日二日の三日間　於協和會館
章遏雲一行支那劇
讀者優待割引券
本券持參者に限り割引
一般一圓五十錢、讀者一圓
主催　滿洲日報社

演藝日記

▲五月三十日　車馬の交通遮斷を食つた常盤座、其の後興行成績に大いに影響ありと極力其の筋にタンガンした結果、やつと常盤座兩側の交通だけゆるされる事になつた。昨夜は「金」の試寫が十卷、今夜は「麗人」十八卷、明夜は「學生三代記」十九卷の試寫、映畫雀此の處ダアー

ラヂオ

大連 JQAK

六月二日午後七時卅分

▲ニュース
▲露語講座　第四十課　大連語學校グロースマン
▲講話「臺灣果實に就て」臺灣總督府地方技師入鹿山成樹
▲レコード　競奏曲ラクマニノフ氏作、第一樂章、第二樂章、第三樂章
▲義太夫　義經千本櫻鮨屋の段　太夫岸三光、三味線豐澤國住

東京 JOAK

六月二日午後六時二十五分

▲商業ニュース　靜岡縣行幸記念第六日
▲料理獻立
▲ラヂオ體操
▲自午後七時特別ニュース
▲自午後七時五十分琵琶「橘大隊長」中澤錦水
▲朝鮮古代音樂　（一）念佛（二）打鈴（三）軍樂（四）界面（五）雨淸（六）羽調（七）散調獨奏（新羅樂）朝鮮正樂國一行樂士李彥稙外八名
▲室内音樂　ピアノヴアイオリン二重奏、ヴアイオリン安藤幸子ピアノ、レオ・シロタ、ソナタ第二番作品三六A（ブグー作曲）

文藝

踊り場・空し(下)

横澤宏

A+C、じつとBの狂しそうな姿を眺めてゐる。次第に暗くなる、と同時に次の部屋で扉の閉ぢる大きな音がする、突然次の部屋から大きな話聲が聽こえる——この時、舞臺は全く暗く——軈て狂暴なジヤツバンドと共に舞臺あかるくなる。

AとBは居ない。

Cが一人、窓から外をのぞいてゐる。

A、紳士を連れて登場。紳士は堪らない程醉つて何か始終ぶつぶつと呟いてゐる。

A、おや!しつかりなさいよ。

紳士、だ……だい丈夫さ。解つてるよ。わしには何にも彼にも、解らないつてものがないん——だ。

し……しかし、だな。酩酊は——した。したよ。それも……つまり、なんだ!

わしの妻がした、した、したといふ話さ。憚くことはない。世界は今や貞操を失ひつゝあるのだ。世界はへゝゝゝそんな黴梅なんだぜ。淫賣も名譽にならうよ。

C、突然振りかへつて紳士を見据える。ひんしゆくする。

A、まあ、いゝぢやありませんか?

紳士、おつとつと……わしは淸教徒だ!(眞劍に)わしの妻はニコラス大帝の遠縁にあたる、やんごとなき家柄の娘だつた。そして、わしは市役所の下らない傭人ではあつたが、わしは其の娘と——考へて見て呉れ!

A、おや!おや!この男は泣き上戸なんだよ、本當に!

紳士、よ!買はう!

A、なにを、よ。

紳士、泣きやまぬ靑愁の名殘が、おまへの身體を買ふ、といふ話さ。

A、身體を?

紳士、いや、心身を!

A、眞ツ平だよ。

紳士、(哄笑)

A、留は、なんだよ、脱脂綿にやあならないんだからね。考へて物をお言ひよ。

紳士、ルーブル!

おい!ルーブルだつて!おゝ、なんて懷しい言葉だ!わしは、もうあれ以來其の言葉にうえてゐた。その言葉にこがれてゐたのだ!わしは、その言葉を一切きかなくなつてから初めて、ロシヤ人だつたことに感づいたんだ。

ルーブルを見せて呉れ!

おい、ルーブルを見せて呉れ!

あの——手觸りつたら……

おゝ!畜生!咽喉がかわいて來やがる!

わめきながら紳士はAに引きづられて退場。

ロシアよ!ルーブルだ!おゝ畜生!ぞくぞく……ス!わしは死んで了ひそうだ!悪感がする!おい!ルーブルを!ルーブルだ!

C、(悲しげに紳士とAを見送る)

B、(うなだれて登場。この時分次の部屋は元のように靜寂である、B、Cの後姿を見ると一寸狼狽する。靜かに見つからないように別の扉から出ようとするそれから再びCをかへり見る。何か氣拙いような風で……思ひ切つて)ねえ!

C、(一寸ふりかへるが復そつぽを向く)

B、もう誰も來やしないわ——蛇度(なるべく沁々と)一緒に寢みませうよ。

C、……。

B、あんた、おこつてンの?

C、……。

B、どうにもならない事で、それにそれだけの事を何時迄もくよくよと考へるものぢやあないわ考へることより他人に考へさせるようなことをするのが賢いんぢやないかしら?さあ——一緒に寢んで頂戴な。何んだか寂しくなつて來たわよ

C、……。

間、やがて次の部屋からAの哄笑がつたはる。

CB、おゝ?

二人、顔を見合はす。それから氣拙づそうに、それでも微笑し合ふ。間。

A、登場

A、ちよつと——(笑ふ)可笑しくつて……涙が、涙がでるわ。(笑ふ)あの男は變な癖があるのよ(笑ふ、堪らないと言つた樣子)

B、どうしたの、よ。

A、(笑ふ)だつて……。

C、(難しい表情から次第に笑顔に崩れだして行く)

A、おかしくつて……まあ……斯うなの(笑ふ、言葉がでない)

B、おかしな女!

C、(笑ふ)

B、(笑ふ)

A、B、C一緒になつて笑ひこける。

A、(笑ひながら)あゝ、お腹が痛い!(じつ、と堪へる所作)もう……もう、笑ふにも笑顔なんかでやしないわ。

三人、笑ひながら丸い卓子に最初と同じ位置で腰をおろす。次第に三人の顔から笑ひの影が消へ失せて——同時に鳩時計が三時を打つ。と、笑ひは完全に影をひそめ、三人の顔は漸次厳粛な表情と變化する。間。

A、もう三時だわね(間)いつそ今夜は斯うして三人で話し明しませうよ。ね?何んだか滅入るような氣がして仕方がないわ。さあ(BとCに)何か話して頂戴!ね(惱ましそうに)ね。お願ひだから。

B、……。

C、……。

A、さ、お願ひだから。

B、……。

C、……。

A、ねえ!ねえ、つて!

B、……。

C、……。

A、卓子に顔をうめる、BとC無言。久らく。氣分に弛みをいれないだけの長い時間、三人共無言。

やがて——よき所にて。

(幕)

(昭和二年四月)

ラヂオ露語講座

大連放送局六月二日午後七時

講師大連語學校グロースマン

СОРОКОВОЙ УРОК.

A.—Где вагон второго класса.
K.—Вам какой,—для курящих или для некурящих.
A.—Для курящих. Но у меня плацкарт.
K.—Плацкартный вагон вот этот.
A.—Проводник, где мое купэ.
П.—Пожалуйста, покажите билет.
A.—Вот.
П.—Ваше купэ номер три, третья дверь направо.
(A. входит в купе и занимает уже приготовленное место носильщиком).

第四十課

A.—二等の車はどこですか。
K.—貴方はどんな車ですか喫煙車ですか禁煙車ですか。
A.—喫煙車ですけれども私は寢臺券を持つてゐます。
K.—寢臺車はこゝです。
A.—ボーイ,私のクペーはどこですか.
P.—どうぞ切符を見せて下さい.
A.—これです.
P.—貴方のクペーが三番です第三番目戸を右に.
(ア Aはクペに入りますそうして赤帽のすぐに用意した座席を取ります).

今西氏創作陶器

河上八十次

今西洋氏が突如として大連に現れた、そして六月二、三の兩日社員倶樂部で作品を展觀すると云ふ「僕達には先生と云ふものがない若し强て先生を探せば方々で拾ひ集めた燒物のカケラだ」長崎波佐見村の山中にある古今里の窯場で此の春富本憲吉氏と會つた時二人はこんなことを話し合つたと。

——こんなカケラにばかりに囚はれてゐては、佳いものは出來ない棄てしまえ——斯う考へて今西君は長い間蒐めた陶磁器の破片を一さいがつさい棄たことがあるが遂に古井戸を一つ埋めたと云ふことである、今西氏の先生はカケラであつた。

併し今西氏は、富本氏が奈良を引上げて東京に窯を持つやうになつてから、日本全國の窯場巡りを思ひ立ち中央線の多治見、尾張の瀨戸を振り出しに近江、伊賀、丹波、鳥取、長戸、博多、佐賀、長崎と今春に至るまで三ケ年半各所の窯場で製作をやりながら巡つたのである。

× ×

現代の機械化された冷たい陶器類を昔のやうな精神的な親みのあるものに取り返したい、朝夕常に接する食器類や其他のものに對してよくも一般の人は我慢してゐる僕は不思議に思ふ程である、と今西氏は云つてゐた。機械化、商品化された現代の陶磁器、又家傳を機械的に踏襲するのみで些かの精神的な情味のない多くの陶器の中に今西氏の作品を見出すことは愉快なことである。

× ×

又、今西氏は模樣繪に就て——多くの燒物の繪は紙に描く繪を其まゝ燒物に持つて行つてゐる、紙に描く繪と燒物に描く繪とは全然違つてゐる、燒物には燒物にしつくり合ふ樣に圖案化されたものでなくばいけない——と、氏が此度滿洲に來た目的は二つあつて一つは支那の燒物を見たり蒐集したり又其の道の研究家に會つて話を聞き度いと云ふのと、一つは滿洲や朝鮮の自然に接し模樣繪の材料として寫生したいと云ふのであつた今西氏は常に古い陶器のカケラを探してそれを見るが又常に自然を探して自然を見る、斯くして其模樣繪は陶器獨特の又氏獨特の圖案が創造されるのである。

× ×

今西氏の作品の姿には親みの他に落ちつきと安定がある「僕は僕の好きな形を作つて行きたい、或は其の形は何處かで見た他人の作品の再現であつて僕の創作でない場合があるかも知れないが、そんなことを詮議立てしてゐたところが仕樣がないから、僕は僕の好きな形を好きな形をと作つて行きます」

又厚くて重みのある茶碗を抱へて「元來陶器類は碎れやすいものである、それを薄く作つて置くとそれを持つた時に碎はれはしないかと云ふ不安を起させる、お茶でも飲む場合は大抵働いた後などで安樂にしたい時であるのに斯う云ふ不安を起させては樂しく安息することだ出來ない、で僕は成る可く厚く作るやうにしてゐます」と

今西氏は自分で土を捏ね自分で轆轤を廻し自分で模樣を描き自分で燒く、斯くして今西氏の作品には氏の全人格が表現されてゐる。

(寫眞は今西洋氏作向つて左から、鐵繪芍藥、朝鮮薊、轆ぬき柳)

片假名詩篇

柄澤津也

父よ彼らを赦し給へ
その爲す所を知らざればなり
十字架の下に嘆く二人の使徒たち
あゝゴルゴタの陽は血の色だ

× ×

病に饑えた身をそぞろに運び
散りつくした櫻の下に詩集をひもどく
知らずの中に春は來たのだ
すべてが甦へる大陸の春
あゝ私は好きだ、この大陸の春

× ×

靑葉茂る並木のかげに
チラホラ見ゆる日傘の下に
柔かい春の陽は照るよ
乙女の胸は柔かく赤くおどる
あゝ陽は照るよ血の色に

短歌批評(三)

池內赤太郎

◇

熱ひかねば思ひ感ひて効くといふ金魚の肝を吾兒に飲ましむ　加藤鐐氏

第一二三句ごたつく、猶言へば第二句不要である。第五句に調子が出てゐない。成功の歌ではなからう

妻子らを病院におきて春淺き夕べ厨に物音さする　同

第三四五句に對し第一二句騷がしい、第三句不要、矢張り第四五句は借物であらう。

◇

瀧霧の流れてやまぬ山の上の小松が原にぬれぬ小松は　原眞弓氏

一首を貫く情感が强く現はれて來なければならない。それがないのは單純にいつてないからである。「小松が原にぬれぬ小松は」は拙い

山の上の靑草原をかすめ飛ぶ霧のゆき早く夕づきにけり　同

第四句の「ゆき早く」全く不要であらう「山の上の靑草原をかすめ飛ぶ霧の夕づきにけり」だけでよいのである。これで「霧の夕づきにけり」が生かされたらよいと思ふ。この歌では死んでゐて同感に導き入れられない。

◇

山ざとの春うららなり家ごとに杏の花の咲きさかりつゝ　河瀨松三氏

第二句の情緒が一首の生命となすべきである。から表面に露はしてしまつては殺風景である。なぜ「春うらゝなり」と感じた事象を捉へることをしなかつたであらう。それを捉へて寫生が要領に入れば自ら春うらゝなる歌になるではないか。

羽根蹴りて娘等はあそべり梨の花ほのかにほふ庭なかにして　同

第一二句に力が這入つてゐて注意がそこに惹きつけられてゆく。それが第三句で突き放されるように解放されてしまふ。第三四五句が平面描寫で結局說明だけにしか働いてゐないことが直ぐと感じられるのである「ほのかに」も利いてゐない「梨の白い花が咲いて居る庭で羽根を蹴り蹴り支那人の子供が遊んでゐる」と言ふところを歌はうとしたものと思ふがこの作者の初め頃の素直さが最早失はれた感があつて甚だ遺憾に思ふ。

◇

再び連翹ぞ咲ける飯食むとただに生きたりこのひととせを　城所英一氏

自が自信足らぬ暗さに耐へながらひた縋る子を抱きあげにけり　同

言葉だけのもので內に湛へたものがない。從つて言葉に力の入つて居るもの程餘計に空虛を感じる。これでよいとするものがあるなら歌の調子などどうでもよいといふことにならう。第一首第一二句「再び連翹ぞ咲ける」と聲を張りあげて一體この結末がどうつけられるであらう。元來歌の第一二句は極醜い出方をするのが短歌形式の性質上普通でなくてはならぬ。それを押切つて最初から强く高く踏み出す場合でも下にゆく程調も內容も一段と强くなり高くなりしていつてはじめて體をなすのであつて、理に要るところはない。そこがどういつて居るかと三句以下を見ると「飯はむとたゞに生きたり」であつて忽ち空虛感が起つて來る。而も肝腎要の第五句が「このひとゝせは」である。これだけでも平凡極まつて居るところを「たゞに生きたり」と云ふ大業な言葉を承けての「このひとゝせは」であるから平凡を通り越してスカタンを喰はされた感がするのである子規の言つた頭重脚輕である。皮殼にさまよはずぐんぐん內に向つて突き進んで貰ひたい。

第二首第二三句はこころもち甘りくどい說明に止まつてゐる。ここを抽象的に表はさなければ甘いと云ふばかりでなくこの歌生きないと思ふ「ひた縋る」も言葉が甘立つて感情の添つた言葉になつてゐない。

總裁宮お手づから

「天皇賜杯」日本軍に授る

卅一日夜いと盛大に擧行された 極東大會の閉會式

【東京卅一日發電】輝く五月の大空の下に日、比、中、印四國代表選手六百餘名が各母國の名譽をかけて火花を散らした第九回極東選手權大會は、數多の新記錄と國際親善の功績を殘して卅一日その歷史的終幕を降ろした、日本は選手力闘の結果、陸上個人、同混成、野球、庭球、水泳の五選手權を獲得し、蹴球は先進中華と引分け選手權を保留し僅に排球を中華に籠球を比島に讓つたのみで遂に榮ある極東大會に優勝の月桂冠を贏ち得た、かくて我が軍の快よき凱歌の裡に卅一日午後七時日本青年會館に於て盛大に閉會式は擧行された、式場に當てられた青年館講堂には正面に日、比、支、印四國の國旗とその下に白、青の幔幕を張り廻し卓上には菊花燦として輝く天皇賜杯を中央に大、小五十餘個のトロフイーが列べられ中央に日本選手、左側に比、支、印三國選手、右側に大會役員が着席して二階三階には一般參觀者が滿ち〳〵てゐた、午後七時十分秩父總裁宮殿下台臨あらせられ岸會長、田中副總裁の挨拶の後中華代表張伯苓、比島代表フハルガス、印度代表ムカヂー氏それ〴〵挨拶を述べ、かくて君ケ代の嚴かな奏樂裡に 天皇賜杯は秩父宮殿下御手づから日本代表選手織田幹雄氏に授けられ、次で五十餘個のトロフイー及び賞品は岸會長より各選手に授けられ終つて萬歲を三唱し式を終へた

畏し役員選手に 秩父宮謁を賜ふ

新宿御苑の御招待會

【東京三十一日發電】三十一日秩父總裁宮殿下の御招待に預つた四國選手役員一千餘名は午後四時新宿御苑に參集した、殿下にはモーニングにシルクハットの御輕裝で、薄色アフタヌーンドレスを召された妃殿下と御同道岸會長以下を從へさせられて一列に並んだ役員選手に謁を賜ひ設けの御席に着かせられ一同に茶菓を賜つたが、この日岸會長同夫人令孃、平沼副會長、田中文相、丸山總監、比島代表フハルガス氏同夫人、中華代表張伯苓氏、印度代表ムカヂー氏等は兩殿下とメーンテーブルに着くの光榮に浴したかくて殿下は各競技優勝者を一々御引見後午後五時御機嫌麗しく御歸還遊ばされた

日本大差を以て 水上選手權獲得

總得點六十二、比島は二十點

【東京三十一日發電】極東大會最終日の水上競技第四日は午後一時からの公開女子二百米平泳ぎを以て開始されたが、氣溫二十九度水溫二十四度でコンデイションも頗る良好、この日秩父宮殿下には妃殿下御同伴、次で澄宮殿下、北白川宮殿下も台臨御熱心に台覽遊ばされた、比島最後の奮闘目覺ましく殊に二百米平泳ぎではイルデフオンソ。アヂヤルは常勝の日本のピカ一鶴田を破つて氣を吐いたが大勢は如何ともする能はず日本は更に四百に全勝百に大勝して得點を大にした、斯くて四日間の總得點日本六十二點、比島二十點、中華四點で日本優勝し水上選手權を獲得四時十分君ケ代奏樂裡に日章旗が揭げられた

二百米平泳決勝に 強豪鶴田敗る

一着イルデフオンソ

一着 イルデフオンソ(二分五三秒)
二着 アヂヤル
三着 鶴田義行
四着 塚原茂樹

アラサドが少し遅れたのみにて一齊にスタートし五十米鶴田イルデフオンソ馬渡ヂキラムの順、八十米邊でイルデフオンソ鶴田をリードし百米ターン後鶴田急ピッチでイルデフオンソを追ふ百五十米ターンでイルデフオンゾ鶴田を引離しヂキラム又鶴田を抜き、塚原は最後の五十米で猛烈に頑張り馬渡を抜いて四着比島は見事に得點を得て日本三點、比島八點、中華零點

高石一着

百米自由型決勝

一着 高石 勝男(一分〇秒八)
二着 宮本 武夫
三着 ウルカ
四着 伊藤 英逸

水泳男子百米自由型決勝はウルカ、ヂヤカリア、フライングー回の後スタート三十米迄高石、ウルカ心持ちリード、五十米で高石ウルカを半米抜き大接戰、高石ターンよく其の儘リードして一着、ウルカは六十米で稍々疲れ二、三、四着の差は僅かで決す、宮本は五十米後よく力泳しアリ佐田を抜き二着とタッチの差で勝ち二着(日九點比二點)

武村優勝

四百米自由型決勝

一着 武村 清 五分二秒四
二着 米山 弘
三着 田中 一夫
四着 安田 米吉

四百米自由型は見事なスタート武村、米山、田中一線となつて五十米をターン、百米を武村、米山一分十一秒でトップ、田中よく追ひ安田テユプラン雁行して追ふ、二百米は二分二十七秒にて武村、米山を約一米リード田中よく米山に次ぎ三百米は武村三分四十四秒二米山との差を大にし其の後は確實に泳いで一着、五米遅れて米山二着、二、三着の差七米、三、四着の差十米、史興隆は三百米で安田より五十米遅れた(日本十一點、比支〇)

水上公開

男子五十米自由型 決勝
一着 龍野佐一(二十七秒六)
二着増田佐武郎、三着坂本新、四着早川貞正

男子二百米背泳 決勝
一着 鈴木正雄(二分四九秒六)
二着根來幸成、三着伊澤嘉之助
四着河津憲太郎

女子二百米自由型 決勝
一着 市口男子(三分二秒六)
二着隠岐美根子、三着宮崎百合江、四着小澤敏子

女子二百米平泳 決勝
一着 前畑秀子(三分十六秒八)
二着田端百千、三着渡邊やす子

女子二百米背泳 決勝
一着 久原寛子(三分卅一秒四)
二着生田美代子、三着南ミヤ子
四着高野滿江

男子高飛込混合 競技決勝
六五點七八 岩切盛行
六五點六八 水谷泰夫
六四點五四 井上一郎

拳鬪公開

決勝

▲フライウエイト
山本保雄(ポイントアウト)村上清信
▲ライトウエイト決勝
黄乙秀(ノックアウト)小林廣
▲バンタムウエイト決勝
海老澤清(ポイントアウト)グレー

拳闘を國際競技 不適當といふは謬見

日本拳闘聯盟が聲明

【東京一日發電】フイリツピン拳闘チームコーチの聲明に對し全日本アマチュアー拳闘聯盟は卅一日夜左の如き聲明書を發した
今回の拳闘競技につき期日打合せ不充分等のため比島軍の棄權を見たるは遺憾である、極東大會に拳闘の參加を見たるは今回を以て嚆矢とする、吾人は今後還次の大會に鑑み最善の努力を拂ひ拳闘は闘爭性を挑發するを以て國際競技に不適當なりとの後の謬見を根本的に排除せんと欲す

拳闘で紛糾 比島側退場す

【東京三十一日發電】極東大會オープン拳闘バンタムウエイト決勝海老澤對グレー(比島)の試合に於て審判はポイントにより海老澤の勝を宣したところ、比島側はこれを不當として抗議し遂に退場するに至り、又フライウエイト決勝村上對山本の試合にても審判が山本の勝を宣するや觀衆は誤審を叫び滿場騷然となり遂にレフエリー宮澤は辭任を申出る等の醜態を演ずるに至り、遂に最後の岡本對パデイラ(兄)の試合は不可能となつたので觀衆は入場料を返せと叫び審判側の陳謝に依つて漸く解決したが、かゝる國際競技に紛擾を起したことに就いては大會の歷史を汚すものであるとして非難されてゐる

拳闘等位決定

拳闘は左の如く等位を決定しフライウエイトは問題ありて未定
▲バンタムウエイト 一等海老澤清、二等ジョン、グレー、三等中尾明、四等高木彰
▲フエザーウエイト 一等岡本不二、二等パデイラ、三等牧野顯 四等オスロザ
▲ライトウエイト 一等黄乙秀、二等小林廣、三等森上義雄、四等フロレンチノ
▲ウエルターウエイト、一等綱野松男、二等カーロス、パチラ、三等洪胤禎、四等多賀安郞

國旗染抜の 提灯寄贈

各國選手に對し

【東京一日發電】中華、比島、印度の各國選手に初めてお宿をした日本青年館では愈々お別れとなつたので館員達は何等か好意の印を贈らうと智慧を絞つた揚句、館の入口に揭げてあつた三國の國旗を染め拔いた大提灯をそれ〴〵國の選手に贈つたので選手連も非常な喜びである、殘る日章旗の大提灯は赤丸の中に「勇士トリビオに贈る」と認め館員の某がトリビオの似顔を墨繪で書き上げ館員が署名を連ねたのを添へて贈つたので跳躍王トリビオ君も國への絕好のお土產だと喜んでゐた

大會入場者

計四十八萬人

【東京三十一日發電】極東大會八日間の總入場者は陸上二十五萬人(五日間)野球十二萬人(六日間)籠排球六萬人(七日間)庭球一萬人(六日間)水泳四萬(四日間)計四十八萬人に上り、入場券の賣上高は團體その他特別割引をこめて總額十二萬圓に達した

署內の和を圖つて おほいに能率を擧げる

新大連民政署長神田純一氏 卅一日夜歸旅の途車中で語る

特別議會に政府委員として上京中の關東廳內務局長神田純一氏は歸任の途中大連民政署長に轉任の辭令を發表され、三十一日二十時三十分着列車で着連したが、途中瓦房店まで出迎へた記者に對し大要左の如く語る
大連民政署長になる事は上京前既に長官から

交渉が あつた、畢竟民政署の土地不正事件に關し「君が行つて一つ廓清の實を擧げて貰ひたい」と云ふお話があり自分としても監督不行屆の責があるのでお引受けした次第である、例の土地係は今の處主任始め係員の大部分が兼務になつてゐるが、大體に於て現在の顔觸れで陣容を整へたい、署內の人事異動も進んで行ひたくない、民政署長としての抱負經綸?ソレは無いでもないが民政署には獨立した

豫算が ないので別に仕事も出來ない狀態にある、自分としては署內の人の和を圖り大いに能率を擧げて諸君の御期待に添ふやう努力したい、なほ金州普蘭店、貔子窩各民政支署を本署に昇格する官制改正は拓務省の審議も濟み今頃は多分法制局に廻つてゐるから近く實現するであらう
因に神田民政署長は大連より自動車で歸旅、二日午後二時水谷署長代理と事務の引繼ぎを行ふ筈である
氏の內地轉勤は考慮の意嚮はあるやうにも聞いてはゐたが、民政署長就任まだ日が淺い、昨今左樣なことは萬々無いものと信ずる

神田民政署長は 近く內地知事に

近く地方官異動の際

【東京一日發電】大連民政署長神田純一氏は嚮に關東廳內務局長の職より現職位に轉任の交渉を受けた時近き將來內地の地方長官更迭の機會を見て內地の知事に榮轉せしむるといふ條件附で轉任を受諾したものであるので今回東京市助役を地方長官より選任する結果長官中に缺員を生じこれが補充のため地方長官更迭の行はるゝ時は神田署長も內地に榮轉するものと觀られる

關東廳は否定

神田大連民政署長の內地知事榮轉說に關し關東廳の某高官は左の如く語つた
全然誤聞です豫て太田長官も同

陶器展覽會

滿鐵社俱で

新進陶器家今西洋氏の創作陶器展覽會が二、三の兩日滿鐵社員俱樂部で開催される、今西氏は斯界の第一人者富本憲吉氏と共に奈良の窯場にあつて二十年間研究を續け最近約四ケ年は日本全國の主なる窯場を殘らず遍歷して行先々で製作し聖德太子展には五點出品して悉く無條件に入選した、氏の作品は職業的陶器家と違つて全部自ら土を担ね轆轤を廻し圖案を描き且つ自ら燒きつけたもので藝術的雅致と獨創に富んだもの許り、今度支那朝鮮の古陶器の研究と風物の寫生のために來連したのを機とし宇佐美寛爾、石村誠一、丘襲二氏等同好家の蹶起で展覽すること、なつたのである

鮮人に立退命令

北滿侵略の先驅と誣ふ

【長春一日發電】吉林省寧安で永く居住し水田を經營し居る鮮人朴成三外四戶十三名の男女は無法にも支那官憲より立退を命ぜられ聽かざれば生命財產も危險なので長春に引揚げ來り鮮人居留民會の世話になり本日領事館に事情を具陳したが、彼等は悉く支那に歸化の手續を採つて居る者で放逐の理由は鮮人は日本の北滿侵略の先驅者であり且つ其の多くは赤露又は中國共產黨と氣脈を通じて居ると言ふに在る、拓務當局が在滿鮮人に歸化權附與を決定したに際し支那官憲の此の態度は鮮人間に多大の衝動を與へてゐる

屋根瓦は落下し 壁には龜裂

水戶地方は稀な强震

【水戶一日發電】一日午前二時五十八分卅二秒水戶地方稀な强震あり市民は何れも戶外に飛出し時計の振子は止まり棚のものは落ち器物の水はあふれ處によつては瓦の落下するもの戶障子の倒れるもの壁に龜裂を生じたもの尠からず人心洶々として居たが人畜には被害は無い水戶測候所は左の如く發表したが同所開設以來の强震である と

一日午前二時五十八分卅二秒强震を感得す振動强震の强性質急震源地は水戶附近らしい器物の液體溢出、時計止り棚のもの落ち戶障子、安定の充分のもの倒れ又屋根瓦落ちしものある程度にて大した被害なき見込み震幅は八十二ミリ五であると

關東地方の 强震程度

【東京一日發電】一日早曉三時頃東京地方に强震あり市民は何れも

各地の被害

震源地方の狀況左の如し

土浦 午前三時頃强震あり二行地附近は地面に龜裂を生じ水が湧出するの珍現象を呈し瓦斯埋沒管に故障を來し町民は朝餉の

水戶 震源地茨城縣地方特に水戶を中心として相當の被害あり棟瓦墜ち窓硝子の破壞等あり棚の置物等は何れも落ちてしまつた瓦斯に困つたその他煙突の傾いたもの所々にあり人々は何れも戶外に飛び出したが人畜には被害なき模樣

東京地方 被害は午前九時半までに警視廳に達した處によれば電柱の傾倒電線の切斷瓦斯管の破裂水道引き込み線の破裂の被害は各所に起つたが人畜に被害なし

宇都宮地方 一日午前二時五十八分頃宇都宮地方に强震あり柱時計の止まるもの壁の落ちたもの多數あり市民は何れも屋外に飛び出したが人畜に被害は無い宇都宮測候所觀測によれば關東大震災後初めての强震であると

婦人方へ注意

產婦人科の細野博士、その他眼科內科、齒科、精神病科、耳鼻咽喉科の專門五博士が、婦人衞生についての懇切な注意を色々婦人俱樂部六月號で指導され大評判!

間島の大馬賊團 都市襲擊を企つ

生活費に窮した結果

【間島特電一日發】間島に接壤する安圖、樺甸兩縣では從來阿片の原料である罌粟の栽培を公許してゐたので一般にこれを耕作し殊に馬賊團は之を以て重要なる資源としてゐたところ本年に至つて兩縣の軍憲は奉天張總司令の命令により罌粟栽培を嚴禁すると共にすでに播種された田畑を蹂躪するほか小屋及び貯藏の食糧まで燒拂つたので栽培從業者は忽ち生活に窮した處から馬賊團に投じ馬賊團また資源を失つたので愈々兇暴となり俄に增大した部隊を維持すべく掠奪に躍起となつてゐる模樣で從來彼らが官兵の討伐を牽制すべく盛に呼號した都市襲擊もこの向では實際に決行するに至るべく見られるので縣界を警備する間島の支那軍警は極力警戒中である

金化陰謀事件 豫審終結す

【京城三十一日發電】浦鹽に本部を有する大韓民國臨時政府の一黨李東輝、金中山等を背景に爆彈拳銃等の兇器を以て軍資金と稱して巨額の金品を强奪し、大韓民國臨時朝鮮政治局なる秘密結社を組織して朝鮮の〇〇策謀中昨年五月江原道警察部の手に一味徒黨百六十九名が一網打盡に逮捕された金化陰謀事件の首魁陳鴻日ほか五十名は京城地方法院の豫審にて審理中のところ、三十一日午後四時豫審終結し尹貞淑ほか二十二名は治安維持法違反爆發物取締規則銃砲火藥類取締令違反で起訴京城地方法院の

公判に

附せらるゝこととなり二十七名は豫審免訴となつた彼等一味は秘密結社朝鮮共和政治局なる假稱の下に江原道一帶に散在する極端に秘密主義を守る水雲教、靑林教その他の宗敎團體の教徒と氣脈を通じ一千三百六十四名の黨員を擁し民族共產主義を標榜して朝鮮〇〇主義の實行を策謀し

星ケ浦の 自殺者

四年に廿三名

沙河口署において最近調査したところによると昭和二年以來星ケ浦海岸において入水自殺を企てた者及び溺死したものが日支人合せて廿三名あり內自殺未遂に終つたものが十名あるが殘り十三名は悉く星ケ浦海岸において貴き生命を失つたもので年別にすると
▲昭和二年 自殺日本人男一名女三名支那人男一名未遂日本人男三名女二名支那人女一名溺死日本人男一名
▲昭和三年 溺死日本人男一名女一名
▲同四年 自殺日本人男一名女二名未遂日本人男一名溺死日本人男二名
▲同五年 自殺未遂日本人男一名支那人男一名
であるが昭和二年に支那人には珍しい心中があり男のみ死亡して女は助かつて居るが縊死及び服藥自殺を合はすれば星ケ浦のみでも相當の數に上ると

汽車の便所で 不敬文字發見

【長崎三十一日發電】三十一日午前十一時半、長崎驛着列車檢車中三等車便所の板壁に容易ならぬ不敬な文字が釘樣のもので刻みあるを發見長崎署で犯人嚴探中である

市民射擊會

百四十五名參加

一日の第二十一回市民射擊會出場人員は射手總人員百二十三名、初心者教育を受けしもの二十名外に中華民國人二名合計百四十五名で入賞者は左の如し
▲特別一等射手 一等四十五點、邊見勇彥、二等四十四點貞前助
▲一般射手 △一等四十七點羽原稔△二等四十六點井手重武△三等四十六點平田秀夫△四等四十四點茂見孝之△五等四十四點貞重治△六等四十四點瀨々久雄△七等四十三點三宅管夫△八等四十二點高向彌十郎△九等四十二點安田孝三△十一等四十二點渡邊豐治△十二等四十一點上野善清△十三等四十一點中尾鎭澄△十四等四十一點坂口末松△十四等四十一點小林讓
▲學生射手 △一等四十一點古澤彌太郎△二等三十八點三浦肇△三等三十八點井上武△四等三十七點中島茂雄△五等三十四點岩田正平

滿日地方版

奉天

時の記念日の宣傳方法きまる
卅日關係者協議會で

奉天公私經濟緊縮委員、地方事務所、警察署、市内各時計商、民會領事館關係者は卅日午後一時奉天署に參集し六月十日時の記念日當日宣傳方法につき打合せをなした結果左の如く行ふことゝなり三時過解散した

一、宣傳ビラ一萬枚を自動車二臺を使用し各所に撒布する外各小學校兒童に配布し各家庭に持ち歸らすこと
二、少年團、女學校生徒をして各要所に立たしめ通行人の時計を一々訂し宣傳ビラを配布すること
三、市内各自動車、馬車、洋車に宣傳旗を立たしめること
四、少年團、自動車隊には襷を掛けさすこと
五、機關區の機關車、各工場の汽笛並に各寺院の鐘を十一時五十九分から正午まで一齊に鳴らすこと
六、モーターサイレンは午前六時から午後六時まで二時間毎に鳴らすこと
七、各學校では時に關する講演會を開くこと
八、宣傳從事者には記念メタルを交付すること

地方委員懇談會

奉天地方委員懇談會は卅日午後二時から地方事務所會議室に於て開催された出席者は鵜澤議長外十一委員で勞働社會施設たる人事相談所、職業紹介所、無料宿泊所に關し審議した結果その豫算は來年度に計上され滿鐵本社に於ても實施の計畫中であるが更に促進實現の議題をなすことになつたそして無料宿泊所は現實の問題として急を要するので安倍氏が具體案を作成することに決定した、それから物價調査の件、市場の魚菜類一割値下げは品種によつて異る關係上一割を廢し市場會社當局に適當値下げ方を要望することになつた次に住吉町兒童遊園地に電燈二、三燈を增設する件は夜間は殆ど支那苦力の寢場所に使用され附近通行の婦女子は恐怖して公園側通行を避けてゐる現狀であるため之も是非實現方滿鐵に要望することになつた、道路修繕の件は從來小路は毎年豫算の關係で一部分修繕してゐるため完全な道路が出來ないので今回小路を一齊に修繕すべく滿鐵に之が經費十萬圓を要望することになつた最後に支那側諸施設觀察は六月中旬頃に決行することゝなり正副議長に一切を一任することゝなつて五時頃散會した

特殊婦人健診

奉天署では卅日柳町特殊婦女二百十九名に對し健康診斷を行つた處その中トラホーム患者卅九名、呼吸器病者三名を發見した猶特殊婦女は大體不健康で花柳病患者も近頃增加し四月廿九名、五月は廿六

人事

▲大平滿鐵副總裁 卅一日安東より過奉歸連
▲世界動力會議出席者一行十五名 卅一日過奉北行西比利亞線經由伯林へ
▲大田第卅八聯隊長 卅日來奉
▲神田大連民政署長 卅一日安東より過奉歸連

町の便り

奉天驛庭球部では一日午前九時から列車區コートに於て對郵便局の庭球試合を行つた
◇
醫大マンドリン研究會にては六月六日夜ヤマトホテルに於てマンドリン獨奏會を催すが賛助出演としてソプラノの獨唱もあると
◇
卅日午後十時頃市内住吉町五番地宮本諭五郎方より發火し消防隊の活動で家屋一棟二戸十三坪を全燒し十一時頃鎭火した、損害は家屋商品家財を合計して四千五十圓、原因は子供が燐寸をすつたまゝ捨てたのがセルロイドに燃え移つたためで大連火災に千三百圓の保險が附してあつたと
◇
櫻井遞信局長は沿線視察旁々動力會議出席員と商會のため卅一日朝來奉同日長春へ向つた
◇
天津總領事館の司法領事に轉勤する前田領事は卅一日各方面を歷訪離奉の挨拶を述べたが同氏は二日大連經由赴任の由
◇
吉植東亞勸業前專務、花井同新專務錦織支配人は酒井庶務主任と共に卅一日各方面を歷訪し新舊の挨拶を述べたが吉植氏は五日離奉すると

名現はれてゐると

支那苦力入鮮 日毎に增加

時まで

平安北道保安課に達した情報によると鮮内に於て勞働に從事する支那人は日を追つて增加する一方で鮮人勞働者は脅威を感じてゐると四月中の移動は使用許可八百二十六名、退去百五十一名、無届退去五名で差引三百七十名の增加となり昨今の工事期節及び繁農期にその入鮮數は更に增加しつゝある

音樂演奏會

安東高女同窓會綠水會主催の四家杉山兩氏の音樂演奏會は二十八日午後七時から高女講堂で開催されたが聽衆約五百名に達し盛況裡に午後九時閉會した

撫順

鉛入の白粉 販賣を禁止

撫順市中販賣の白粉に鉛を多量に含むものあるとの事で滿鐵衛生研究所で試驗の結果左記は何れも有害と判明、販賣を禁ぜられた、一般の御注意が肝要
△「パッチリ生白粉」撫順中央大街平尾兼藏販賣のもの
△「ツキワ白粉」前記平尾及び市内中央市場外四號服部磬、市内西五條十番地福井榮三郎販賣のもの
△「井桁印、パッチリ白粉」市内西一番町十六番地丸一、山下一男販賣のもの

大洋が煉瓦に 百圓を盜らる

廿一日午前十一時頃淸源縣の農、榮賢思(三一)は取引先の市内西十條通天合長方へ金百圓を屆けるべく同日午前十時半頃瀋海線撫順站に下車徒歩で撫順へ來る途中三人連の支那人に道をたづねた所案内してやると渾河左岸の川原に誘ひ出して一服してゐる間に風呂敷包の現大洋と古煉瓦とをすり替へ逃走した

哈爾賓

夏枯氣分で―商店は大ゴ難
繁昌は裸踊とカバレだけ 大洋票暴落の影響

初夏の傳家甸はどの店を見ても淒い寂びれかただ、例年より一ヶ月半も早く夏枯が來た、デパートメントの同店でも買物をしてゐる客の姿は全く見られない「どうも節句を前に控えて大洋票の慘落は一層取引を少くした」主人公は呟いてゐる、先物契約は大部分破談である、これではどうなることか、今後の不況が氣づかはれる、プリスタン大街新城大街の大小商店も亦同樣である、ブザアやモローヂは出たが、景氣を冷たくするばかりだ、大商店の一日の賣揚高が平常に比べて約半減した、大洋票はこの先どれまで低落するか豫想がつかない、仕入れた夏物は來年廻しとならう農民の顧客は殆ど目に入らぬ、而も黑龍江省、吉林の官帖はドンドン暴落するのだから倒産者も續出するだらうと氣づかはれてゐる、賑はふのは見物客のニツアー(裸踊)とキャバレーばかりだ

スポーツ聯盟生る
日露協會學校と初試合擧行

スポーツ聯盟が生れた、これはハルビン運動倶樂部より獨立し眞に青年の體育向上と練習を目標とするもので、一日午前十時から日本人運動場で日露協會學校と對抗試合を行つた、種目は百米、四百米八百米の競走に圓盤投、砲丸投、走高跳、走巾跳のフイルドであるが、六月下旬にはキリスト教青年會と對抗試合を行ふ由

東支換算率 大洋崩落で變更

哈大洋の崩落で東支にては三十一日の換算率を收入二元十二錢、支出二元十一錢と改め、從業員に支拂ふ率は一金留を一元八十八錢と決定した

鐵嶺

來る八月中旬に 陸上對抗競技
近く豫選大會を開催 最初の主催で今から人氣沸く

奉天以北で呼び物となつてゐる鐵、開、四、公對抗の陸上競技は來る八月中旬開催の豫定で、今年は鐵嶺が始めて主催地となるので主體の鐵嶺運動協會を始め、選手連もファンも今から必勝を期して非常な意氣込で近く豫選大會を催し優秀選手を選拔して練習を開始する事となつた、殊に今六日奉天以北第一の大運動場が既に竣工され大會熱を彌が上にも煽つてゐる、尙運動協會から在鐵官民有志に資金の援助方を依頼すると因みに協會では左記役員を定め近く推薦狀を發すると
△陸上競技部 山内、池田、有馬、樽谷、五十嵐、柴田
△庭球部 佐多、湯本、御園生、酒井、加藤、樽谷、仁平
△野球部 棚橋、茅原、田屋、松崎
△庶務部 鈴木、大澤、松崎、田榮、岡田大尉、丸山中尉、本多
尙今二日午後六時より右役員を滿鐵クラブに招集し本年度行事及び大競技會の準備に就き協議すると

公園の……運動場 面目を一新する

既報新運動場は衞戍病院南方に新設されるが、公園の舊運動場は一部を庭球コートに、一部を理想的花壇とすべく目下盛に工事を進めつゝあるから近く百花繚亂の大花壇が出來上り公園の面目を一新すると同時に遊歩地としても理想的のものが完成し一般市民を喜ばせる事であらう

…辭任し後任は開原警察署長…生、開原小學校古橋訓導兩氏に委囑したと

支那婦人自殺未遂

當地春山街六五魚菜商店主張云升妻趙氏(二四)は三十日正午頃居室を内部より施錠し黄燐マッチ小箱約三個分を水に溶かし嚥下して自殺を企て苦悶中を隣家の王連堂が發見し醫院にて治療の結果生命を取り止めた原因は複雜な事情があるらしいと

多久島氏永眠

滿洲商業通信社開原支社長多久島一氏は急性肺炎にて加療中の處三十日午後七時四分永眠したが行年三十歲葬儀は一日午後四時自宅出棺本願寺に於て執行した

齊々哈爾

珍趣向の競技澤山で 野遊會大賑ひ
リレーは滿鐵が一等

當地在留邦人の年中行事である野遊會は五月二十七日海軍記念日の午前十一時より若草萌ゆる嫩江の畔で開催された、快晴に惠まれたのと今年開校した日本小學校生の參加、新競技の多い事等で在留民男女は殆ど總出で會場に押しかけた、小學校生徒の可憐な遊戲や競技、青年達の砲彈投げ高跳市跳等から踊落競爭、飴食競爭、三十餘番を終へ、最後の領事館滿鐵市中の三組のリレーは滿鐵一等で運動會を閉ぢ午後三時より宴に移りサツマ汁五もく食に舌を打ち早川民會長の挨拶、淸水領事の發聲にて齊々哈爾居留民會の萬歲を三唱して午後四時散會した

陶省政府委員 天津で客死

黑龍江省政府委員陶經武氏は天津に旅行中同地に於て病死せる旨二十七日當地に通知があつた

廣信公司整理

黑龍江省の金庫である廣信公司は紙幣濫發其他の原因で内部非常に紊亂し大整理のため丁前總辦を省政府顧問に、呼海鐵道局長高雲長氏總辦に擧げ大斧鉞を加ふる事となつたが、公平無私の高總辦の整理振は一般より期待されて居る

安東

三月ほど留守番 よろしく願ひます
こ如才ない森岡領事

森岡領事は二十九日夜官民多數の出迎へを受けて安東驛着ホテルに入つたが語る
宇佐美領事の後任は大體決定してゐるので私は三ケ月間程留守番で、奉天にも行く事もありませうが大體當地に居る考です、支那側との關係其他總べてよい處と聞いてゐますので僅の期間でも愉快にと思つてゐます、何分よろしく

十萬一千圓の 罰金
寶石密輸の綾野

既報寶石密輸の綾野宇三郎(三七)の判決は廿八日新義州地方法院公判廷に於て渡邊判事より稅關の通告處分通り罰金十萬一千三百八十六圓二十錢に處し、若し完納せざる時は三百六十日勞役場に留置す(但し押收物件は押收)の旨言渡しがあつた

馬賊策動
平北で嚴重警戒

鴨綠江上流に於ける支那馬賊は撫松、輯安縣下にて頭目會議を開き地盤の協定、武器の購入、並に官憲對抗策につき協議を重ねつゝあり、且つ江岸進出を策動せるものあり、平北當局の警戒は嚴重を極めてゐる

安東署の 園遊會
兩日に亘り開催

安東警察署では署員並に家族の親睦と慰安の爲め三十一日午後一時及び一日午前十時より鎭江山中央廣場で園遊會を開催し運動會や模擬店餘興寶探し其他各種の催しがあつて大に賑はつた

日曜祭日も 圖書館開館
一日から實施

安東圖書館は從來日曜、祭日を休館して居たが黑谷圖書館主事より日曜、祭日には開館し其の翌日を休館とする改正案を滿鐵本社に申請、二十九日許可されたので六月一日より實施する、尙日曜、祭日は午前九時から午後五時まで

開原

憲兵の歌高らかに
五十周年の記念祝賀

延期されてゐた開原憲兵分遣隊の憲兵制度創設滿五十周年祝賀祭典は三十一日午前九時半より佐藤分遣隊長以下隊員一同及び在鄕憲兵開原神社に參拜し祭典を執行した、祝賀會は午前十一時より分遣隊前にて記念撮影をなし開原分遣隊樓上に於て官民有志四十餘名を招待、佐藤分遣隊長より挨拶を述べ、川崎所長來賓を代表して謝辭並に憲兵隊の萬歲を三唱し宴酣なる頃佐藤隊長は憲兵の歌を高唱一同之に和唱し各等寳妓酒間斡旋の間に來賓各自の詩吟其他諸藝續出し非常に盛會を極めた

皇居を遙拜
國恩を感謝

一日午前八時半開原神社々頭に於て國恩感謝ザーを擧行し官民有志並に學生等多數參列し皇居を遙拜し神社に參拜し國旗揭揚に參列した

補習校講師異動

開原實業補習學校大瀨戶、陳の兩講師

四平街

守備隊の交替
熱誠な送迎を受けて

既報當守備隊滿期兵四十三名は三十日十五時廿一分發南行列車にて萬歲聲裡に歸還の途に上つた、市民協會は例に依り歸還兵士に對し四平街繪はがき一組宛を贈呈し出發に際し櫻井本社四平街支局長は一般市民を代表し驛頭に於て送別の辭を朗讀した、尙ほ交替初年兵四十七名は六月一日無事到着、驛ホームは全市民の出迎へで埋められた

市民協會から 見舞電報

畑關東軍司令官の病氣に對し當市民協會は三十日左の見舞電報を發した
御病氣の由傳承し市民一同憂慮に堪へず冀くば邦家のため速に御快癒あらんことを祈る

鞍山

仙石總裁を前に 交々意見を開陳
―製鐵所で六氏が―

仙石滿鐵總裁は三十一日午後一時より製鐵所應接室に於て小、中學校、地方事務所、病院、驛、製鐵所各課所長各主務者等百數十名を集め一場の訓示をなし續いて社員周知の意見聽取を希望したので千秋所長が大孤山竹歲主任に指名し更に左の諸氏が大略左の如き意見を陳べた

竹歲主任 此の大孤山及び各採鑛所に社員の娛樂及び修養の機關設備其の他何とか慰安方法を講ぜられたい

町田不二男氏 滿鐵の方針は營利會社か、或は特殊指命權を維持するか、判然と示されたし

三重野勝氏 滿鐵醫院の診療所を附屬地内のみに限らず附屬地外にも多數の診療所を設け支那人にも恩惠に浴したい

伊藤武則氏 滿鐵が公學堂にのみ厚く鮮人教育を顧みないのは誤である、注意されたい、尙ほ安廣社長時代に奬勵した養蠶が山本社長の手で廢止された朝變暮改は面白くない

最後に林所長、石橋事務課長等より意見を述べ午後三時閉會した

電氣アイロン發賣

電燈局では過般は電氣洗濯器を賣出して好評を博したが、今回は更に理想的の電氣アイロン(三圓で)を特賣し既に各方面で好評を受けてゐる希望者は至急注文されたいと

中瀨吳服店賣出

中瀨吳服店では夏物新柄流行品多數を陳列し今二日から二日間陳列館内に於て大賣出しを催すと

陰巡捕快癒

鐵西に於いて匪賊の爲め負傷した鞍山警察署の陰巡捕は入院加療中の處全快したので三十一日退院なし市中有志を歷訪して謝意を述べた

本溪湖

郵便局長異動
林氏は奉天へ

郵便局長武林勉氏は今回奉天郵便局に榮轉、後任は瓦房店より尾崎氏が轉任すると

社會主事異動
櫻木氏着任

滿鐵地方事務所社會主事片山圭郞氏は今回本社へ榮轉不日出發の由、後任は大石橋より櫻木主事着任した

この母を見よ (一九)
日活現代劇臺本より
畸面座同人構成

其の晩の下宿の二階では、中子が嬉しさうな、樂しさうな、明るい顔をして居た。久しぶりで腹一杯おいしいお料理を食べる事が出來るからである。それ故に彼女の黑い大きい眼は今明るい七輪の焔に見入つて居たかと思ふと、次の瞬間には俎板の上を走る母の手元へと飛んで、ちつともじつとして居なかつた

南向きの壁には、其の居間に似合はしからぬ大きな油繪――亡き夫桑木の肖像がかゝつてゐる。

倭子の手は動いて居た、が、頭は深くたれて、眼は乾いた光で輝き、眉は顰んで、白い額の眞ん中に深い皺が刻まれて見えた。

見上げた夫の肖像――がそこに見えたものは、面に死の苦痛を湛へ、羞恥の額を赤くさせ、指と指とを強く摑み合せた女の影が立つてゐた。それこそ彼女の想像の鏡に映じた彼女自身の姿だつた。

それがお前さん

だつたのね!

倭子は自分で自分の心の中から生れて來た幻影に向つて云つて見た。

なさけない人だこと!

女の影は摑み合せてゐる手をほぐした。さうして其の手で、深くうなだれてゐる自分の顏を隱した。そして今まで乾いてゐた倭子の眼からは、急に熱い涙が溢れ出た。

急に泣き出した母の樣姿に、今まで樂しさうに散らばつて居る食料品の包紙や、しで紐を集めて居た中子は、半はびつくりしたやうな、半心を打たれたやうな眼で母を見つめた。

下宿の家主夫婦は茶の間で夕飯をたべて居た。長火鉢の銅壺から德利を出して、煮つ煮されつの樂しい晩酌である。

或る食卓――薄暗い電燈の下で親子六七人が、いさゝかの食事をむさぼり食つてゐる。

電柱の街燈――その灯を縮切つた軒下に受けて……男女……げる

士や婦人が、そこに卓をかこんで次の料理を運んでくる給仕の列を待つてゐる。

倭子は、七輪にかけた鍋の煮物の沸騰を見詰ながら、いつか、まだ夫の存命中樂しかつた三人の食卓の有樣が、あり〳〵と浮んでくるのだつた。

中ちやん さあーごはんにしませうね

倭子は、いそ〳〵と食卓についた中子の前に、手料理のご馳走をならべるのだつた。せか〳〵と箸を運ぶ中子の動作に、倭子は母親らしい注意の言葉をかけやうとしたが「無理もない」と思ふ感情が、胸にせまつて、只靜かに中子を見守つてゐるばかりの倭子だつた。

おいしいの 中ちやん

倭子の聲は押しかくす涙にしめつてゐた。

おいしいわ 母さんもめしあがれ

そう云つて、つぶらな眼を母の顔に向けた中子は、急に何か思ひ出したやうに箸を置いて、眼をふせるのだつた。

どうしたの中子 お腹でもいたくなつたのかい

倭子は、驚いたやうに中子の顔を見るのだつた。「ちごうのよ母さん……」首を振つた中子は、やがて母の顔を見上げるやうにして云ふのだつた。

お父樣に御馳走を頂いて 有り難うを云ふのを忘れてゐたのよ

中子の眼には、涙が湧いてゐた

ねー 母さん ナ子ちやん 忘れてゐたの お父うさま 有り難うございます ……んおいしいわ

子は、せきあげる悲しさをこらへて、歯を食ひしばり、身を固くするばかりだつた。

母さま 母さまは どうして お父樣に早く御禮を おつしやらないの!!

中子の不足らしい言葉が、倭子の耳に響いたとき、倭子の肩はかすかにふるうた。倭子は今、婦人洋服店附近の雜沓の中に、紙幣を握つてかけめぐる自分の姿をはつきり見てゐるのだつた。中子を前にして靜と座つてゐることにすら堪へられない倭子は、袂を顔にあてたまゝ、崩れるやうに身を伏せたのだつた。

母さん どうしたの

食卓をはなれた中子は、母の體にすがりついて、やさしく愛撫するのだつた。

ナ子ちやん お母さまも忘れてゐたのよ いけないわね

すゝり泣く倭子は、中子を抱きかゝえて、幾度も〳〵その額と頰とに口を押しつけた。

お父樣 有り難うございました 中子が おいしいと よろこびます

淋しい夕餉のせまつた暗い部屋で、母と子は抱き合つたまゝ、亡き父へ涙の祈りを捧げるのだつた。(寫眞は瀧花久子と松平千鶴子)

滿日俳壇 募集規定

次回課題「夏の朝」「夏の月」「ハンモツク」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切六月十五日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲宛先東京市牛込區若松町八二島田青峰

滿日聯珠臨時戰(四)

中央聯珠社大連支部戰譜 第二局(その二)
先 伊藤夢星
原口八州
【四段井村永治講評】
△三號桂摑打

黑(五)は前にも評した如く「六、イ」又は「ロ」である。白(六)强い、黑苦戰を免れない、手順を代へて考へて見ると黑(三)白(四)黑(五)白(六)の時、黑「ロ」の處を(一)と打ち「ロ」(二)と桂馬に摑まれたのと同樣であるから黑の良い應け手を見出せない。